

**地域貢献調査報告Ⅱ  
(地域貢献シーズ集)**

**地域貢献に関する  
実績・資源調査報告書**

2013年3月

**高知県立大学  
地域教育研究センター  
地域課題研究部会**



## 目次

I. 序	001
1. はじめに	003
2. 調査概要	005
3. 本報告書をお読みいただくうえでのご注意	006
(1) カタカナ語および送りがななどの表記の仕方について	006
(2) 使用している用語の説明	006
II. 高知県立大学の地域貢献実績と資源の概要	007
1. 高知県立大学の地域貢献実績と資源の概要	009
(1) これまでにおこなってきている地域貢献の概要	009
(2) 今後おこなうことが可能な地域貢献の概要	012
2. 地域課題における学外ニーズと学内シーズの現況	014
(1) 生活・健康課題	014
表1-01(a) 学外ニーズと学内シーズ(1)生活・健康課題	015
表1-01(b) 学部・センター別の学内シーズ(1)生活・健康課題	016
(2) 経済課題	017
表1-02(a) 学外ニーズと学内シーズ(2)経済課題	018
表1-02(b) 学部・センター別の学内シーズ(2)経済課題	019
(3) 文化課題	020
表1-03(a) 学外ニーズと学内シーズ(3)文化課題	021
表1-03(b) 学部・センター別の学内シーズ(3)文化課題	022
(4) 教育課題	023
表1-04(a) 学外ニーズと学内シーズ(4)教育課題	024
表1-04(b) 学部・センター別の学内シーズ(4)教育課題	025
(5) 環境課題	026
表1-05(a) 学外ニーズと学内シーズ(5)環境課題	027
表1-05(b) 学部・センター別の学内シーズ(5)環境課題	028
III. 高知県立大学の地域貢献実績と資源の詳細(シーズ個票)	029
1. 文化学部	031
青木晴男(031)・五百蔵高浩(032)・芋生裕信(033)・井本正人(034)・岩倉秀樹(035)・ 大村誠(036)・佐藤恵里(037)・鈴木哲也(038)・橋尾直和(039)・東原信明(040)・金澤俊吾(041)・ 鈴木康郎(042)・高西成介(043)・三浦要一(044)・山口善成(045)・吉川孝(046)・ ヨース=ジョエル(047)・飯高伸五(048)・向井真樹子(049)・ウォーラー=ローレン(050)	
2. 看護学部	051
畦地博子(051)・池添志乃(052)・池田光徳(053)・竹崎久美子(054)・時長美希(055)・ 長戸和子(056)・中野綾美(057)・藤田佐和(058)・藤田冬子(059)・松本鈴子(060)・	

宮武陽子(061)・森下利子(062)・森下安子(063)・山田覚(064)・内川洋子(065)・瓜生浩子(066)・大川宣容(067)・川上理子(068)・佐東美緒(069)・嶋岡暢希(070)・田井雅子(071)・石川麻衣(072)・廣川恵子(073)・山中福子(074)・石井歩(075)・井上正隆(076)・岩崎順子(077)・潮由美子(078)・大西ゆかり(079)・小澤若菜(080)・川本美香(081)・小原弘子(082)・小松弓香理(083)・坂元綾(084)・芝崎恵(085)・下元理恵(086)・首藤ひとみ(087)・高谷恭子(088)・畠山卓也(089)・榎本香(090)・升田茂章(091)・神原咲子(092)・弘末美佐(093)	
3. 社会福祉学部	094
杉原俊二(094)・田中きよむ(095)・長澤紀美子(096)・前山智(097)・丸岡利則(098)・宮上多加子(099)・黒田しづえ(100)・後藤由美子(101)・鈴木孝典(102)・西内章(103)・西梅幸治(104)・鳩間亜紀子(105)・福間隆康(106)・三好弥生(107)・石川由美(108)・加藤由衣(109)・鈴木裕介(110)・田中眞希(111)・二本柳覚(112)・橋本力(113)	
4. 健康栄養学部	114
川村美笑子(114)・村上尚(115)・渡邊浩幸(116)・和田安彦(117)・荒牧礼子(118)・川口順子(119)・島田郁子(120)・西岡道子(121)・廣内智子(122)・田中守(123)・水島直子(124)・彼末富貴(125)・川村真美(126)・沼田聡(127)	
5. 地域教育研究センター・総合情報センター	128
一色健司(128)・宇野浩三(129)・清原泰治(130)・羽田行男(131)・團野哲也(132)	
<b>IV. 資料編</b>	<b>133</b>
1. 調査依頼文書	135
2. 調査票Ⅰ：高知県立大学地域・社会貢献シーズ集2013用シート	138
3. 調査票Ⅱ：地域貢献・社会貢献活動等アンケート票	139

# I. 序



## 1. はじめに

2013年3月  
高知県立大学地域教育研究センター  
センター長 荻沼 一男  
地域課題研究部会長 田中きよむ

高知県立大学では、2012年度より地域教育研究センターを設置し、地域とのさまざまな連携活動や、地域にたいするさまざまな貢献活動などをおこなう体制を整えようとしております。

そのなかで、その1部門である地域課題研究部会では、高知県におけるさまざまな地域課題の解決に向けて研究・教育面や実践・支援面などで貢献する仕組みづくりを整えるための活動を開始いたしました。このような体制を整え、実効性のある地域貢献等の活動を実施していくためには、県内各市町村や各地域における、さまざまな地域課題やそれらにたいする支援等の要望(地域貢献ニーズ)を的確に把握したうえで、その地域貢献ニーズに適切に対応するための県立大学における研究・教育資源(地域貢献シーズ)とのマッチングをはかっていく必要があると考えております。

そこで地域教育研究センターの地域課題研究部会として、まず第1に、県内各地域の地域課題を明らかにするための地域貢献ニーズ調査を実施させていただきました。ついで第2に、それと並行するかたちで、学内の教員を対象とした地域貢献シーズ調査をおこないました。本報告書は、このうちの高知県内地域貢献シーズ調査の結果を分析・整理したものです(「地域貢献に関する実績・資源調査報告書」)。別冊として、高知県立大学内地域貢献ニーズ調査結果報告書(「高知県各地域の地域課題の現況等に関する調査報告書」)をとりまとめましておりますので、あわせてご参照願えれば幸いに存じます。

この学内地域貢献シーズ調査においては、高知県内の地域貢献ニーズとの比較も含め、これまで高知県立大学(高知女子大学時代を含む)と県内各機関・団体がどのようなテーマ・内容の連携活動等をおこなってきたのか、今後どのような連携活動等をおこなう予定・可能性があるのかを、各教員別に地域貢献にかんする実績、今後貢献できる領域・テーマ等もわかるかたちで明らかにすることを目的として実施いたしました。

2013年度からは、本調査結果をふまえて、高知県内のさまざまな地域課題の解決に向けた学内シーズとのマッチング等をおこない、地域課題等の解決に向けた実効性のある地域貢献活動をおこなうための仕組みづくりを進め、具体的なプロジェクトに即した調査・研究・実践活動等を推進していきたいと考えております。高知県立大学と高知県内の関係各機関・団体等との連携に向けて、学内教職員をはじめ、関係諸機関・団体のみなさまにおかれましては、なにとぞ格段のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

調査の実施にあたりましては、調査対象として学内教員の協力を得て、関係資料・情報等の収集をおこないました。調査にご協力をいただきましたみなさまに、この場をかりて、謝意を表する次第です。また、本調査報告書の作成にあたっては、集計・分析を主として宇野浩三部会員(地域教育研究センター専任教員)が担当し、地域課題研究部会で議論しながら、とりまとめてまいりました。

なお、高知県立大学との連携や協力・支援などのご要望に対応できる学内体制については、2013年度中をめどに整備をすすめる予定をいたしておりますが、具体的な地域課題などにかんして連携・協力・支援等のご要望がありましたら、まずは次頁に記載しておりますお問合せ先にご相談ください。学内体制の整備完了前の場合でも、可能な対応等について協議させていただきます。

具体的な地域課題等についての高知県立大学との連携や協力・支援等にかんするお問合せ先

〒780-8515 高知市永国寺町5-15

TEL 088-873-2152(内線232)

FAX 088-873-3934

Email [aeru@cc.u-kochi.ac.jp](mailto:aeru@cc.u-kochi.ac.jp)

担当者：岡崎康展・川崎 伸



## 2. 調査概要

本調査(「地域貢献に関する実績・資源調査」)は、高知県内各地域の地域課題の解決等にたいして高知県立大学の専任教員がさまざまなかたちで貢献している実態や、今後の地域貢献に資する可能性等について、全学的に把握する目的で2012年12月～2013年3月に実施したものである。

調査時点の在籍教員数124にたいして、表0-01の註にしめすような調査対象除外教員をのぞいた108名にたいして調査にたいする回答の依頼をおこない、調査Ⅰ(地域貢献にかんするシーズシート記入)には103名(回答率95.4%)から、また調査Ⅱ(地域貢献にかんするアンケート回答)には89名(同82.4%)からの、回答がそれぞれあった。本調査の概要を表0-01にしめす。

表0-01 調査概要

	教員数			調査Ⅰ <sup>2)</sup>		調査Ⅱ <sup>3)</sup>	
	0. 総数	1. 対象数 <sup>1)</sup>	2. 除外数	11. 回答数	12. 回答率	21. 回答数	22. 回答率
0.全体	123	108	15	103	95.4	89	82.4

[註]

1) 調査対象教員は、調査時点の在籍教員数から、2013年3月31日までに退職予定のもの、休職中のもの、などを除外した数。回答率は、いずれも「1. 調査対象教員数」にたいするもの。

2) 調査Ⅰ：地域貢献活動実績等にかんする教員個別の記録シートにたいする記載・回答を求めたもの。調査票の内容は「Ⅳ. 資料編」等を参照のこと。

3) 調査Ⅱ：地域貢献活動実績等にかんするアンケート調査への回答を求めたもの。調査票の内容は「Ⅳ. 資料編」を参照のこと。

### 3. 本報告書をお読みいただくうえでのご注意

#### (1) カタカナ語および送りがななどの表記の仕方について

①コンピューター：コンピュータ、コーディネーター：コーディネータ、などのように、単語末尾の「ー」については、単語の判別などの点でとくにさしつかえがないと判断される場合などはおおむね省略して表記している。ただし固有名詞に含まれている場合などには原表記のままとしているほか、アンケート回答者による表記などの記載者が異なる場合などには、表記法が混在している場合もあるが、とくに統一ははかっていない。

②問い合わせ：問合せ、取り組み：「取組み」または「取組」、仕組み：仕組、などのように、熟語に含まれる漢字の間のかななどは、判読上とくにさしつかえがないと判断される場合にはおおむね省略している。「取組み」と「取組」の使い分けは、おおむね、名詞として使用されている場合には「取組」とし、動詞や連体形・連用形などの場合には「取組み」としている。

#### (2) 使用している用語の説明

「Ⅱ. 高知県立大学の地域貢献実績と資源の概要」では、調査票の選択項目の統計分析をおこなっているが、分析上多数のあらたな造語を使用している。それらの意味はおおむね以下のとおりである。この部分を読むときの参考にしていただきたい。各用語のうしろの( )内の数値は、当該用語の初出頁数をしめしている。

①**貢献可能指数**(014)：高知県立大学の教員のこれまでの地域貢献活動の実績について、5つの地域課題区分(「1. 生活・健康課題」「2. 経済課題」「3. 文化課題」「4. 教育課題」「5. 環境課題」)ごとに、回答のあった教員数全体にたいする、当該課題区分のなかのなんらかの課題にかんして実績がある教員数の割合のこと。当該区分の地域課題に、高知県立大学の教員全体としてどのていど貢献してきているかの度合いをしめす数値である。

②**地域貢献期待度数**(014)：「地域貢献調査報告Ⅰ(地域貢献ニーズ集)高知県各地域の地域課題の現況等に関する調査報告書」に記載している、上記5つの地域課題区分における各選択項目(課題項目)ごとに、高知県立大学との連携等を希望している団体の割合(相対度数[%])のこと。上記報告書の、表3-06～表3-10の表頭「高知県立大学と連携したい課題」の「0. 全体」欄のパーセンテージの数値のこと。地域課題ニーズ調査に回答した団体が、当該課題の解決等にかんして高知県立大学に連携等の期待をしている度合いをしめす数値である。地域貢献期待度数の詳細については、上記報告書を参照していただきたい。

③**地域貢献力(地域貢献可能総力)**(014)：上記5つの地域課題区分における各選択項目(課題項目)ごとの、高知県立大学の教員の地域貢献実績と今後可能な地域貢献内容のうち、回答数の多い方の数値をとったもの。当該課題にたいして、実績および今後の可能性からみて、高知県立大学として貢献可能な最大数をしめすものであり、当該課題にたいして高知県立大学が可能な地域貢献総力をしめすものである。

④**貢献対応指数(地域貢献対応関係指数)**(014)：上記②の地域貢献期待度数(a)にたいする、上記③の地域貢献力(b)の割合(b/a)のこと。各地域課題における高知県立大学への期待(ニーズ)にたいして、高知県立大学の当該課題における地域貢献資源が、量的にどのていど対応しえているかの度合いをしめす。あくまでも量的・外形的な対応の度合いをしめすものであり、質的な対応等にかんしては、個別の判断等が必要である。

## Ⅱ．高知県立大学の 地域貢献実績と資源 の概要



## 1. 高知県立大学の地域貢献実績と資源の概要

### (1) これまでにおこなってきている地域貢献の概要

高知県立大学の各学部・センターや教職員などがこれまでにおこなってきている主な地域貢献・社会貢献活動実績は、各分野ごとにおおよそ以下のとおりである。

#### (a) 文化学部(文化分野)

- ①リカレント(国語・英語)講座
- ②教員免許状更新講習(国語・英語)
- ③「高知市民の大学」の講師
- ④まちかど文化談義
- ⑤高知県の文化財に関する調査研究
- ⑥地域の文化資源の保存・活用に関する調査研究
- ⑦高校生のための文化学講座
- ⑧県民開放授業

#### (b) 看護学部(医療・看護分野)

##### (b1) 県下看護専門職者と共に学ぶ新たな課題(公開講座の開催)

- ①最新実践看護講座、新人看護職者の人材育成、当事者(患者家族)の声を聞く
- ②米国における高度実践看護師教育の現状と課題、遠隔授業の基礎と実際
- ③保健医療政策に貢献できる研究、等

##### (b2) 専門職人材育成

- ④がんプロフェッショナル養成プランによる研修会の開催
- ⑤日中笹川医学奨学金制度研修者の受け入れ、等

##### (b3) 近隣の関係機関との連携事業開催

- ⑥高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業における看護・社会福祉連携事業(池3学部共同事業)
- ⑦健康長寿センターにおける出前講座・公開講座の開催(池3学部共同事業)
- ⑧土佐市との連携事業プロジェクトへの参画(全学活動)
- ⑨高知県新任保健師育成に関するプロジェクト支援、等

##### (b4) 職能団体(高知県看護協会)との連携－生涯学習支援

- ⑩講師派遣、
- ⑪各種研修会検討・運営委員、等

##### (b5) 災害対策事業に関する関係機関との連携・支援活動

- ⑫高知医療センターとの合同災害対策事業(池3学部共同事業)
- ⑬高知県保健活動ガイドライン作成支援
- ⑭高知県災害看護支援ネットワーク検討会の開催、高知県看護協会災害看護委員会活動支援
- ⑮東北地域への学生ボランティア派遣(全学活動)、等

## (b6) 各種役員・委員等

- ⑯ 県下関係機関の検討会委員・役員
- ⑰ 全国学会理事・評議委員、全国学会の開催
- ⑱ 国の審議会委員

## (c) 社会福祉学部(福祉分野)

- ① 社会福祉・地域福祉・ボランティアにかんする研究会の開催
- ② 福祉研修の実施や教材・食品開発：海外の保健・医療・福祉制度等に関する研修・調査に関する助言や情報提供、介護実践研修、介護福祉教材開発、高齢者虐待防止研修、ソーシャルワークにかんする研修や体験授業、高齢者・障害者参加型によるQOL向上食品の開発研究、リカレント講座、等
- ③ 福祉人材養成に関する協力：県社会福祉士会の研修、社会福祉士実習指導者養成研修、社会福祉主事資格認定研修、医療ソーシャルワーカーにたいする研修、相談支援従事者研修プログラムの評価、精神保健福祉士の研修講師、介護職員現任研修、介護職員キャリア開発支援、外国人介護福祉士候補者研修、介護支援専門員・主任介護支援専門員実務研修・事例検討会・技術教育研究、児童福祉司取得講習会、等
- ④ 高校生のための公開講座や高校の総合学習授業への協力：社会福祉学部の授業体験、社会福祉学部の概要・資格・進路の紹介、等
- ⑤ 社会福祉施設の運営支援：第三者委員、監査、等
- ⑥ 高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業：学生の臨地実習における場の提供、教育における相互協力、教員によるコンサルテーション、等
- ⑦ スクールソーシャルワーカーにたいするスーパービジョンや研修
- ⑧ 社会福祉協議会や市町村の地域福祉事業への支援：市町村地域福祉計画・活動計画等アドバイザー、講師、高知県社会福祉協議会の委員、等
- ⑨ 保健所での子育て相談：保護者への支援、保健師や教師へのスーパービジョン
- ⑩ KOMI ケア理論を活用した地域ケア連携に関する研究や教材開発と評価
- ⑪ 障害者計画・障害福祉計画作成等の協力：都道府県・市町村計画の策定委員会委員、地域生活ニーズ調査への協力、等
- ⑫ 女性福祉に関する活動：DV被害者支援計画策定委員、男女共同参画センター運営委員、母子自立支援員研修、等

## (d) 健康栄養学部(食・栄養分野)

### (d1) 栄養分野

- ① 講習会・調理教室・研修会等での支援
- ② 小中学校における食育指導や相談

### (d2) 食品分野

- ③ 未利用植物活用に向けた共同研究
- ④ 食品加工にかんする相談
- ⑤ 海洋深層水にかんする共同研究

## (e) 地域教育研究センター・総合情報センター(生活・環境・教育分野等)

### (e1) 生活・環境分野

- ① 海洋深層水の特性把握・機能解明にかんする研究
- ② スポーツ施設の利用活性化、地域の活性化、などのための事業の企画・実施
- ③ 地域スポーツクラブの設立・運営

**(e2)教育分野**

- ①化学の重要性・面白さ等を伝えるための企画・運営・出展
- ②森林保全を考えるための移動博物館「豊かな森の住人たち」の企画・開催
- ③環境問題にかんする高知市民大学での講師
- ④家庭科教育へのゲストティーチャー・アドバイザーさんさどの授業支援
- ⑤家庭科教諭の住教育力向上のための研修会の企画・実施・講師、家庭科教員リカレント講座の講師
- ⑥建築実務者への計画技術講習、一般居住者への住まいづくり講習、などの講師
- ⑦地域スポーツ振興にかんする講演会の講師
- ⑧スクールカウンセリング、教育相談専門アドバイス、電話教育相談、発達にかたよりのある子どもたちへの支援

## (2) 今後おこなうことが可能な地域貢献の概要

高知県立大学の各学部・センターや教職員などによって今後おこなうことが可能な地域貢献・社会貢献活動実績は、各分野ごとにおおよそ以下のとおりである。

### (a) 文化学部(文化分野)

- ①リカレント(国語・英語)講座
- ②専門領域を生かした教育講座
- ③高知県の文化財に関する共同研究
- ④地域の文化資源の保存・活用に関する共同研究
- ⑤学校教育における支援活動

### (b) 看護学部(医療・看護分野)

- ①地域住民の健康増進・啓発等に関する講師派遣
- ②ケアの専門職に対する公開講座の開催・講師派遣
- ③看護ケア実践・地域包括ケア・地域保健活動・組織管理、等に関するコンサルテーション
- ④地域住民のニーズ・健康調査と分析に関する支援
- ⑤南海トラフ巨大地震に対する命と安心・安寧に関する減災活動支援

### (c) 社会福祉学部(福祉分野)

- ①福祉研修の実施や教材開発：海外の保健・医療・福祉制度等に関する調査依頼や研修、介護福祉教材の開発
- ②介護福祉の研究活動や教材開発、介護福祉やケアマネジメントに関する知識・技術の普及や技術教育研究、介護人材養成教育、介護普及活動、
- ③社会福祉活動・地域福祉関連講演・学習会講師
- ④ソーシャルワークやスクールソーシャルワークへの取り組みや研究・研修・普及活動：事例検討、スキルアップ、連携方法、等
- ⑤高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業：学生の臨地実習における場の提供、教育における相互協力、教員によるコンサルテーション、等
- ⑥地域福祉活動や地域福祉(活動)計画のアドバイザー
- ⑦地域の福祉課題への取り組みや研究：社会資源の検討、ネットワークの構築、等
- ⑧医療・福祉・健康などに関する地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
- ⑨福祉や介護職が行う実践の評価や実践研究への支援
- ⑩福祉サービスのリスクマネジメントに係る技術的支援
- ⑪障害をもつ人の居住支援に係る技術的支援
- ⑫うつ経験者への回復期支援
- ⑬教育機関における精神保健に関する研究活動
- ⑭KOMIケア理論とKOMI記録システムに関する研修と評価
- ⑮女性福祉に関する研修
- ⑯パソコン講習：専門職や一般市民を対象

### (d) 健康栄養学部(食・栄養分野)

#### (d1) 栄養分野

- ①高知県特産の農産物による栄養評価
- ②子どもたちへの食育指導
- ③栄養指導にもとづく生活習慣病研修



④栄養指導にもとづく高齢者の栄養管理指導

(d2) 食品分野

- ①高知県特産の農産物による食品加工
- ②高知県特産の農産物による食品機能性評価
- ③県内起業家への食品衛生管理に関する助言
- ④災害食備蓄と日頃の管理に関する支援

(e) 地域教育研究センター・総合情報センター(生活・環境・教育分野等)

- ①地球環境・地域環境にかんする研究活動・普及活動
- ②理科教育・環境教育や、これらの教育にかかわるリテラシー教育の推進
- ③家庭科教育・住教育にかんする、授業支援、教諭の教育力向上のための研修、授業プログラム・教材の開発・提供
- ④建築実務者・一般居住者への計画技術講習・住まいづくり講習
- ⑤高知の伝統的建築デザイン・材料にかんする研究活動・普及活動
- ⑥福祉住環境にかんする研究活動・普及活動
- ⑦スポーツをとおして健康づくり・人づくり・まちづくりをめざすスポーツ振興
- ⑧教育相談・発達相談にかんする活動
- ⑨プラスチック成型加工における不具合の解析
- ⑩植物染色(草木染)などの天然染色にかんする技術的問題解決

## 2. 地域課題における学外ニーズと学内シーズの現況

ここでは、(1)高知県立大学の教員が中心となってこれまでにおこなってきた地域貢献の実績および今後可能な地域貢献の内容(地域貢献シーズ)と、(2)2012年度に高知県立大学地域教育研究センター地域課題研究部会がおこなった高知県内の諸団体にたいする地域課題認識および当該課題における高知県立大学への地域貢献要望(地域貢献ニーズ)との、合致状況について5つの課題区分ごとの具体的な課題についてみている。高知県立大学の現在もっている地域貢献シーズが、高知県のかかえている地域課題・地域貢献ニーズのどのような分野でよく対応しているかなどの概略をみるためのものである。

### (1)生活・健康課題

高知県各地域の生活・健康課題について、各課題にたいする学外ニーズ分布と学内シーズ分布を比較して表1-01(a)にしめす。また、学内シーズの学部・センター別の内訳については表1-01(b)にしめす。

これによれば、生活・健康課題にたいしてなんらかの地域貢献実績がある教員は高知県立大学の教員全体のなかで72%(貢献可能指数0.72)おり、またこれらの課題にかんして今後なんらかの地域貢献が可能という教員は全体の67%(貢献可能指数0.67)である。生活・健康課題に対応可能な教員は多い。

地域貢献対応関係指数(以下、貢献対応指数と表記する)は、学外の地域貢献ニーズのうち高知県立大学との連携等を期待している団体数の相対度数(高知県立大学にたいする地域貢献期待度数)にたいする、学内の当該課題にたいしてこれまでの実績や今後の可能性として対応可能な教員数の相対度数の比率を、地域課題ごとに算出したものである。この貢献対応指数は、各地域貢献課題における学外の地域貢献ニーズの多寡に対応してどのていど対応可能な地域貢献資源が学内にあるかの、おおよその相対的なバランス関係をしめすものである。したがってこの貢献対応指数の数値が大きい場合には、当該課題に対応可能な学内シーズが量的にも充分にある可能性が高く、小さい場合には学内資源での対応が少なくとも量的にはむずかしい可能性が高いことをしめす。ただしもちろんこの指数は課題項目の外形的な分類にもとづく対応関係をしめしているだけであるので、具体的には個別の課題ごとに対応可能かどうかなどの判断が必要である。

これによれば、学内シーズの地域貢献可能総力(以下、地域貢献力と表記する)がもっとも高いのは「10. 地域の健康づくり(30%)」であり、ついで「7. 地域医療(26%)」「8. 疾病予防・保健活動(26%)」の地域貢献力が高い。医療・看護・健康などにかんしては、貢献実績や貢献可能性などからみて、十分な地域貢献力があるものと考えられる。これらの分野について、「12. 交流・楽しみづくり(16%)」「5. 地域福祉・在宅福祉(15%)」「11. 食生活・栄養改善食育(15%)」「9. 地域包括ケア(14%)」の地域貢献力が比較的高い。これら以外の生活・健康課題にかんしては、高知県立大学全体としての量的な地域貢献力は高くないと考えられる。

これを地域貢献対応関係指数でみると、貢献対応指数が大きいのは「8. 疾病予防・保健活動(貢献対応指数2.24)」「7. 地域医療(同1.30)」「10. 地域の健康づくり(1.27)」「2. 飲料水などの確保(1.27)」「9. 地域包括ケア(1.10)」である。医療・看護・福祉・健康などの課題にはかなりのていどに対応可能と考えられる。これらについて、「11. 食生活・栄養改善食育(0.56)」「6. 住環境の整備バリアフリー化(0.52)」「5. 地域福祉・在宅福祉(0.50)」などの地域課題の貢献対応指数が0.56~0.50であり、これらの課題にたいしてはあていどは対応可能と考えられる。地域貢献力と貢献対応指数との関係でみると、たとえば「12. 交流・楽しみづくり」については高知県立大学の地域貢献力はあるていどあるが、高知県立大学にたいするニーズが多いために貢献対応指数は相対的にやや小さくなっている。量的には充分対応できない可能性などが考えられる。これにたいして「6. 住環境の整備バリアフリー化」の地域貢献力は高くないが、高知県立大学にたいするニーズは高くないので、貢献対応指数は相対的にやや大きめになっている。現状ていどのニーズであれば、あていどは可能と考えられる。

なお、地域貢献の課題ごとに主としてどの学部・センターにおいて対応可能かについては、当該課題の実績がある教員および今後可能な教員の実数で、学部・センター別に表1-01(b)にしめすとおりである。たとえば、「10. 地域の健康づくり」については看護学部・健康栄養学部を中心に全学部・センターに今後対応可能な教員が在籍している。また、「12. 交流・楽しみづくり」については全学部・センターに実績のある教員が在籍している。

表1-01(a) 学外ニーズと学内シーズ(1)生活・健康課題

	1. 学外 ニーズ		2. 学内 シーズ			3. 地域 貢献 対応 関係 指数 <sup>2)</sup> (b/a)
	11. 現状 課題 (複数回答)	12. 連携 希望 課題 (a)	20. 貢献 可能 総力 <sup>1)</sup> (b)	21. 貢献 実績	22. 今後 可能 貢献	
00. 回答総数 <sup>3)</sup> (c)	365	271	87	87	87	-
01. 生活・健康課題回答者数 <sup>4)</sup> (d)	-	-	63	63	58	-
02. 貢献可能指数 (d/c)	-	-	0.72	0.72	0.67	-
1. 日常生活 の移動	128 35.1	27 10.0	3 3.4	3 3.4	2 2.3	- 0.34
2. 飲料水など の確保	15 4.1	5 1.8	2 2.3	2 2.3	0 0.0	- 1.27
3. 買い物の しやすさ	105 28.8	29 10.7	2 2.3	2 2.3	0 0.0	- 0.21
4. 郵便の利用・ 非常時の通信	36 9.9	13 4.8	2 2.3	2 2.3	0 0.0	- 0.48
5. 地域福祉・ 在宅福祉	120 32.9	81 29.9	13 14.9	13 14.9	12 13.8	- 0.50
6. 住環境の整備・ バリアフリー化	54 14.8	24 8.9	4 4.6	4 4.6	3 3.4	- 0.52
7. 地域医療	105 28.8	55 20.3	23 26.4	23 26.4	20 23.0	- 1.30
8. 疾病予防・ 保健活動	39 10.7	32 11.8	23 26.4	20 23.0	23 26.4	- 2.24
9. 地域包括ケア	53 14.5	34 12.5	12 13.8	12 13.8	9 10.3	- 1.10
10. 地域の 健康づくり	76 20.8	64 23.6	26 29.9	20 23.0	26 29.9	- 1.27
11. 食生活・栄養改善 ・食育推進	78 21.4	72 26.6	13 14.9	13 14.9	13 14.9	- 0.56
12. 交流・ 楽しみづくり	133 36.4	91 33.6	14 16.1	14 16.1	10 11.5	- 0.48
13. その他	56 15.3	23 8.5	3 3.4	3 3.4	1 1.1	- 0.40

## 【凡例】

1. 日常生活上の移動のしやすさ / 2. 飲料水などの水の確保 / 3. 日用品・食料品などの買い物のしやすさ / 4. 日常の郵便の利用のしやすさや、非常時の通信確保 / 5. 地域福祉や在宅福祉の充実 / 6. 住環境の整備や、住宅などのバリアフリー化の推進 / 7. 地域医療の充実 / 8. 地域の疾病予防・保健活動などの強化 / 9. 地域包括ケアの推進 / 10. 地域の健康づくりの推進 / 11. 健康的な食生活・栄養改善や食育などの推進 / 12. 地域でのさまざまな交流や楽しみづくり / 13. その他

## 【註】

- 1) 「貢献可能総力」: 「貢献実績」と「今後貢献可能」のうち多い方をとったもの。
- 2) 「地域貢献対応関係指数」: 地域課題のうち高知県立大学との連携等を期待している課題の相対度数(期待度数)にたいする、高知県立大学における同課題の地域貢献総力(学内における教員総数にたいする同課題への貢献が可能な教員数の相対度数)の割合をしめす。地域課題の分布にたいする学内地域貢献資源の相対的なバランスをしめす指数としての意味がある。
- 3) 回答総数は、この「学内シーズ調査」全体にたいする回答総数。
- 4) 生活・健康課題回答者数は、生活・健康課題にかんして、なんらかの地域貢献実績があるか、または今後なんらかの地域貢献が可能と回答した教員の総数。

表1-01(b) 学部・センター別の学内シーズ(1)生活・健康課題

(複数回答)		0. 総数	1. 文化 学部	2. 看護 学部	3. 社会 福祉 学部	4. 健康 栄養 学部	5. セン ター <sup>1)</sup>
0. 総数 <sup>2)</sup>	実績	63	3	31	15	12	2
	可能	58	2	29	14	11	2
1. 日常生活 の移動	実績	3		1	2		
	可能	1			2		
2. 飲料水など の確保	実績	2			1	1	
	可能						
3. 買い物の しやすさ	実績	2			1	1	
	可能						
4. 郵便の利用・ 非常時の通信	実績	2		1	1		
	可能						
5. 地域福祉・ 在宅福祉	実績	13		1	12		
	可能	12		1	11		
6. 住環境の整備・ バリアフリー化	実績	4		1	2		1
	可能	3		1	1		1
7. 地域医療	実績	23		20	2	1	
	可能	20		17	2	1	
8. 疾病予防・ 保健活動	実績	20		17	2	1	
	可能	23		19	2	2	
9. 地域包括ケア	実績	12		7	5		
	可能			5	4		
10. 地域の 健康づくり	実績	20		12	2	6	
	可能		1	16	2	6	1
11. 食生活・栄養改善 ・食育推進	実績	13		3		10	
	可能		1	3		9	
12. 交流・ 楽しみづくり	実績	14	3	3	4	3	1
	可能		1	1	4		1
13. その他	実績	3		1	1		1
	可能						

## 【凡例】

課題項目の詳細については、表1-01(a)参照。

## 【註】

1) 地域教育研究センターおよび総合情報センター。

2) この総数は、この「生活・健康課題」についてなんらかの実績があると回答したものの総数。

なお、「0ケース」の場合は空欄としている。

## (2) 経済課題

高知県各地域の経済課題について、各課題にたいする学外ニーズ分布と学内シーズ分布を比較して表1-02(a)にしめす。また、学内シーズの学部・センター別の内訳については表1-02(b)にしめす。

経済課題にかんしては、高知県立大学の学部・センター構成からみても当該関連分野の専門家などは少ないので、貢献実績(貢献可能指数0.21)からみても今後可能な貢献(同0.18)からみても、対応可能な教員は2割前後である。

個別の経済課題についてみると、経済課題のなかで貢献対応指数が比較的高いのは「5. 地場産品の調査・研究(貢献対応指数0.31)」「3. 地場産品の製品開発(同0.22)」「6. 地域行事・イベント等(0.21)」「2. 地場産業活性化(0.19)」などであるが、生活・健康課題に較べるとひじょうに低いのが現状である。そのなかで、健康栄養学部などでは食分野での地場産品の製品開発や調査・研究などで、実績のある教員や今後貢献が可能な教員が在籍している。

表1-02(a) 学外ニーズと学内シーズ(2) 経済課題

(複数回答)	1. 学外 ニーズ		2. 学内 シーズ			3. 地域 貢献 対応 関係 指数  (b/a)
	11. 現状 課題	12. 連携 希望 課題 (a)	20. 貢献 可能 総力 (b)	21. 貢献 実績	22. 今後 可能 貢献	
00. 回答総数 <sup>3)</sup> (c)	341	231	87	87	87	-
01. 生活・健康課題回答者数 <sup>4)</sup> (d)	-	-	18	18	16	-
02. 貢献可能指数 (d/c)	-	-	0.21	0.21	0.18	-
1. 雇用 確保	246 72.1	100 43.3	2 2.3	2 2.3	1 1.1	- 0.05
2. 地場産業 活性化	185 54.3	95 41.1	7 8.0	7 8.0	4 4.6	- 0.19
3. 地場製品の 製品開発	116 34.0	84 36.4	7 8.0	7 8.0	7 8.0	- 0.22
4. 地場製品の 販売・流通確保	98 28.7	34 14.7	1 1.1	1 1.1	1 1.1	- 0.07
5. 地場製品の 調査・研究	54 15.8	43 18.6	5 5.7	5 5.7	2 2.3	- 0.31
6. 地域行事・ イベント等	106 31.1	63 27.3	5 5.7	4 4.6	5 5.7	- 0.21
7. 企業等 誘致	86 25.2	28 12.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	- 0.00
8. その他	15 4.4	5 2.2	2 2.3	1 1.1	2 2.3	- 1.05

## [凡例]

1. 雇用の確保
2. 地場産業の活性化
3. 地場産品を活用した製品開発
4. 地場産品の販売・流通ルートの確保
5. 地場産品の商品価値等に関する調査・研究
6. 活性化のための地域行事・イベント等の企画・開発
7. 企業等の地元への誘致
8. その他の課題

## [註]

- 1) 「貢献可能総力」: 「貢献実績」と「今後貢献可能」のうち多い方をとったもの。
- 2) 「地域貢献対応関係指数」: 地域課題のうち高知県立大学との連携等を期待している課題の相対度数(期待度数)にたいする、高知県立大学における同課題の地域貢献総力(学内における教員総数にたいする同課題への貢献が可能な教員数の相対度数)の割合をしめす。地域課題の分布にたいする学内地域貢献資源の相対的なバランスをしめす指数としての意味がある。
- 3) 回答総数は、この「学内シーズ調査」全体にたいする回答総数。
- 4) 生活・健康課題回答者数は、生活・健康課題にかんして、なんらかの地域貢献実績があるか、または今後なんらかの地域貢献が可能と回答した教員の総数。

表1-02(b) 学部・センター別の学内シーズ(2)経済課題

(複数回答)		0. 総数	1. 文化 学部	2. 看護 学部	3. 社会 福祉 学部	4. 健康 栄養 学部	5. セン ター <sup>1)</sup>
0. 総数 <sup>2)</sup>	実績	18	3	4	1	7	3
	可能	16	4	2		7	3
1. 雇用 確保	実績	2	1	1			
	可能	1	1				
2. 地場産業 活性化	実績	7	2		1	4	
	可能	4	2			2	
3. 地場製品の 製品開発	実績	7	1	1		4	1
	可能	7		1		5	1
4. 地場製品の 販売・流通確保	実績	1	1				
	可能	1				1	
5. 地場製品の 調査・研究	実績	5				4	1
	可能	2				2	
6. 地域行事・ イベント等	実績	4	1	2			1
	可能	5	2			1	2
7. 企業等 誘致	実績						
	可能						
8. その他	実績	1		1			
	可能	2		1			1

[凡例]

課題項目の詳細については、表1-02(a)参照。

[註]

- 1) 地域教育研究センターおよび総合情報センター。
- 2) この総数は、この「経済課題」についてなんらかの実績があると回答したものの総数。  
なお、「0ケース」の場合は空欄としている。

### (3) 文化課題

高知県各地域の文化課題について、各課題にたいする学外ニーズ分布と学内シーズ分布を比較して表1-03(a)にしめす。また、学内シーズの学部・センター別の内訳については表1-03(b)にしめす。

文化課題にかんしても、経済課題とほぼ同ていどの貢献可能指数(貢献実績・今後可能な貢献とも0.20)となっており、ここで掲げたような文化課題に対応可能な教員は2割である。さきにみた生活・健康課題やこのあとにみる教育課題にかんしては、高知県立大学のおおむね全学部・センターになんらかの貢献可能な教員が在籍しているために、大学全体としての地域貢献力が高いが、経済課題・文化課題やこのあとにみる環境課題については、大学全体としての量的な地域貢献力は大きくない。

個別の文化課題についてみると、文化課題のなかで貢献対応指数が比較的高いのは「5. 生活文化・文化活動の推進(貢献対応指数0.35)」「6. 文化財・資源等の啓蒙・広報(同0.31)」「1. 文化施設の充実(0.26)」などである。生活・健康課題に較べるとひじょうに低い、経済課題よりはやや高めである。これらの課題に対応可能な教員はほとんどが文化学部<sup>1)</sup>に在籍しており、課題によってはほかの学部やセンターなどでも実績のある教員や可能な教員が1～2人ていど在籍している。



表1-03(a) 学外ニーズと学内シーズ(3)文化課題

(複数回答)	1. 学外 ニーズ		2. 学内 シーズ			3. 地域 貢献 対応 関係 指数  (b/a)
	11. 現状 課題	12. 連携 希望 課題 (a)	20. 貢献 可能 総力 (b)	21. 貢献 実績	22. 今後 可能 貢献	
00. 回答総数 <sup>3)</sup> (c)	305	211	87	87	87	-
01. 生活・健康課題回答者数 <sup>4)</sup> (d)	-	-	17	17	17	-
02. 貢献可能指数 (d/c)	-	-	0.20	0.20	0.20	-
1. 文化施設の 充実	87 28.5	47 22.3	5 5.7	5 5.7	5 5.7	- 0.26
2. 文化施設の 企画・開発	80 26.2	46 21.8	3 3.4	0 0.0	3 3.4	- 0.16
3. 文化財・文化資源 の発掘・発見	71 23.3	50 23.7	4 4.6	4 4.6	4 4.6	- 0.19
4. 古い建物・ 町なみ保存	51 16.7	37 17.5	3 3.4	3 3.4	2 2.3	- 0.19
5. 生活文化・ 文化活動の推進	92 30.2	62 29.4	9 10.3	9 10.3	9 10.3	- 0.35
6. 文化財・資源等の 啓蒙・広報	78 25.6	47 22.3	6 6.9	4 4.6	6 6.9	- 0.31
7. 文化財・資源等の 情報発信	97 31.8	54 25.6	4 4.6	4 4.6	4 4.6	- 0.18
8. その他	22 7.2	8 3.8	3 3.4	3 3.4	1 1.1	- 0.89

[凡例]

1. 既存の文化施設の充実
2. 地域にふさわしい文化施設の企画・開発
3. 文化財・文化資源の発掘・発見や、調査・研究
4. 古い建物・町なみの保存や、歴史的価値等に関する調査・研究
5. 生活文化や文化活動の向上・推進・普及
6. 文化財・文化資源・生活文化等に関する住民などへの啓蒙・広報
7. 文化財・文化資源・生活文化等の地域外への情報発信
8. その他

[註]

- 1) 「貢献可能総力」: 「貢献実績」と「今後貢献可能」のうち多い方をとったもの。
- 2) 「地域貢献対応関係指数」: 地域課題のうち高知県立大学との連携等を期待している課題の相対度数(期待度数)にたいする、高知県立大学における同課題の地域貢献総力(学内における教員総数にたいする同課題への貢献が可能な教員数の相対度数)の割合をしめす。地域課題の分布にたいする学内地域貢献資源の相対的なバランスをしめす指数としての意味がある。
- 3) 回答総数は、この「学内シーズ調査」全体にたいする回答総数。
- 4) 生活・健康課題回答者数は、生活・健康課題にかんして、なんらかの地域貢献実績があるか、または今後なんらかの地域貢献が可能と回答した教員の総数。

表1-03(b) 学部・センター別の学内シーズ(3)文化課題

(複数回答)		0. 総数	1. 文化 学部	2. 看護 学部	3. 社会 福祉 学部	4. 健康 栄養 学部	5. セン ター <sup>1)</sup>
0. 総数 <sup>2)</sup>	実績	17	12	1	1	1	2
	可能	17	11	1	1	1	3
1. 文化施設の 充実	実績	5	3	1	1		
	可能	5	2		1		2
2. 文化施設の 企画・開発	実績						
	可能	3	2				1
3. 文化財・文化資源 の発掘・発見	実績	4	4				
	可能	4	4				
4. 古い建物・ 町なみ保存	実績	3	2				1
	可能	2	1				1
5. 生活文化・ 文化活動の推進	実績	9	7		1		1
	可能	9	7		1		1
6. 文化財・資源等の 啓蒙・広報	実績	4	4				
	可能	6	4	1	1		
7. 文化財・資源等の 情報発信	実績	4	4				
	可能	4	4				
8. その他	実績	3	1			1	1
	可能	1				1	

【凡例】

課題項目の詳細については、表1-03(a)参照。

【註】

1) 地域教育研究センターおよび総合情報センター。

2) この総数は、この「文化課題」についてなんらかの実績があると回答したものの総数。

なお、「0ケース」の場合は空欄としている。

#### (4) 教育課題

高知県各地域の教育課題について、各課題にたいする学外ニーズ分布と学内シーズ分布を比較して表1-04(a)にしめす。また、学内シーズの学部・センター別の内訳については表1-04(b)にしめす。

教育課題にかんしては、生活・健康課題とならんで高知県立大学としての地域貢献力がもっとも大きい。とくに、実績で貢献可能指数が0.68あり、今後可能な貢献では0.76と5つの課題区分のなかでもっとも高い値をしめしている。高知県立大学の場合には、すべての専門教育課程のなかに教職課程がおかれており、専門教育を背景としたより実践的な場面での教育への貢献が可能なのではないかと考えられる。

個別の教育課題についてみると、とくに貢献対応指数が高いのは「6. 医療・福祉・健康等の学習機会(貢献対応指数1.92)」「5. 社会人教育・生涯教育(同1.24)」「2. 教諭への研修(1.22)」などである。これら以外の課題でも貢献対応指数が0.50以上のものが多く、教育課題にたいしては大学全体として対応可能な教員が比較的多い。しかし「8. 地域防災の学習機会(0.35)」「3. 相談・カウンセリング体制(0.35)」にかんしては、ニーズが多いのに較べると対応可能な教員がやや少なめである。

学部・センター別では、「1. 授業への支援・協力」「2. 教諭への研修」などでは文化学部で対応可能な教員が多く、そのほか各専門分野の学習などを中心として、おおむねすべての学部・センターに教育課題への対応が可能な教員が在籍している。

表1-04(a) 学外ニーズと学内シーズ(4)教育課題

(複数回答)	1. 学外 ニーズ		2. 学内 シーズ			3. 地域 貢献 対応 関係 指数  (b/a)
	11. 現状 課題	12. 連携 希望 課題 (a)	20. 貢献 可能 総力 (b)	21. 貢献 実績	22. 今後 可能 貢献	
00. 回答総数 <sup>3)</sup> (c)	349	272	87	87	87	-
01. 生活・健康課題回答者数 <sup>4)</sup> (d)	-	-	66	59	66	-
02. 貢献可能指数 (d/c)	-	-	0.76	0.68	0.76	-
1. 授業への 支援・協力	114 32.7	97 35.7	17 19.5	13 14.9	17 19.5	- 0.55
2. 教諭への 研修	99 28.4	74 27.2	29 33.3	29 33.3	29 33.3	- 1.22
3. 相談・ カウンセリング体制	113 32.4	80 29.4	9 10.3	7 8.0	9 10.3	- 0.35
4. 施設・設備 支援・協力体制	90 25.8	46 16.9	9 10.3	8 9.2	9 10.3	- 0.61
5. 社会人教育・ 生涯教育	87 24.9	68 25.0	27 31.0	27 31.0	26 29.9	- 1.24
6. 医療・福祉・健康等 の学習機会	66 18.9	49 18.0	30 34.5	22 25.3	30 34.5	- 1.92
7. 文化・住まい・まち ・環境等の学習機会	80 22.9	59 21.7	12 13.8	10 11.5	12 13.8	- 0.64
8. 地域防災の 学習機会	152 43.6	89 32.7	8 11.5	8 9.2	10 11.5	- 0.35
9. その他	18 5.2	14 5.1	4 4.6	4 4.6	3 3.4	- 0.90

## [凡例]

1. 授業向上のための地域住民・専門家などの支援・協力の推進
2. 教諭にたいする教育力量向上のための研修内容・研修機会などの充実
3. 相談・カウンセリング体制などの充実
4. 学校内外の施設・設備や支援・協力体制などの充実
5. 社会人教育・生涯教育の充実
6. 医療・福祉・健康等への住民知識・認識向上等のための学習機会充実
7. 文化・住まい・まち・環境等への住民知識・認識向上等のための学習機会充実
8. 地域防災への住民知識・認識向上等のための学習機会充実
9. その他の課題

## [註]

- 1) 「貢献可能総力」: 「貢献実績」と「今後貢献可能」のうち多い方をとったもの。
- 2) 「地域貢献対応関係指数」: 地域課題のうち高知県立大学との連携等を期待している課題の相対度数(期待度数)にたいする、高知県立大学における同課題の地域貢献総力(学内における教員総数にたいする同課題への貢献が可能な教員数の相対度数)の割合をしめす。地域課題の分布にたいする学内地域貢献資源の相対的なバランスをしめす指数としての意味がある。
- 3) 回答総数は、この「学内シーズ調査」全体にたいする回答総数。
- 4) 生活・健康課題回答者数は、生活・健康課題にかんして、なんらかの地域貢献実績があるか、または今後なんらかの地域貢献が可能と回答した教員の総数。

表1-04(b) 学部・センター別の学内シーズ(4)教育課題

(複数回答)		0. 総数	1. 文化 学部	2. 看護 学部	3. 社会 福祉 学部	4. 健康 栄養 学部	5. セン ター <sup>1)</sup>
0. 総数 <sup>2)</sup>	実績	59	17	18	11	8	5
	可能	66	15	24	13	9	5
1. 授業への 支援・協力	実績	13	7	2	1	1	2
	可能	17	8	3	1	3	2
2. 教諭への 研修	実績	29	12	8	2	4	3
	可能	29	11	8	3	3	4
3. 相談・ カウンセリング体制	実績	7		2	4		1
	可能	9		4	4		1
4. 施設・設備 支援・協力体制	実績	8	1	2		1	4
	可能	9	2	3		1	3
5. 社会人教育 生涯教育	実績	27	11	5	5	3	3
	可能	26	6	7	8	2	3
6. 医療・福祉・健康等 の学習機会	実績	22		10	8	4	
	可能	30		15	11	3	1
7. 文化・住まい・まち ・環境等の学習機会	実績	10	4	2	1		3
	可能	12	5	1	2	1	3
8. 地域防災の 学習機会	実績	8	2	3		3	
	可能	10	2	5		3	
9. その他	実績	4	2	1	1		
	可能	3	1	1	1		

## 【凡例】

課題項目の詳細については、表1-04(a)参照。

## 【註】

- 1) 地域教育研究センターおよび総合情報センター。
  - 2) この総数は、この「教育課題」についてなんらかの実績があると回答したものの総数。
- なお、「0ケース」の場合は空欄としている。

## (5) 環境課題

高知県各地域の環境課題について、各課題にたいする学外ニーズ分布と学内シーズ分布を比較して表1-05 (a)にしめす。また、学内シーズの学部・センター別の内訳については表1-05 (b)にしめす。

環境課題にかんしては、5つの課題区分のなかでもっとも貢献可能指数が低く、実績で0.15であり、今後可能なものでは0.13である。

個別の課題で見ると、「6. 地震・水害等災害対策(貢献対応指数0.17)」に対応可能な教員数が8名でもっとも多い。この課題は環境課題ではもっともニーズが高いものであり、貢献対応指数ではわずか0.17である。これら以外の課題では、対応可能な教員そのものが1～3名であり、この分野での高知県立大学の地域貢献力は小さい。しかし環境課題でもっともニーズの高い「6. 地震・水害等災害対策」にかんしては、関連大学院の設置などの努力もつづけられており、この分野での地域貢献力は今後高くなっていくことが期待されることである。

学部・センター別では、文化学部・看護学部・健康栄養学部に各4人ずつの環境課題への対応が可能な教員が在籍している。

表1-05(a) 学外ニーズと学内シーズ(5) 環境課題

(複数回答)	1. 学外 ニーズ		2. 学内 シーズ			3. 地域 貢献 対応 関係 指数  (b/a)
	11. 現状 課題	12. 連携 希望 課題 (a)	20. 貢献 可能 総力 (b)	21. 貢献 実績	22. 今後 可能 貢献	
00. 回答総数 <sup>3)</sup> (c)	337	222	87	87	87	-
01. 生活・健康課題回答者数 <sup>4)</sup> (d)	-	-	13	13	11	-
02. 貢献可能指数 (d/c)	-	-	0.15	0.15	0.13	-
1. 自然環境 保護対策	69 20.5	43 19.4	3 3.4	3 3.4	3 3.4	- 0.18
2. ゴミ処理 問題対策	56 16.6	29 13.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	- 0.08
3. 地域資源 有効活用	85 25.2	46 20.7	2 2.3	2 2.3	1 1.1	- 0.11
4. 中山間地域の 道路整備	74 22.0	34 15.3	1 1.1	1 1.1	0 0.0	- 0.07
5. 鳥獣被害 対策	101 30.0	50 22.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	- 0.00
6. 地震・水害 災害対策	203 60.2	129 58.1	8 9.9	8 9.9	8 9.2	- 0.17
7. 環境保護 運動推進	36 10.7	29 13.1	2 2.3	1 1.1	2 2.3	- 0.18
8. その他	17 5.0	13 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	- 0.00

[凡例]

1. 自然環境保護のための対策
2. ゴミ処理問題への対策
3. 地域資源(木材など)の有効活用
4. 中山間地域の道路整備や補修
5. 鳥獣被害対策
6. 地震・水害などの災害対策
7. 環境保護運動の推進
8. その他の課題

[註]

- 1) 「貢献可能総力」: 「貢献実績」と「今後貢献可能」のうち多い方をとったもの。
- 2) 「地域貢献対応関係指数」: 地域課題のうち高知県立大学との連携等を期待している課題の相対度数(期待度数)にたいする、高知県立大学における同課題の地域貢献総力(学内における教員総数にたいする同課題への貢献が可能な教員数の相対度数)の割合をしめす。地域課題の分布にたいする学内地域貢献資源の相対的なバランスをしめす指数としての意味がある。
- 3) 回答総数は、この「学内シーズ調査」全体にたいする回答総数。
- 4) 生活・健康課題回答者数は、生活・健康課題にかんして、なんらかの地域貢献実績があるか、または今後なんらかの地域貢献が可能と回答した教員の総数。

表1-05(b) 学部・センター別の学内シーズ(5)環境課題

(複数回答)		0. 総数	1. 文化 学部	2. 看護 学部	3. 社会 福祉 学部	4. 健康 栄養 学部	5. セン ター <sup>1)</sup>
0. 総数 <sup>2)</sup>	実績	13	4	4		4	1
	可能	11	2	4		4	1
1. 自然環境 保護対策	実績	3	1			1	1
	可能	3	1			1	1
2. ゴミ処理 問題対策	実績	1	1				
	可能	1				1	1
3. 地域資源 有効活用	実績	2	2				
	可能	1	1				
4. 中山間地域の 道路整備	実績	1		1			
	可能						
5. 鳥獣被害 対策	実績						
	可能						
6. 地震・水害 災害対策	実績	8	1	3		3	1
	可能	8	1	4		3	
7. 環境保護 運動推進	実績	1	1				
	可能	2	1				1
8. その他	実績						
	可能						

【凡例】

課題項目の詳細については、表1-05(a)参照。

【註】

1) 地域教育研究センターおよび総合情報センター。

2) この総数は、この「環境課題」についてなんらかの実績があると回答したものの総数。

なお、「0ケース」の場合は空欄としている。



# Ⅲ. 高知県立大学の 地域貢献実績と資源 の詳細 (シーズ個票)



# 青木 晴男

AOKI, Haruo

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) リカレント講座</b> (2007-現年度)            (b) 「小学校英語」(2007-09)、日・英詩の鑑賞(2010-12)            (c) 小・中・高校の英語担当教員(2007-09)、小・中・高校、特別支援学校の教員(2010-12)            (d) 小・中・高校の英語担当教員(2007-09)、小・中・高校、特別支援学校の教員(2010-12)            (e) 永国寺キャンパスの教室            (f) 山根教授・山口准教授・向井講師らと青木晴男で担当(2007-09)、青木晴男担当(2010-12)</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 英語文学読書会</b> (1990-現年度)            (b) 英米小説の輪読(隔月に1回2時間半程度、英米長編小説をレポーターを決めて輪読・討論を行う)            (c) 主婦・退職教員・現職教員・県民            (d) 主婦・退職教員・、現職教員・県民            (e) 永国寺キャンパスの教室            (f) 青木晴男</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 時事英語研究会</b> (1995-現年度)            (b) 英字新聞記事の論評(Nativeを講師に数人で週1回1時間、新聞記事トピックを英語で意見交換)            (c) 退職教員・法人職員・県民            (d) 退職教員・法人職員・県民            (e) 永国寺キャンパスの教室            (f) 青木晴男</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知市民の大学</b> (2010年度)            (b) 講演：D. H. ロレンスの生と死            (c) 県民            (d) 県民            (e) かるぽーと            (f) 青木晴男</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 文学学校</b> (2012年度)            (b) 講演：D. H. ロレンスの『パンジー』詩集            (c) 県民            (d) 県民            (e) かるぽーと            (f) 青木晴男</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) リカレント講座</b>            (b) 近代のイギリス文学、特にロレンスの作品と日・英詩における自然観の相違など            (c) 小・中・高校・特別支援学校の現職教員            (d) 小・中・高校・特別支援学校の現職教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 英語文学読書会</b>            (b) 英米小説作品の輪読            (c) 県民            (d) 県民</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 時事英語研究</b>            (b) 英字新聞記事の論評            (c) 県民            (d) 県民            など。</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            命、人権、地球環境、宇宙、人間中心主義と生物中心主義、生態学、持続可能社会、共生、ジェンダーなど。</p> <p>○相談可能な領域            (1) D. H. ロレンス文学と近代イギリス文学の作家たちに見る自然観の変遷            (2) エコクリティシズム(エコロジー保護を意識した文学研究)の現状と今後の課題            (3) ロマン主義詩とネイティブアメリカンの口承詩における人間と自然の関係            (4) 人間の成長や社会・文化の豊かさの中で果たす文学の役割・意義</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) D. H. ロレンスの作品における人間と自然、近代イギリス文学の作家たちに見る自然観の変遷            (2) エコクリティシズム(エコロジー保護を意識した文学研究)            (3) 人間と自然の関係の捉え方における日・英文学に現れた相違(主に詩を中心にして)</p>

# 五百藏 高浩 IOROI, Takahiro

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 教員免許状更新講習</b> (2011-現年度)            (b) 英語教諭を対象とした講習            (c) 教職課程を設置する高知県内大学            (d) 小学校外国語担当の教諭、中学校・高等学校の英語教諭            (e) 本学永国寺キャンパス            (f) 五百藏高浩・鈴木哲也・金澤俊吾・山口善成</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) リカレント講座</b> (2006-現年度)            (b) 英語教員向けのリカレント講座            (c) 高知県教育センター            (d) 小学校外国語担当の教諭、中学校・高等学校の英語教諭            (e) 本学永国寺キャンパス            (f) 青木春男・鈴木哲也・金澤俊吾・山口善成</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 確かな学力の育成に係る実践的調査研究</b> (2012年度)            (b) 学力向上に関する課題と対策についての助言            (c) 高知県教育委員会            (d) 室戸高等学校            (e) 上に同じ            (f) 五百藏高浩</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 学校教育における教材開発・指導法の改善</b>            (b) 教材開発・指導法・ICT活用など            (c) 中学校・高等学校            (d) 英語科担当教員</p>
<p><b>[04]</b>  <b>(a) 英語科におけるICTを活用した授業についての研究会</b> (2012年度)            (b) 英語学習への意欲や関心を高める指導技術・教材の工夫など            (c) 安芸市立安芸中学校            (d) 安芸市立安芸中学校英語科教諭            (e) 上に同じ            (f) 五百藏高浩</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 小学校外国語活動への助言指導</b> (2012年度)            (b) 5・6年生外国語活動の授業方法についての助言指導            (c) 高知県香美市教育委員会            (d) 香長小学校            (e) 上に同じ            (f) 五百藏高浩</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            教育、英語教育、ICT、国際交流</p> <p>○相談可能な領域            (1) 学校教育における英語科教育            (2) 授業へのICT活用</p> <p>○これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)            (1) 英語教育における教材開発 (*)            (2) 英語の音声・音韻に関する言語学的研究 (*)            (3) 英語の語法に関する研究 (*)</p>

**芋生 裕信**

IMOU, Hironobu

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) リカレント講座</b> (2008-12年度)            (b) 近代文学及び国語に関する内容の研修            (c) 高知県教育センター            (d) 小中高その他の現職教員            (e) 本学永国寺キャンパス            (f) その年度のリカレント委員・副手・講座担当者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 文学カレッジ</b> (2007年度)            (b) 井伏鱒二に関する内容の講座            (c) 高知県立文学館            (d) 一般市民            (e) 高知県立文学館            (f) 芋生裕信</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) まちかど文化談義</b> (2008/10年度)            (b) 「土佐の清流文学」ほかのテーマで日本近代文学に関する内容の講座            (d) 一般市民            (e) 帯屋町「まちの駅」ほか            (f) その年度の委員・芋生裕信</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本近代文学に関する講座</b>            (b) 日本近代の詩歌・小説等の講読・解説            (c) 教育機関・図書館・文学館等            (d) 一般市民・教員等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知にゆかりのある文学に関する講座</b>            (b) 高知にゆかりのある文学作品の講読・解説            (c) 教育機関・図書館・文学館等            (d) 一般市民・教員等</p>
<p><b>[04]</b>  <b>(a) なんこく生涯学習文学講座</b> (2006-07年度)            (b) 「近代詩を鑑賞しよう」「志賀直哉の名作短編を味わう」のテーマで日本近代文学に関する内容の講座            (c) 南国市教育委員会            (d) 一般市民            (e) 南国市公民館            (f) 芋生裕信</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) ラジオ出演</b> (2008-09年度・4回)            (b) 「春のうた、あれこれ」「夏のうた、寺山修司から石川啄木へ」ほかのテーマで日本近代文学に関する内容の談話            (c) 高知放送            (d) 一般市民            (e) 高知放送            (f) 芋生裕信・清原泰治</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            日本近代文学、詩、小説、郷土の文学</p> <p>○相談可能な領域            (1) 日本の近代・現代文学について            (2) 教材としての文学作品について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)            (1) 西脇順三郎の研究            (2) 志賀直哉の研究 (*)            (3) 小川国夫の研究 (*)</p>

# 井本 正人 IMOTO, Masato

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 土佐茶のブランド化・普及</b> (2009-11年度)            (b) 土佐茶の企画・販売            (c) 高知県茶業試験場・JA全農こうち・高知県工業技術センター・JAコスモス            (d) 市場            (e) 主に県内            (f) 井本正人・川口順子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 四万十川流域の文化的景観の選定</b> (2010-現年度)            (b) 四万十川流域の重要文化的景観「源流域の山村」の選定            (c) 津野町            (d) 津野町            (e) 津野町            (f) 井本正人</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 地方中小民鉄の輸送サービスの高度化に関する調査</b> (2003)            (b) 地域の「移動手段」としてのあり方としての土佐電気鉄道の調査検討            (c) 四国運輸局            (d) 一般市民            (e) 高知市民            (f) 井本正人</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 土佐茶の普及</b>            (b) 土佐茶の調査研究            (c) 自治体            (d) 自治体担当者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 過疎バスの調査研究</b>            (b) 過疎バスの調査研究            (c) 自治体            (d) 自治体担当者</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            過疎バス、移動保障、土佐茶</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 移動保障            (2) 土佐茶            (3) 土佐和紙</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 移動保障の国際的比較研究            (2) 土佐茶            (3) 土佐和紙</p>

**岩倉 秀樹**

IWAKURA, Hideki

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 各種委員会・審査会の委員</b> (2012-現年度)            (b) 高知弁護士会懲戒委員会委員(2012-現)、高知県公文書開示審査会委員(2012-現)、高知市行政情報公開・個人情報保護審査会委員(2012-現)、高知市議会情報公開・個人情報保護審査会委員(2012-現)、高知市自動車廃物判定委員会委員(2012-現)、高知県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員(2012-現)、こうち人づくり広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員(2012-現)            (c) 高知弁護士会・高知県・高知市・高知県後期高齢者医療広域連合・こうち人づくり広域連合            (d) 高知弁護士会・各地方公共団体            (e) 高知弁護士会館・高知県庁・高知市役所等            (f) 岩倉秀樹</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 第70期高知市民の大学講師</b> (2011年度)            (b) 社会科学コース「憲法の原点から混迷の日本を考える」のうち「民主主義の条件としての表現の自由」を担当            (c) 高知市文化振興事業団・高知市教育委員会            (d) 第70期高知市民の大学社会科学コース受講生            (e) 高知市文化プラザかるぼーと大講義室            (f) 岩倉秀樹</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 憲法・法学に関する一般的事項</b>            (b) 憲法・法学の講演・法学教育の助言等            (c) 地方公共団体・学校等            (d) 一般市民・教員等</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            憲法、アメリカ憲法</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 憲法・法学に関する一般的事項</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 現代日本の新たな憲法解釈の可能性</p>

# 大村 誠

OMURA, Makoto

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域防災を進める各種の団体への支援</b> (2005-現年度)            (b) 南海トラフ巨大地震・津波と防災活動の説明            (c) 自主防災組織・町内会・公民館・老人会などの運営関係者            (d) 一般市民・児童・生徒・学生・自主防災組織・町内会・公民館・老人会などへの参加者            (e) 高知市とその周辺地域            (f) 大村誠</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 学校での防災教育への支援</b> (2011-現年度)            (b) 高知市立大津小学校の教職員が実施する児童・校区住民を対象とした防災教育の支援を行った。具体的内容は、教職員向け研修、児童向け講演、校区住民向け講演、防災訓練の講評などである。なお、大津小学校は平成24年度高知県実践的防災教育推進事業の対象校となっている。            (c) 小学校教職員            (d) 小学校教職員・小学生・校区住民            (e) 高知市立大津小学校(年2～3回)            (f) 大村誠</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 「高知市民の大学」での講師</b> (1992/94/96/2001/04/12年度)            (b) 高知市民の大学での講師を担当した。講義テーマは、地球環境(1992/94/96/2001)および南海地震と防災(2004/12)である。            (c) 高知市立中央公民館(1992/94/96/2001)、(財)高知市文化振興事業団(2004/12)            (d) 高知市民の大学受講者(一般住民・学生ほか)            (e) 高知市            (f) 大村誠・家政学部生活理学科教員・生活科学部環境理学科教員ほか</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域防災活動への支援</b>            (b) 自然災害のメカニズムや防災・減災についての講演、防災訓練の支援などを行う            (c) 自治体・自主防災組織・町内会・公民館・老人会などの関係者            (d) 一般市民・児童・生徒・学生・自主防災組織・町内会・公民館・老人会などへの参加者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 学校での防災教育への支援</b>            (b) 学校での防災教育を支援するため、自然災害のメカニズムや防災・減災についての講演、防災訓練の支援などを行う            (c) 学校・自治体(教育委員会)            (d) 学校教職員・児童・生徒・一般住民</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 各種講演会の講師</b>            (b) 地球科学・環境科学・宇宙科学・自然災害・防災・減災に関する講演の講師を担当する            (c) 各種団体、学校など            (d) 講演会の参加者(児童・生徒・学生・一般市民)</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            自然災害、防災、減災、リモートセンシング・環境変化・人間行動・リスクコミュニケーション</p> <p>○相談可能な領域            (1) 自然災害・防災・減災についての知識普及            (2) 防災・減災の取組み全般</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域防災(*)            (2) 防災教育(*)            (3) リモートセンシング：特に合成開口レーダー(SAR)の防災・地球科学への応用(*)            (4) 地形情報の工学的応用</p>



# 佐藤 恵里 SATOU, Eri

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域の文化財・文化資源の発掘・発見や、それらについての調査・研究、また地域住民・一般市民への啓蒙・情報発信</b> (1987-現年度)            (b) ①映像記録「本川神楽伝習用ビデオ」作成(1987、沖永文化振興財団地域文化活動事業助成)、②出版『室戸市佐喜浜町俄台本集成』(1991、沖永文化振興財団地域文化活動事業助成、1993、高知女子大学学術研究助成、佐喜浜八幡宮古式行事保存会助成、1995)、③執筆「広瀬のおなばれ・高川の祭」『土佐山村立村100年記念誌・ふるさと土佐山夢産地』(1989)、④執筆「神楽と俄とー「土佐の伝統芸能」によせてー」(県民文化ホール自主文化事業「土佐の伝統芸能」公演パンフ、2009)、⑤調査・報告 各地の俄(美濃市・甲山町・博多・能登町・高森町・蘇陽町・南河内一帯・十日町など。1990-現年度)            (c) 継承者・保存会・地域住民・一般市民・行政            (d) 継承者・地域住民・一般市民            (e) 本川村・佐喜浜町・土佐山村など            (f) 佐藤恵里</p>	
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 行政及び文化機関より依頼された各種委員の業務遂行、講演など</b> (1992-現年度)            (b) ①高知県立文学館運営協議会委員(2004-現)、②高知県立歴史民俗資料館運営協議会委員(2006-現)、③高知県文化賞選定委員(2005-現)、高知文学学校本科講師(2005-現)、④講演「笑いの伝統芸一俄は今」(全国にわかフェスタ'92、美濃市主催、1992)、⑤講演「俄をめぐって」(佐渡市猿八山舎主催、2000)、⑥講演「歌舞伎の面白さー歌舞伎をどう教えるか」(国語教員勉強会「藤並国語の会」主催、2004)、⑦秋冬の市民講座「歌舞伎の魅力～より愉しむために」(全6回、高知市文化振興事業団主催、2010)、⑧講演「く結い」としての伝統芸能ー佐喜浜の俄を中心にー」((財)高知県老人クラブ連合会主催、2012)など            (c) 行政・文化機関・市民サークル            (d) 一般市民、小・中・高教員            (e) 高知市・美濃市・佐渡市            (f) 佐藤恵里</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            近世文学、演劇、芸能、歌舞伎、俄、祭り、地域社会、伝統、機能</p> <p>○相談可能な領域            (1) 地域社会の祭り・芸能についての文化資源としての位置づけ            (2) 近世の文学・演劇など古典と祭り・芸能など地域文化に関する、一般市民・地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の提供            (3) 近世の文学・演劇など古典と祭り・芸能など地域文化に関して、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭を対象とした研修機会の提供</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 近世の文学、とくに歌舞伎の表現手法についての研究(*            (2) 祭りの芸能、とくに俄の特質について、日本各地の現況比較と歴史的資料による研究(*</p>

**鈴木 哲也**

SUZUKI, Tetsuya

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 若年者のキャリア教育</b> (2012年度)            (b) 地域中小企業の人材確保・定着支援事業            (c) 高知県中小企業団体中央会            (d) 県内4年制大学生            (e) 高知県            (f) キャリア支援部会</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 県内英語教員対象の各種研修事業</b> (2012年度)            (b) 教員免許更新講習、文化学部リカレント講座            (c) 文部科学省、高知県教育委員会            (d) 県内小中高の英語教員            (e) 高知県            (f) 企画広報委員会</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) キャリア教育とインターンシップ</b>            (b) 県内大学生の進路支援の一環として、高知県内の中小企業の見学会実施や採用情報の提供を行い、地元就職者の増加・定着を図る。            (c) 高知県中小企業団体中央会            (d) 県内4年制大学生</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 県内英語教員対象の各種研修事業</b>            (b) 県内英語教員を対象にした教員免許更新講習、リカレント講座の講師を務める。            (c) 文部科学省、高知県教育委員会            (d) 県内小中高の英語教員            (e) 高知県</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            キャリア教育、インターンシップ、中世イギリス文学</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 若年者のキャリア教育            (2) 中世イギリス文学</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 若年者のキャリア教育            (2) 中世イギリス文学</p>

**橋尾 直和**

HASHIO, Naokazu

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a)「四万十かいどう」風土調査</b>(2006-10年度)  功労賞・貢献賞受賞(四万十・流域圏学会)  (b) 四万十川流域の民俗・言語調査と地域活性化  (c) 「四万十かいどう」推進協議会・中村河川国道事務所・中村商工会議所・四万十・活性化小委員会(四万十・流域圏学会)  (d) 四万十川流域圏の地域住民活動対象  (e) 四万十川流域圏の「四万十かいどう」  (f) 橋尾直和</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 焼畑で山おこし</b>(2004-現年度)  第6回むらの伝統文化賞(財)都市農山漁村交流活性化機構理事長賞受賞「土佐の焼畑習俗」  (b) 焼畑が有する自然的・文化的価値を再評価し、山村振興に生かす  (c) 焼畑による山おこしの会・池川の清流と緑を守る会・愛媛大学焼畑の会・NPO土佐の森・救援隊  (d) 仁淀川町中山間の地域住民  (e) 仁淀川流域の中山間地域  (f) 橋尾直和</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域文化継承プロジェクト協議会による活動</b>  (b) 地域文化資源の収集・活用および保全・継承  (c) こうちミュージアムネットワーク・地域文化継承プロジェクト研究会・NPO地域文化資源ネットワーク・県内の博物館など  (d) 地域文化のデジタルアーカイブ</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域言語文化のこぼ監修</b>  (b) ドラマや土佐弁キャラクターなどの土佐ことば監修を行う  (c) テレビ局(民放・NHK)・企業(海洋堂ホビー館・かつば館)・県内の博物館など  (d) 土佐ことば監修</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 三原村民具調査</b>(2009-11年度)  (b) 古民具の調査・データ整理・保存から展示まで共同で作業を進める  (c) 三原村・高知県立歴史民俗資料館と連携事業の協定を締結。三原村教育委員会と協力  (e) 三原村公民館、三原村の地域住民宅  (f) 橋尾直和</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) リカレント(国語)講座</b>(2005-現年度)  (b) 国語教育に求められているコミュニケーション能力を高めるため、日本語学の専門知識を活用し、日本語力の向上をめざした理論を理解し、実践的能力を養う  (c) 高知県教育センター  (d) 高知県内の現職の国語科教員、教職志望の学生  (e) 高知県立大学  (f) 橋尾直和</p>	<p><b>○キーワード</b>  土佐ことば、琉球語・アイヌ語・ヤマト語、日本語の形成、焼畑と流域圏の暮らし、日系人のことば、新しい日本語、民具の方言呼称</p> <p><b>○相談可能な領域</b>  (1) 土佐ことばの語源論  (2) 琉球語・アイヌ語・ヤマト語の比較言語学  (3) 日本語の形成(ルーツ論からルート論へ)  (4) 焼畑などの日本文化論  (5) 新しい日本語の社会言語学的アプローチ  (6) 地域文化のデジタルアーカイブ  (7) 「龍馬・土佐弁かるた」で脳トレ</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>  (1) 流域圏の文化環境言語学的研究を応用した地域づくりとコミュニケーションの活性化(*)  (2) 「民具の方言呼称」の調査(*)  (3) 流域圏の「風土・文化資源」のデジタル化とその地域への還元(*)  (4) 東アジアにおける「琉球・アイヌ・ヤマト」の文化と言語の比較(*)  (5) 高知県における地域文化資源の保全・継承および地域活性化(*)</p>

**東原 伸明**

HIGASHIHARA, Nobuaki

文化学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 1. 源氏物語講読の会</b> (2003-現年度)、<b>2. 井草源氏の会</b> (1991-97年度)、<b>3. 若紫の会</b> (1992-97年度)            (b) 東原主催の源氏物語講読の会、大学レベルの講義内容を平易に講義、地域住民と語り合う機会を設定            (d) 地域住民            (e) ①「1.」は高知市の県立大学永国寺キャンパスにおいてウイークディに年間10回(7月、2～3月)開催、②「2.」は東京都杉並区井草社会教育会館を会場に月2回開催、③「3.」は東京都中野区の公共施設を会場に月2回開催            (f) 東原伸明</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 県民解放授業</b> (2003-現年度)            (b) 東原の場合、「演習」以外の学部専門科目(講義も)をすべて解放し、地域住民が学生に交じって授業を聴講            (c) 学生            (d) 地域住民            (e) 高知市の県立大学永国寺キャンパス            (f) 東原伸明</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) まちかど文化談義</b> (2008-11年度)            (b) 東原の場合、ランチの時間帯に、『土左日記』や『源氏物語』等の古典文学を気楽に啓蒙的に講義、地域住民と語り合う機会を設定            (c) なし            (d) 地域住民            (e) 高知市「帯や勘助」前期・後期ほぼ年2回開催            ①「土佐鶴は無かったー『土左日記』の虚構性」(2008前期)、②「『土左日記』「女もしてみむとてするなりの女」の意味」(2008後期)、③「「賢木」巻の語りと描写ー六条御息所と光源氏ー」(2009前期)、④「『源氏物語』続篇の主題ー浮舟登場の意味ー」(2009後期)、⑤「『源氏物語』「桐壺」巻頭は、誰の〈語り〉かー源氏物語の現代「誤」訳ー」(2010前期)、⑥「源氏物語の〈語り〉と〈言説〉ー読むための理論としてー」(2010後期)、⑦「〈童〉の性は男か女かー『土左日記』文章の特性検証」(2011)            (f) 東原伸明</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 古典文学の講義・講演・出前授業</b>            (b) 『源氏物語』等の古典文学の啓蒙            (c) 学校・文学館・博物館等の公共文化施設            (d) 生徒・学生・地域住民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) リカレント教育・生涯教育</b>            (b) 『源氏物語』等の古典文学の専門教育            (c) 県教育センター、高等学校ほか公共教育施設            (d) 中学校・高等学校教員</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            源氏物語、土左日記、古典文学、リカレント、生涯教育、古典の啓蒙、近代批判</p> <p>○相談可能な領域            (1) 古典文学を旨とする公共文化施設の企画(展)構想のアドバイス            (2) 生涯教育・市民講座等の企画・プログラム作成のアドバイス            (3) 教員の研修、出前授業等の企画・構想のアドバイス</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 古典文学の啓蒙と実践(*)            (2) 生涯教育の実践(*)</p>

**金澤 俊吾**

KANAZAWA, Shungo

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 英語免許状更新講習</b> (2011-現年度)            (b) 文法研究から得られる知見が、実際の英文法の指導にどのように応用できるか、可能性を探る。            (c) 小学校外国語担当の教諭、中学校・高等学校の英語教諭            (d) 小学校外国語担当の教諭、中学校・高等学校の英語教諭            (e) 高知市            (f) 金澤俊吾</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 中学校・高等学校等での出前講義</b> (2002-04/06/09/11年度)            (b) [高等学校] : ①岩手県立宮古高等学校出前講義「ことばを科学する」(2002)、②「洋楽の楽しみ方」(2003)、③「洋楽の楽しみ方」(2004)、④「英語で学ぶ、英語を学ぶ」(2009)、⑤岩手県立岩泉高等学校春期講習講師(2004)、⑥岩手県立宮古高等学校川井校「イメージで学ぶ英文法」(2009)、⑦高知県立高知追手前高等学校「イメージで捉える英文法—英語をよりよく理解するために—」(2011)、[中学校] : ⑧岩手県久慈市立長内中学校「英語って楽しい—英語の歌を味わってみましょう—」(2004)、⑨岩手県宮古市立河南中学校「ポップスを通じて学ぶ英語の世界」(2006)、⑩岩手県宮古市立重茂中学校「ポップスを通じて学ぶ英語の世界」(2006)            (c) 中学校・高等学校            (d) 中学生・高校生            (e) 高知市・岩手県宮古市・岩泉町・久慈市            (f) 金澤俊吾</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 公開講座</b> (2002-現年度)            (b) ①高等生のための文化学入門(2010-現)、②生涯学習講座(2002-09)            (c) 高校生、地域住民            (d) 高校生、地域住民            (e) 高知市、岩手県宮古市            (f) 金澤 俊吾</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 中学校・高等学校向けの出前講義・公開講座</b>            (b) 具体的なアクティビティを通じて、四技能を支えるための英文法と、その重要性を学ぶ            (c) 中学校・高等学校等            (d) 中学生・高校生等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 分かり易い英語の授業実践</b>            (b) 文法用語の使用を最小限に抑えた文法指導、語彙指導、コーパス、インターネットの活用            (c) 中学校・高等学校・自治体等            (d) 中学校・高等学校の英語教員等</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
	<p><b>○キーワード</b>            英文法、英語学、英語教育、語学教育</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 文法研究から得られる知見が、四技能を支えるための英文法の指導にどのように応用できるか            (2) 英語の授業における指導の工夫、教材開発の可能性について</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 英語の構文、コロケーションに関する意味研究 (*            (2) コーパスの活用 (*            (3) 分かり易い英語授業の実践 (*</p>

# 鈴木 康郎 SUZUKI, Koro

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 文部科学省エル・ネット「オープンカレッジ」での生涯学習支援活動</b> (2004年度)            (b) 文部科学省エル・ネット「オープンカレッジ」の通信講座「東南アジアの幼稚園・保育園－国際化時代に生きる子どもたち－」において担当講師として、国際化時代に生きるタイの幼稚園・保育園の状況について講義            (c) 文部科学省・山梨県立女子短期大学            (d) 高校生・大学生・一般市民            (e) 全国の大学・教育センター・公立図書館など            (f) 鈴木康郎</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 国際交流基金「アジア理解講座(2005年度第2期)」での生涯学習支援活動</b> (2005年度)            (b) 財団法人国際交流基金が学術交流と異文化理解を目的に社会人向けに開講している「アジア理解講座(2005年度第2期)」において、担当講師として「グローバル化を旨とするタイの教育改革の理念と現実」というテーマで講義            (c) 国際交流基金・筑波大学            (d) 中学校教員・高等学校教員・一般市民            (e) 日本教育会館            (f) 鈴木康郎</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本語教育学会日本語教師研修コースでの教育支援活動</b> (2006年度)            (b) 社団法人日本語教育学会が日本語教師研修コースとして開講している「海外日本語教育研究コース」において、海外で日本語教育に携わる社会人を対象に、タイの教育事情と日本語教育の状況について講義            (c) 社団法人日本語教育学会・国際交流基金日本語国際センター            (d) 日本人学校教員・日本語教師・海外駐在員・一般市民            (e) 言語文化研究所附属東京日本語学校            (f) 鈴木康郎</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知における市民性教育に関する研究、普及活動</b>            (b) 市民科（品川区）やよのなか科など地域の独自性を生かした学校教育のあり方の研究やその普及活動など            (c) 教育委員会・小学校・中学校など            (d) 児童生徒、地域のボランティア市民など</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知における国際理解教育に関する研究、普及活動</b>            (b) 国際理解教育の推進に関する研究やその支援体制の構築など            (c) 教育委員会・小学校・中学校など            (d) 児童生徒、地域の国際交流団体など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            国際理解教育、市民性教育、東南アジアの教育、タイの教育、外国人児童生徒の教育</p> <p>○相談可能な領域            (1) 学校教育における市民性教育、国際理解教育、外国人児童生徒の教育などに関する授業方法・教材開発や授業向上について            (2) 小学校・中学校・高等学校と大学間との、協働型の学習プログラムの開発、コーディネートなど            (3) 高知における国際文化交流の歴史を踏まえた学習プログラムの開発、コーディネートなど</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 市民性教育に関する教育プログラム・教材開発およびその教育効果・有効性検証(*)            (2) アジアとりわけ東南アジアの学校との国際文化交流プログラムのコーディネート(*)            (3) 国際理解教育に関する教育プログラム・教材開発およびその教育効果・有効性検証(*)</p>

**高西 成介**

TAKANISHI, Seisuke

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 文化学部リカレント講座</b> (2012～現年度)            (b) ①「比べてみよう、日本と中国」(2012)、②「日中交流と漢文学」(2010)など。            (c) 高知県教育センター            (d) 高校教員            (e) 高知県立大学文化学部            (f) 学部リカレント委員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高校生のための文化学講座</b> (2012～現年度)            (b) 「漢文を読んでみよう」(2012)、「おもしろい漢語と日本語の世界」(2010)など。            (c) 県内高校            (d) 高校生            (e) 高知県立大学文化学部            (f) 学部リカレント委員</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 一般市民対象講義</b> (2009/11-12年度)            (b) ①「中国歴史紀行一海のシルクロードと長江中流域を訪ねて一寧波・福州・泉州・厦門・九江・長沙」(2012)、②「陶淵明を読む」(2011)、③「中国文学研究」と高知の文人たち」(2009)など。            (c) 高知県立大学・文化施設・民間企業            (d) 一般市民            (e) 高知県立大学・中日文化センター(名古屋)・高知県立文学館など。            (f) 高西成介</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 漢文・中国古典文学に関する講義・講演</b>            (b) 漢詩や漢文・中国文化に関する紹介・講義・講演等。            (c) 教育関係者・一般市民            (d) 教員・学生・生徒・一般市民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 国語教育、とりわけ漢字漢文教育に関する研究・活動</b>            (b) 国語教育に関する共同研究・授業援助等            (c) 教育関係者            (d) 学生・生徒</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            中国古典文学、漢文学、国語教育、文言小説、志怪・伝奇、説話文学、日中比較文学・文化</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 中国古典文学・漢文学に関する領域            (2) 国語教育、とりわけ漢字漢文教育に関する領域            (3) 日本と中国の文化交流に関する領域</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 中国中世～近世(六朝～唐宋)にかけての文言小説研究。            (2) 日中の文学交流の諸相。            (3) 中国文言小説の日本における受容研究。</p>

# 三浦 要一 MIURA, Yoichi

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 竹林寺客殿の調査研究</b> (2010-12年度)            (b) 高知県保護有形文化財から国の重要文化財指定をめざす調査研究を実施した。            (c) 国立文化財機構奈良文化財研究所            (d) 文化財保護に関わる人たち            (e) 五台山竹林寺            (f) 三浦要一</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 植木枝盛旧邸書斎の移築と復原</b> (2010-11年度)            (b) 植木枝盛旧邸の書斎を現地から移築し、高知市立自由民権記念館の展示室に復原・展示した。            (c) 高知市            (d) 文化財保護に関わる人たち            (e) 高知市桜馬場・高知市立自由民権記念館            (f) 三浦要一</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 歴史的町並みの修復</b>            (b) 伝統的建造物群保存地区などの建築物・工作物の保存修理事業            (c) 県・市町村の教育委員会            (d) 文化財保護に関わる人たち</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 文化財建造物の耐震対策検討</b>            (b) 国・県指定などの文化財建造物の耐震対策の推進            (c) 県・市町村の教育委員会            (d) 文化財保護に関わる人たち</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 安田町の文化財建造物の調査研究</b> (2008年度)            (b) 旧市川医院と旧柏原家住宅の国の登録有形文化財建造物をめざす調査研究を実施した。修理後は、2012年2月に登録有形文化財として官報告示された。            (c) 安田町            (d) 文化財保護に関わる人たち            (e) 安田町安田            (f) 三浦要一</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 佐川町の文化財建造物の調査研究</b> (2010年度)            (b) 歴史まちづくり法による歴史的風致形成建造物「旧浜口家住宅」の保存と再生の計画を立案した。            (c) 佐川町            (d) 文化財保護に関わる人たち            (e) 佐川町上町            (f) 三浦要一</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            文化財保護、歴史まちづくり、歴史系博物館</p> <p>○相談可能な領域            (1) 文化財建造物の保存と活用            (2) 歴史を活かした住まいづくり・まちづくり            (3) 文化施設の展示計画の企画</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 四国における戦前期の古社寺建造物の修理に関する研究(科学研究費補助金・基盤研究(C), 2009-11年度) (*)            (2) 明治前期の徴発物件資料にみる民家の基礎的研究(科学研究費補助金・基盤研究(C), 2012-14年度) (*)            (3) 史跡高松城跡における建造物の保護と復元にに関する調査研究(2005年2月-2015年2月) (*)            (4) 日本建築様式史の再構築 連続シンポジウム「歴史的町並みの近代化と建築史研究」(2010-11年度)            (5) 「四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来」(四万十町)の追加選定の調査研究(2010年度)            (6) 「志和・興津の漁村景観」(四万十町)の重要文化的景観保護推進事業(2010年度)            (7) 高松の大工・久保田家文書の研究(2007-08年度)            (8) 景観保全における伝統的環境維持システムの再編に関する研究(2006-07年度)</p>



# 山口 善成 YAMAGUCHI, Yoshinari

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) アメリカ文学科目を主とした県民開放授業</b> (2003-現年度)            (b) 担当する文化学部専門科目のうち、アメリカ文学に関する科目を一般県民に開放して授業を行う            (c) 大学教員            (d) 一般県民            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 文化学部専任教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 一般県民のための特別講座</b> (2011年度)            (b) 文字・書の歴史に関する連続講座 (計4回)            (c) 大学教員            (d) 一般県民            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 山口善成</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 高校生のための出前講座</b> (2008-10年度)            (b) 主に英語に関する高校生のための特別講座            (c) 高等学校            (d) 高校生            (e) 各高等学校            (f) 山口善成</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 一般県民のための出前講座</b> (2007-10年度)            (b) 主に文学に関する一般県民のための出前講座            (c) 大学教員            (d) 一般県民            (e) 高知市内各地            (f) 山口善成</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) リカレント講座</b> (2008-09年度)            (b) 小学校における英語教育に関する講座            (c) 大学教員・小学校英語担当教諭            (d) 小学校英語担当教諭            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 山口善成・青木晴男</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 文学を通じた異文化理解</b>            (b) 海外文学の読解を通じた異文化理解の実践と方法論の普及            (c) 図書館・教育機関            (d) 一般市民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 文学テキストを用いた英語教育</b>            (b) 文学テキスト (特に韻文) を用いた英語教育の実践と教育方法の普及            (c) 中学校・高等学校等教育機関            (d) 中学校・高等学校の生徒および英語教諭等</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            歴史記述、自然誌/史、土地と記憶、アメリカの民主主義、アメリカの個人主義、子育てと精神科医療、Republic of Letters、注釈文学</p> <p>○相談可能な領域            (1) 「歴史」というジャンルの性質と歴史について            (2) 知の形成における文字・書の役割について            (3) 啓蒙期の知識人と書のネットワークについて            (4) 文学テキストを用いた英語教育</p> <p>○これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)            (1) 18世紀末～19世紀のアメリカにおける歴史記述の方法論            (2) 啓蒙期の科学と文学の関係について            (3) 注釈と文学 (および文学研究)</p>

# 吉川 孝 TAKASHI, Yoshikawa

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) まちかど文化談義</b>(2007-08年度)            (b) 公開講座            (c) 高知市商店街振興会連合会            (d) 県民            (e) 高知市内の飲食店            (f) 吉川孝</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 進路ガイダンス</b>(2007-12年度)            (b) 高校生の進路支援            (c) 南高校・西高校・宿毛高校            (d) 高校生            (e) 高知県内の高等学校            (f) 吉川孝</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) オフシアター選考会</b>(2011年度)            (b) オフシアターベストテンの選考            (c) 朝日新聞高知総局            (d) 一般県民            (e) 朝日新聞高知総局            (f) 吉川孝</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 市民講座</b>(2012年度)            (b) 公開講座            (c) 高知市文化振興事業団            (d) 高知市民            (e) かるぼーと            (f) 吉川孝</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) こうち男女共同参画社会づくり財団運営委員会委員</b>(2012年度)            (b) 委員会への参加            (c) こうち男女共同参画社会づくり財団            (d) 高知県民・高知市民            (e) こうち男女共同参画参画センター「ソーレ」            (f) 吉川孝</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 哲学・倫理学の講座</b>            (b) 講座            (c) 文化を重んじる施設・教育団体            (d) 一般</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 共同研究</b>            (b) 共同研究            (c) 哲学・倫理学の観点を必要とする研究団体            (d) 研究に従事する者</p> <p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>著書</b>(哲学・倫理学・現代思想)            (a) 『生きることに責任はあるのかー現象学的倫理学の試み』(共著、弘前大学出版会、2012年)            (b) 『フッサールの倫理学 生き方の探究』(単著、知泉書館、2011年)            (c) 『ヨーロッパ現代思想への招待』(共著、梓出版社、2009年)            (d) 「生き方について哲学はどのように語るのかー現象学的還元の「動機問題」を再訪する」、『現代思想 総特集フッサール 現象学の深化と拡張』(青土社、2009年)所収。</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 哲学            (2) 倫理学            (3) 現代思想            (4) 映画</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            (1) 生き方の哲学(*)            (2) 責任の倫理学(*)            (3) 映像の哲学(*)            (4) ケアの人間関係(*)            (5) 感情の合理性(*)            (6) 共感による社会形成(*)            (7) 行為論(*)            (8) 知覚の哲学</p>

# ヨース・ジョエル JOOS, Joël

文化学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 読書会</b> (2011-現年度)            (b) 英語の文献を介して、日本の近現代史について学ぶ。主な目的は、外国の視点に直接に触れ、日本及び土佐の歴史の新たな位置づけを試みる。月1回。            (c) 英語の読解力・表現力が一定のレベルに達している人(翻訳本併用)            (d) 県民一般            (e) 永国寺キャンパス            (f) ヨース・ジョエル</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 日本学レクチャーシリーズ</b> (2009-現年度)            (b) 外国で活躍している日本人、または日本で活躍している外国人が、みずからの経験と知識を語り、日本/外国の垣根を越えて、国際的な立ち位置から日本文化の一側面について話す公開講座の開催(1年に5回ほど)            (c) 県内外もしくは国外の有識者            (d) 学生・県民一般            (e) 永国寺キャンパス            (f) ヨース・ジョエル、ウォーラー・ローレン</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 土佐の歴史や社会と世界(史)とをむすびつける読書会</b>            (b) 外国の視点を取り入れながら、日本語で、日本の歴史や社会などを扱った内容の著書を解説していく。            (c) 学生・社会人            (d) 社会に出ても、世界の視点について学びたい県民一般</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 日本の伝統文化を再発見する活動</b>            (b) 大学という「舞台」を提供して、市内で伝統芸能を受け継ぎその経験と知識の伝授に携わっている先生たちをまねく。わかりやすく基本的な知識を伝え、実演を通じて、その芸などの普及を図る。            (c) 市内のお茶・舞踊・詩吟などの先生            (d) 学生・県民一般</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            地域の歴史、世界の歴史、日本文化、日本の思想、土佐の歴史と文化、文化財、外国の視点</p> <p>○相談可能な領域            (1) 文化や思想をはじめ、土佐と世界とをむすぶ視点について学びたい人や団体との協力            (2) 日本の伝統的な文化についての知識を共有して、若い世代に伝えていきたい人や団体との協力</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 日本の思想史、特に明治大正時代における自由主義の発展(*            (2) 日本文化論、特に外国から見た日本、その普遍性・特徴をいかす可能性を探る(*</p>

# 飯高 伸五 IITAKA, Shingo

文化学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 海外での現地調査を通じた国際貢献</b> (2002-現年度)            (b) ミクロネシア地域のパラオ共和国にて日本統治期の社会変動、日本人移民、太平洋戦争の記憶に関する現地調査を実施。現地研究機関への調査資料の提供            (c) パラオ国立博物館(Belau National Museum)            (d) 現地研究者・現地自治体職員・一般市民            (e) パラオ共和国            (f) 飯高伸五</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県におけるフィールドワークを通じた課題解決型授業実践</b> (2012-現年度)            (b) 高知県立大学文化学部専門科目フィールドワークの一環として受講生を高知県安芸郡北川村に引率し、観光資源に関する調査および研究発表を指導。学生の調査研究成果を現地社会に還元。            (c) 北川村役場・北川村観光協会            (d) 大学生・自治体職員・観光協会職員・地域住民            (e) 高知県安芸郡北川村役場および村内の主要観光施設・産業施設            (f) 飯高伸五</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) セミナー等での講演</b> (2009-現年度)            (b) オセアニア研究および移民研究に関する講演を実施：①第11回琉球大学移民研究センター・ブラウンバックセミナー「沖縄出身移住者の周辺性と創造性－南洋群島と鶴見・川崎の事例から」(2008年6月27日)、②笹川平和財団・ミクロネシア連邦医療研修「ミクロネシアの社会調査にむけて－文化人類学的観点からのガイダンス」(2011年3月5日)、③日本移民学会ワークショップ・高知県から日本の移民を考える「ミクロネシア(旧南洋諸島)に渡った土佐の人びと－チューク諸島のモリ・ファミリー」(2011年9月19日)            (c) 琉球大学移民研究センター・笹川平和財団・日本移民学会            (d) 研究者・国際協力実務者・一般市民            (e) 琉球大学・東京女子医科大学・佐川町立桜座            (f) 飯高伸五</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 観光まちづくり</b>            (b) 地域社会の文化資源の活用を通じた観光まちづくりの可能性の検討            (c) 自治体            (d) 大学生・自治体職員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 多文化共生まちづくり</b>            (b) 文化人類学や移民研究の視座を活用して、国内の外国人との共生にむけた取り組みを検討            (c) 自治体・NGO・NPO            (d) 自治体職員・NGOやNPO職員</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            文化人類学、オセアニア研究、フィールドワーク、ミクロネシア、パラオ、沖縄、植民地主義、戦争の記憶、慰霊団、移民、同郷者集団、観光と文化復興</p> <p>○相談可能な領域            (1) 文化資源の活用を通じた観光まちづくり、観光を通じた文化復興について            (2) フィールドワークを通じた課題解決型授業実践による地域社会への貢献について            (3) オセアニア島嶼国家とりわけミクロネシア諸国の基礎情報、現在の情勢について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) アジア・太平洋戦争の記憶の動態に関する文化人類学的研究            (2) 旧南洋群島(とりわけパラオ)における日本統治経験の歴史人類学的研究            (3) 沖縄出身の移民・移住者がつくる同郷者集団の比較研究            (4) アジア・太平洋地域における観光と文化復興に関する研究</p>

# 向井 真樹子 MUKAI, Makiko

文化学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a)「人間と他の動物の違いー言葉の面からー(1)(2)」</b>(2010-11年度)、「<b>日本語はあいまいな言語なの?</b>」(2012年)            (b) 本学文化学部と高知県教育センターとの連携で、双方の学習・研修の効果を高めることを目的とする。具体的には、文化学部にとっては、教職科目受講生がセンター主催の各種研修講座に参加することで、教科内容を学習するとともに教職に対する認識を高めることを目的とする。また、センターにとっては、文化学部の教員等が講師を勤める国語・英語の講座の共催によって、現職教員のための研修の機会をより豊かなものにするを目的とする。            (c) 高知県教育センター            (d) 小・中・高・特別支援学校教諭            (e) 永国寺キャンパス            (f) 向井真樹子・芋生裕信・青木晴男</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a)「ことばの曖昧性」</b>(2011年度)            (b) 特定非営利活動法人「やまもも」は、要約筆者になるための勉強会を実施している。講師を毎月招き、講演を聞くことで、要約筆者になるための学習を支援。            (c) 特定非営利活動法人「やまもも」勉強会招待講演            (d) 「やまもも」勉強会参加者            (e) 高知市障害福祉センター</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 英語文学読書会</b>(2009-12年度)            (b) 大学教員・県民・市民からなる約10人のメンバーで、英語で執筆された小説を輪読。毎回、割当てられた2～3人のレジュメに基づく発表と全員での質疑応答・討論            (d) 大学教員・県民・市民            (e) 永国寺キャンパス            (f) 向井真樹子・青木晴男</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a)「日本語と英語のなりたち」</b>            (b) 本学文化学部と高知県教育センターとの連携で、双方の学習・研修の効果を高めることを目的とする。具体的には、文化学部にとっては、教職科目受講生がセンター主催の各種研修講座に参加することで、教科内容を学習するとともに教職に対する認識を高めることを目的とする。また、センターにとっては、文化学部の教員等が講師を勤める国語・英語の講座の共催によって、現職教員のための研修の機会をより豊かなものにするを目的とする。            (c) 高知県教育センター            (d) 小・中・高・特別支援学校教諭</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            複合語、生成文法、再帰性、日本語教育、英語教育</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) ことばの特徴            (2) 外国語教育            (3) 国際交流</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            (1) 日本語・英語・北欧諸言語の特徴・翻訳方法            (2) 日本語・英語の外国語教育            (3) 日本語・英語・北欧諸言語の複合語の特徴            (4) 日本語・ゲルマン語派・ロマンス語派・他のヨーロッパ諸語の複合語(*)</p>

**ウォーラー・ローレン**

WALLER, Loren

文化学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県立大学県民開放授業</b> (2011年度)            (b) 日本学 Perspectives on Classical Japanese Literature            (c) 高知県立大学文化学部            (d) 主に英語に教務にある高知県民            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 文化学部(企画広報委員会)</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教科等研修 (共催講座)</b> (2011年度)            (b) 日本と西洋の昔話ーその時代的变化を考えるー            (c) 高知県教育センター            (d) 国公私立小学校・中学校・高等学校および特別支援学校の英語または国語担当教員            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 文化学部(生涯学習部会)</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本学レクチャーシリーズ企画</b> (2012-現年度)            (b) 世界から見た日本文化            (c) 高知県立大学文化学部日本学プログラム            (d) 高知県民            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 文化学部(日本学プログラム)：ヨース・ジョエル、ウォーラー・ローレン</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 国語科免許更新講習</b> (2011-現年度)            (b) 古典理解のための基礎基本            (c) 文化学部・教職課程専門委員会            (d) 中学校・高等学校の国語教員            (e) 高知県立大学永国寺キャンパス            (f) 文化学部・教職課程専門委員会</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本古典文学の講座</b>            (b) 万葉集・古事記などの上代文学            (c) 文化活動の団体            (d) 一般県民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 英語による日本文学・比較文学の講座</b>            (b) 日本文学            (c) 文化・語学活動の団体            (d) 一般県民</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            上代日本文学、万葉集、古事記、日本書紀、風土記、和歌、話型、神話、説話、物語、上代文学の受容史、国学</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 上代日本文学            (2) 世界文学としての日本文学</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 『古事記』『日本書紀』『万葉集』などの上代文学とその受容史            (2) 日本神話と王権 (*)</p>

**畦地 博子**

AZECHI, Hiroko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 専門職対象のスキルアップ教育</b> (2009-現年度)            (b) 研修会・ケース検討会などの活動を通して、臨床で働かれている方のスキルアップを支援する。            (c) 精神科病棟を持つ病院            (d) 精神科に勤務されている医療専門職者            (e) 高知県内の病院および高知県立大学            (f) 精神看護領域教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 学会の運営</b> (2009-現年度)            (b) 学会理事などとして学会の運営を行う。            (c) 日本看護科学学会・日本精神保健看護学会・高知県立大学看護学会など</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 養護教諭免許状更新講習</b> (2009-現年度)            (b) 養護教諭免許更新のための講習会を実施する。            (c) 文部科学省            (d) 養護教諭            (e) 高知県立大学            (f) 大学事務担当者・看護学部教員</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) メンタルヘルス関連研修会</b>            (b) 一般の方を対象にメンタルヘルス関連研修会を実施する。            (c) 高知県立大学・日本精神科看護技術協会            (d) 一般の方</p>
<p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知県看護教員継続研修事業</b> (2011年度)            (b) 看護教員を対象とした継続教育を行う。            (c) 高知県看護協会            (d) 高知県の看護教員            (e) 高知県立大学他            (f) 看護学部教員</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 企業メンタルヘルス支援事業</b> (2009-10年度)            (b) 企業におけるメンタルヘルス支援システムの整備を支援する。            (c) 中央労働災害防止協会            (d) 企業のメンタルヘルス支援担当者            (e) 事業所            (f) 畦地博子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            精神科看護、精神看護、技術、教育</p> <p>○相談可能な領域            (1) 精神科看護            (2) メンタルヘルス</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 精神科看護師の説明の技術            (2) 精神科看護におけるアカウンタビリティ向上のための教育プログラムの作成</p>

**池添 志乃**

IKEZOE, Shino

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 中・四国学校保健学会</b>(2010年度)、<b>全国養護教諭研究大会</b>(2010-11年度)、<b>日本学校保健学会</b>(2011年度)            (b) ①「子どもと家族の生きる力を支える学校保健」(2010)、②養護教諭の支援や連携のあり方、保健室経営について(2010-11)、③学校保健の課題と展望について(2011)            (c) 日本学校保健学会・教育委員会・日本学校保健会・学校保健協会・全国養護教諭連絡協議会・養護教諭協会            (d) 小・中・高等学校・特別支援学校養護教諭、大学教員等            (e) 高知県(2010)・徳島県(2010)・佐賀県(2011)・愛知県(2011)            (f) 池添志乃</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 家族看護学セミナー</b>(2004/08/09年度)、<b>看護教員現任研修会</b>(2005年度)、<b>看護理論研修会</b>(2011年度)            (b) ①在宅看護ケアの介入方法―家族看護に焦点を当てて(2005)、②養護教諭が行う家族支援について(2008)、家族看護学の基礎知識(2009)、③オレム看護理論について(2011)            (c) 教育委員会・日本家族看護学会・広島大学・病院            (d) 養護教諭・看護師            (e) 高知県(2004)・愛媛県(2005)・広島県(2008)・徳島県(2009)・高知市(2011)            (f) 池添志乃</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県看護協会保健師・助産師・看護師等実習指導者講習会</b>(2005-12年度)、<b>エキスパート研修</b>(2010-12年度)            (b) ①看護研究(2005-12)、②質的データ分析(2010-12)            (c) 高知県看護協会            (d) 看護師            (e) 高知県・高知市            (f) 池添志乃</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 看護連携型ユニフィケーション事業</b>(2010年度)、<b>ケア検討会</b>(2003-11年度)            (b) ①家族看護について(2003-10)、②子どもと家族の支援について(2011)            (c) 高知医療センター看護部            (d) 看護師・保健師・その他医療職者・養護教諭・保育士等            (e) 高知市            (f) 池添志乃・家族看護学領域教員・小児看護学領域教員</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 子どもと家族の生きる力を支える養護教諭の支援について、養護教諭の職務について、生活の再構築に取り組む家族への支援について</b>            (b) 子どもと家族が”その人らしく”生きることを支える支援について、病気をもつ家族への支援について            (c) 学校関係機関・医療関係機関等            (d) 養護教諭等学校関係者・看護師等医療職者等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 質的看護研究</b>            (b) 質的研究について            (c) 学校関係機関・医療関係機関等            (d) 養護教諭等学校関係者・看護師等医療職者等</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p><b>○キーワード</b>            子ども、家族、学校、養護教諭、家族看護、生活の再構築、介護キャリア、協働、連携、慢性疾患、発達障害</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 学校保健活動のなかでのご家族を含めた児童生徒等への支援            (2) 慢性疾患など病気をもつ子どもたちや医療的ケアが必要な子どもたちとご家族、発達障害の子どもとご家族の方への養護教諭としての支援のあり方            (3) 在宅で療養者とともに生活するご家族の理解と支援</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) 発達障害の子どもと家族を支える養護教諭の協働支援プログラムの開発(*)            (2) 対人関係形成が困難な子どもと家族の生きる力を支える養護教諭のケアガイドラインの開発(*)            (3) 家族の生活の再構築(*)            (4) 生活の再構築に取り組む家族の介護キャリア(*)            (5) 生活の再構築に取り組む家族の知恵(*)</p>



# 池田 光徳 IKEDA, Mitsunori

看護学部/健康長寿センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 天然資源(枇杷種子由来エキス・室戸海洋深層水)を利用した健康飲料品の開発</b> (2006-08年度)            (b) 痒痒性皮膚疾患に対する枇杷種子由来エキス及び海洋深層水含有清涼飲料水の効果に関する検討。            (c) 独立行政法人科学技術振興機構・株式会社小谷穀粉・株式会社OSK室戸マリンフーズ            (d) 枇杷種子由来エキス及び海洋深層水含有清涼飲料水を経口投与した痒痒性皮膚疾患患者に対して自覚症状・臨床所見及び副作用を調査し、同清涼飲料水の有用性を検討した。            (e) 高知大学医学部附属病院(問診及び皮膚科学的調査)            (f) 高知大学医学部附属病院薬剤部(小野川雅英薬剤師)</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) ビワ種子由来エキスを応用した外用・美容健康剤の開発</b> (2006年度)            (b) 枇杷種子由来エキスを応用した美容健康用内服液の評価。            (c) 明星産商株式会社            (d) 枇杷種子由来エキス美容健康用内服液を内服した女性ボランティア            (e) 高知大学医学部附属病院(問診及び皮膚機能検査)            (f) 高知大学医学部附属病院薬剤部(小野川雅英薬剤師)</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 保湿不織布による介護用ケアシートの開発</b> (2006年度)            (b) 保湿不織布の皮膚への水分付与性の評価、保湿不織布の皮膚バリア機能への影響の評価及び拭き取り性の評価。2006年度地域新生コンソシアム研究開発事業「保湿不織布による介護用ケアシートの開発」成果報告書(73-96、2007)及び機能紙研究会誌(55-61、2007)に報告した。            (c) 財団法人四国産業・技術振興センター、高知県立紙産業技術センター、河野製紙株式会社、三昭紙業株式会社、京都女子大学            (d) 保湿不織布による介護用ケアシートを使用した健康人ボランティア            (e) 高知大学医学部附属病院及び高知県立紙産業技術センター(皮膚機能検査)            (f) 高知大学医学部・病院事務部</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 小蓮地区健康相談</b> [2007年度]            (b) 南国市小蓮地区住民に対する皮膚の健康相談            (c) 南国市小蓮地区自治会            (d) 南国市岡豊地区住民            (e) 南国市小蓮公民館(相談対応)            (f) 高知大学医学部・病院事務部</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 健康長寿センター活動</b>            (b) 健康長寿体験型セミナーの県内開催、地域住民及び医療関係者を対象とした講演。            (c) 高知県内自治体健康部署担当者            (d) 高知県内自治体一般住民及び医療関係者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) COCへの参画</b>            (b) 学童の健康向上を目的とした皮膚科検診。            (c) 高知県内自治体健康部署担当者            (d) 高知県内の学童</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 県内企業との共同研究</b>            (b) 商品開発へのアドバイス及び開発商品が皮膚生理機能に及ぼす作用の測定。            (c) 高知県内企業            (d) 高知県内で開発された新規商品</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
	<p><b>○キーワード</b>            医学、皮膚、細胞、免疫、アレルギー、創傷、健康</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 生命科学研究            (2) 細胞培養に関する相談            (3) 細胞生物学に関する相談            (4) 皮膚生理機能の測定検査            (5) 創傷治癒研究            (6) 膠原病に関する相談            (7) 褥瘡に関する相談            (8) 創傷処置(小外科)指導            (9) 学童皮膚科検診            (10) 高齢者皮膚がん検診</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) 皮膚科学            (2) 脂質代謝異常症(リポ蛋白)            (3) 免疫学(インターロイキン-10)            (4) 細胞生物学(転写因子、NF-<math>\kappa</math>B)            (5) アレルギー学(食物アレルギー)            (6) 膠原病(上皮-間葉移行)            (7) 肉芽腫症            (8) ストレス反応物質(クロモグラニンA)            (9) ストレス反応のフィジカルアセスメント            (10) 長期臥床者の体表負荷のアセスメント</p>

# 竹崎 久美子 TAKEZAKI, Kumiko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会運営委員</b> (2008-現年度)            (b) 高知県の委託を受け、高知県看護協会が毎年開講している、看護実習を担当する臨床指導者のための研修を企画する            (c) 高知県看護協会            (d) 高知県下保健師助産師看護師で臨床実習指導を実施または担当予定の人達            (e) 高知県看護協会            (f) 竹崎久美子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 要援護高齢者の日常生活支援について</b>            (b) 要援護高齢者・認知症に関するケアのコンサルテーション、異世代間交流に関わる活動、など            (c) 病院・施設・高齢者ケア支援事業所など            (d) 看護職・介護職・ケアマネージャなど</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 災害看護に関すること</b>            (b) 南海トラフ巨大地震に対する生活面での備え、意識啓発、過去の災害に学ぶ災害看護、など            (c) 病院・療養施設、自治体、避難所になる可能性がある施設、など            (d) ケア専門職・役場職員・一般住民など</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県看護協会災害看護委員会</b> (2012-現年度)            (b) 県下の災害支援ナース育成研修や、災害発生時の看護活動について高知県看護協会を中心に行う支援活動のあり方について検討を行う。            (c) 高知県看護協会            (d) 県下保健師助産師看護師            (e) 高知県看護協会、看護協会地区支部            (f) 竹崎久美子</p>	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県災害時保健師活動ガイドライン・市町村マニュアル作成支援</b> (2011-現年度)            (b) 南海トラフ巨大地震における保健活動について、県のガイドライン作成を支援した他、市町村が具体的な活動マニュアル等を作成することを支援する。            (c) 高知県健康長寿政策課・県下市町村            (d) 県福祉保健所・市町村健康福祉部門            (e) 高知県健康長寿政策課            (f) 竹崎久美子</p>	<p>○キーワード            高齢者ケア、認知症ケア、生きがい、異世代間交流、生活ケア、災害看護、災害時の生活ニーズ、災害時の保健ニーズ、減災、受援力、災害関連死</p> <p>○相談可能な領域            (1) 高齢者ケア、認知症ケア            (2) 災害時の看護・保健活動、生活支援活動            (3) 減災・受援力を高める平時の備え            (4) 災害発生後の中・長期的生活支援活動            (5) 南海トラフ巨大地震発生後の避難生活で使える生活用品の開発(備蓄用簡易トイレ、座位生活維持のための物品開発、など)</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 高齢者の「居がい(いきがい)」支援(*)            (2) 小規模多機能施設と看護職の役割について(*)            (3) 認知症高齢者の生活支援(*)            (4) 国内自然災害発生後の住民生活への影響と保健・看護活動の実際(*)            (5) 南海トラフ巨大地震に対する備えに関すること(大学としての備え、保健活動に関する備え、地域災害支援ナースの育成研修に関すること、など)(* )</p>

# 時長 美希 TOKINAGA, Miki

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師の現任教育支援</b> (2008-現年度)            (b) 高知県の保健師人材育成に関する企画・実施・評価をおこなう。新任保健師研修講師、OJT担当者会講師、人材育成ガイドライン推進検討会への参画、高知県地域保健従事者研修運営委員として研修の企画・実施、地域保健従事者研修においてコンサルテーション及び報告会の実施等            (c) 高知県健康長寿政策課、高知県保健所、市町村、看護協会            (d) 高知県保健所保健師、市町村保健師            (e) 高知県内            (f) 地域看護学領域</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師の現任教育支援</b>            (b) 保健師研修会の講師等            (c) 市町村・都道府県研修担当者、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健師</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域保健活動の課題解決・質向上支援</b>            (b) 地域保健課題解決のためのコンサルテーション、研究的活動の支援、事業プログラムの開発支援            (c) 市町村、都道府県保健所、社会福祉協議会、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健活動従事者、地域住民</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域保健活動の質向上支援</b> (2012-現年度)            (b) 保健指導支援事業講師、福祉保健所管内保健福祉関係職員研修会講師、ブロック研修会講師等            (c) 高知県内保健所、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健活動従事者            (e) 高知県内            (f) 地域看護領域</p>	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) “高知型”地域支援ワーカーの育成</b>            (2010-現年度)            (b) 地域支援の視点・方法・技術を学ぶ研修会の企画実施評価。“高知型”地域支援ワーカー研修会の講師。プログラム検討会のメンバー            (c) 高知県社会福祉協議会            (d) 地域支援活動を行う保健・医療・福祉専門職            (e) ふくし交流プラザ            (f) 時長美希</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 市町村の保健福祉活動支援</b> (2008-現年度)            (b) 芸西村介護保険事業計画策定委員会・地域包括支援センター運営委員会への参画            (c) 芸西村            (d) 芸西村担当課、住民組織            (e) 高知県芸西村            (f) 時長美希</p>	<p>○キーワード            公衆衛生看護活動、保健師活動、地区活動、アウトリーチ、ヘルスプロモーション、地域づくり、コミュニティミーティング、グループインタビュー</p> <p>○相談可能な領域            (1) 保健師活動に関すること            (2) 地域保健活動に関すること            (3) 保健事業プログラムの開発に関すること            (4) 調査研究活動に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 脆弱性を有する個人と家族を対象とする地域支援活動(*)            (2) 地域ケアのための協働活動の形成と介入方法の検討(*)            (3) アウトリーチを基盤とした地区活動モデルの開発(*)            (4) 保健師の人材育成に関する研究(*)            (5) 早期乳児の全数訪問事業の推進とポピュレーションアプローチによる子育て支援            (6) 中山間地域高齢者のヘルスプロモーション            (7) 住民の主体的健康づくり活動とコミュニティミーティング</p>

# 長戸 和子

NAGATO, Kazuko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 家族看護ケア検討会</b> (2000-現年度)            (b) 家族看護に関する基本的な考え方や方法についての学習会、臨床看護者の家族看護実践力向上のための事例を用いた学習会            (c) 高知県下の看護職者            (d) 高知県下の看護職者、本学看護学研究科学生            (e) 本学池キャンパス            (f) 長戸和子・瓜生浩子・升田茂章・坂元綾・小松弓香理</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知医療センターとの包括的連携事業－教員によるコンサルテーション－</b> (2011-現年度)            (b) 高知医療センターの看護師に対する家族看護に関する学習会、看護実践力向上のための学習会            (c) 高知医療センター看護局            (d) 高知医療センター 8 B フロア 看護師・本学看護学研究科学生            (e) 高知医療センター 8 B フロア            (f) 長戸和子・瓜生浩子・升田茂章・坂元綾・小松弓香理</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 出張家族看護ケア検討会</b>            (b) 家族看護に関する学習会・事例検討会など            (c) 高知県下の病院や訪問看護ステーション            (d) 看護師、その他の医療従事者</p>
	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知医療センターとの包括的連携事業(継続教育)-キャリアサポート研修-</b> (2011-現年度)            (b) 看護師としてのキャリアディベロップメントを支援することを目的とした学習会(ミニレクチャー・グループワークなど)            (c) 高知医療センター看護局            (d) 高知医療センターの卒業後3年目までの看護師            (e) 本学池キャンパス            (f) 長戸和子・看護学部教員</p>	<p>○キーワード            家族看護、家族マネジメント力、家族看護エンパワーメントモデル、家族支援専門看護師の教育</p> <p>○相談可能な領域            (1) 家族看護に関する基本的な考え方や理論についての知識向上            (2) 臨床の場で出会う複雑な課題を持つ家族への看護について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 慢性疾患患者の家族の家族マネジメント力測定スケールの開発            (2) 外来通院中の糖尿病患者の家族の家族マネジメント力に関する研究            (3) 家族とのパートナーシップに関する研究            (4) 家族マネジメント力を育成する看護介入方法の開発に関する研究(*)</p>

**中野 綾美**

Nakano, Ayami

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本家族看護学会理事</b> (2012年度)            (b) 家族看護学に関する研究および研究者実践間相互の連携を促進し、会員相互の連絡、内外の関連機関との連携を図る。            (c) 看護職者・研究者            (d) 看護職者・研究者など            (e) 各地での学術集会            (f) 中野綾美</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 日本小児保健学会評議員</b> (2012年度)            (b) 小児保健の進歩・発展を図り、人類・社会の福祉に貢献する。            (c) 全国の保健医療福祉に携わる者            (d) 医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・助産師・管理栄養士・養護教諭・保育士など            (e) 各地での学術集会            (f) 中野綾美</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 健康・看護について</b>            (b) 健康長寿センターで健康・看護に関わる内容            (c) 看護学部教員や修了生            (d) 公開講座やリカレント教育</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 小児看護について看護学教育や専門職の継続教育について</b>            (b) 小児看護実践の課題や教育の課題等についての検討会            (c) 看護学部教員や修了生            (d) 看護職者や専門職者</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本看護系大学協議会専門看護師教育課程認定委員会</b> (2012年度)            (b) 看護系大学の専門看護師教育課程の基準・審査を行い、教育機関の質の向上と安定に努める (小児看護領域)。            (c) 看護系大学教員・研究者            (d) 全国の看護系大学、専門看護師を目指す看護職者            (e) 全国の看護系大学            (f) 中野綾美・野嶋佐由美・藤田佐和・森下安子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 新人看護職員研修推進事業検討会</b> (2012年度)            (b) 新人看護職員が基本的な臨床実践能力を獲得するための医療機関での体制の整備をめざす。            (c) 高知県・看護職者・有識者            (d) 看護職者・医療機関等            (e) 高知県内医療機関等            (f) 中野綾美</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            小児看護、家族看護、エンパワメント、意思決定、小児看護専門看護師、看護介入</p> <p>○相談可能な領域            (1) 病気の子どもに関する研究            (2) 病気の子どもの家族に関する研究            (3) 子どもや家族への看護介入に関する研究            (4) 子どもや家族のエンパワメントに関する研究            (5) 子どもや家族の意思決定に関する研究</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 小児専門看護師を活用した臨床-研究連携システムの構築に関する研究            (2) 家族看護エンパワメントモデルの臨床への活用に関する研究            (3) 慢性疾患とともに生きる子どもと家族の体験及び看護介入に関する研究            (4) 病気の子ども・家族の医療への参画に関する研究</p>

**藤田 佐和**

FUJITA, Sawa

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 中国四国高度がんプロ養成基盤プログラムがん高度看護実践コース幹事校</b> (2012年度)            (b) 中国・四国のチーム医療を担うがん高度実践看護師の育成やがん医療・がん看護の質向上を目指す教育活動            (c) 岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学            (d) 看護職者・研究者            (e) 連携大学・中国四国での講演会開催等            (f) 藤田佐和</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) NPO高知緩和ケア協会理事学術委員長</b> (2012年度)            (b) 緩和ケアの普及および啓発並びにそのサービスの質向上、緩和ケアの健全な発展を図る、地域の保健・医療・福祉に寄与する            (c) 高知県内の教育機関、保健医療福祉機関等            (d) がん医療に携わる保健医療福祉従事者、一般市民            (e) 高知県他            (f) 藤田佐和</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) がん看護学教育に関すること</b>            (b) 看護学教育や専門職の継続教育について            (c) 教育機関・医療機関等            (d) 看護職者・看護学教育者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) がん看護実践や研究に関すること</b>            (b) 在宅移行支援            (c) 教育機関・医療機関等            (d) 看護職者等</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県中堅看護師研修がん中期研修</b> (2012年度)            (b) がん患者に対する看護ケアの充実のため、専門基礎知識・技術の習得とアセスメント能力の向上を図るとともに、臨床実践能力の高い看護職員の育成を図る            (c) 高知県、高知大学医学部付属病院等            (d) 看護職者            (e) 高知県            (f) 藤田佐和</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 質の高いがん看護実践を検討する会</b> (2012年度)            (b) がん看護に関する情報交換や事例検討会・学習会の開催            (c) 高知県内の保健医療機関等            (d) 看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 藤田佐和</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            がん看護、緩和ケア、在宅移行支援、看護倫理、看護学教育</p> <p>○相談可能な領域            (1) がん看護実践・教育に関すること            (2) 看護倫理・研究倫理に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) がん体験者の折り合いをつける力            (2) がんサバイバーの長期的適応を促す看護援助プログラムの開発            (3) がん患者のギアチェンジを支える援助モデルの開発            (4) 在宅ターミナルケアに関する地域ネットワークシステムモデルの開発            (5) 在宅移行するがん患者のエンパワーメントを支える看護ケア指針の開発</p>

# 藤田 冬子 FUJITA, Fuyuko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本看護科学学会広報委員会委員</b> (2011年度)            (b) 日本看護科学学会 社会貢献委員会 Nursing Science Café in Kochiー看護への招待：命を守りくらしを支えるー            (c) 看護系諸学会、日本学術会議            (d) 一般市民、中高校生            (e) 高知市文化プラザかるぼーと            (f) 藤田冬子</p>	<p>今後も、地域の高齢者にかんする課題に、健康長寿センターとともに取組んでいきたいと考えています。</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 地方での医工連携</b> (2011年度)            (b) 老いる自分を大切に楽しく生きる            (c) 日本工学アカデミー、高知工科大学            (d) 一般市民            (e) 高知県立大学 永国寺キャンパス            (f) 藤田冬子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            高齢者の家族介護者、高齢者のせん妄、高齢者の摂食嚥下障害</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県看護協会地域看護委員会委員</b> (2011年度)            (b) 話題提供と地域における問題などを討議            (c) 高知県看護協会地域看護委員会            (d) 県内の看護職            (e) 高知県立大学 池キャンパス 他            (f) 藤田冬子</p>	<p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 高齢者の家族介護者の負担軽減及び能力向上について            (2) 高齢者のせん妄予防とケアについて            (3) 高齢者のせん妄ケアのシステム化について            (4) 高齢者のせん妄と栄養障害について</p>
<p><b>[04]</b>  <b>(a) CNSキャリア育成のためのスキルアップセミナー</b> (2011年度)            (b) 専門看護師の講演と相談会            (c) 日本専門看護師協議会臨床能力向上委員会            (d) 協議会会員の専門看護師            (e) 東京            (f) 藤田冬子</p>	<p>○<b>これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)</b>            (1) 藤田冬子：介護者のエンハンスメント・プログラムにおけるファシリテーター養成プログラムの開発、科学研究費助成事業、2011            (2) 藤田冬子：高齢者をケアする家族介護者のためのエンハンスメント・プログラムの開発に関する研究、高知女子大学大学院看護学研究科、2010            (3) 藤田冬子・高野洋子：CNSと嚥下回診チームを活用した摂食機能療法の浸透に向けた取り組み、第14回日本看護管理学会年次大会講演抄録集、p. 27、2010            (4) 藤田冬子・長谷川味香ほか：摂食機能療法の浸透による摂食嚥下障害者へのケアの変化、静脈経腸栄養、25巻1号、p. 458、2010</p>

# 松本 鈴子 MATSUMOTO, Suzuko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 助産学生の教育方法</b> (2009-現年度)            (b) 助産学生の実習指導方法、助産看護過程など            (c) 高知医療センター産科フロア            (d) 産科フロア助産師・看護師            (e) 高知県立大学看護学部棟内および高知医療センター研修室            (f) 母性・助産看護領域教員松本鈴子他 5 名</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 臨床指導者への教育</b> (2006-現年度)            (b) 母性看護に関する学習内容と実習方法など            (c) 高知県看護協会            (d) 臨床指導者講習会の受講生            (e) 高知県看護協会            (f) 松本鈴子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 母性・助産看護に関する検討会</b> (2006-現年度)            (b) 「心の問題を抱えた妊婦へのかかわり」「周産期医療関連施設間の連携-MFICU における看護をつなげていくために-」「高齢妊産婦への支援」等            (c) 高知市内の産科施設看護責任者            (d) 高知県内の助産師・保健師・看護師            (e) 高知県立大学看護学部棟内、1～2回/年            (f) 母性・助産看護領域教員松本鈴子他 5 名</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) いのちの教育</b> (2009/10年度)            (b) 性の発達、性感染症等の予防など「自分も異性も大切にしよう! 大人への移行期」            (c) 中学校の教諭、養護教諭            (d) ①中学1～3年生および保護者、教諭、養護教諭、②中学3年生および保護者、学年担当、養護教諭            (e) 香南市・香美市内の中学校            (f) 松本鈴子</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 研修会の講演、座長、企画等</b> (2008/09/10年度)            (b) ①母子保健指導者研修：地域における子育て・親育ち支援の現状報告・座長(高知市2010.12)、②高知市職員：リプロダクティブヘルス/ライツ講師(2008.6)、③社会、そして女性が求める医療・看護—女性のリプロダクティブヘルスの視点から、ワークショップ企画・座長(2009.7)</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 助産学生の実践能力向上のための教育</b>            (b) 教育方法、臨床指導者との連携等            (d) 助産師教育に関わる臨床、教育関係者等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 母性・親性の発達支援活動</b>            (b) 誕生体験・妊婦体験・子育て体験など            (c) 小学校・中学校の教諭・養護教諭            (d) 小学生・中学生・高校生</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            出産体験、トラウマ、産婦のエンパワーメント、助産師教育、</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 出産体験におけるストレス            (2) 母性・助産看護に関連するテーマ</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) 出産体験に関する研究(*)            (2) 親役割の支援に関する研究(*)            (3) 助産師教育に関する研究(*)            (4) セクシュアリティに関する研究</p> <p>1) 松本鈴子・岩崎順子他 5 名：看護基礎教育における助産学生の実践能力を高める臨床指導者の教育方法, 高知女子大学看護学会誌, Vol138. No2, 2013, p118-128            2) 出産と心的外傷後ストレス障害の関連に関する研究, 広島大学大学院保健学専攻博士論文, 2008. 1            3) 松本鈴子・横尾京子・岡村仁：産後1か月における出産に伴う母親の心的外傷後ストレスの出現—NICU入院児の母親と健常新生児の母親の比較—, 広島大学保健学ジャーナル, Vol16. No1. p71-80, 2006            4) 山本圭一・松本鈴子他 3 名：子育て中の看護者がワークライフバランスを実現させるための工夫と望み—3歳未満の子どもがいる核家族に焦点をあてて—, 第41回日本看護学会看護管理抄録集, 2011, p181-184            5) 山越彩子・竹田美紀・山内祥代・鎌田彩香・大和郁恵・松本鈴子：分娩期における初産婦のエンパワーメント, 日本母性衛生, Vol152. No3, p292, 2011. 9            6) 竹田美紀・山越彩子・山内祥代・鎌田彩香・大和郁恵・松本鈴子：分娩期における初産婦のエンパワーメントに効果的に作用する内的・外的側面, 日本母性衛生, Vol152. No3, p293, 2011. 9</p>



**宮武 陽子**

MIYATAKE, Yoko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 質の高い看護師育成(糖尿病)研修会</b>(2008-13年度)            (b) 糖尿病看護の質の向上のための看護職者の教育プログラムの作成と推進            (c) 高知県健康政策部・看護協会            (d) 高知県下の看護職者            (e) 看護協会・高知大学医学部附属病院・細木病院・高須病院・高知赤十字病院・高知医療センター            (f) 宮武陽子・長戸和子・山中福子・下元理恵</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 日本糖尿病教育・看護学会監事</b>(2012-16年度)            (b) 糖尿病看護に関する研究および看護実践の質の向上を図り、会員の研鑽の機会や場の提供を企画するとともに会員相互および関係機関との連携を図る            (c) 会員            (d) 看護職者・研究者・一般市民            (e) 各地での学術集会・研修機関            (f) 宮武陽子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 慢性病者と家族の看護支援や教育プログラムの開発</b>            (b) 慢性病者の継続支援のためのシステム・ネットワークづくり            (c) 県下の慢性病者の診療関連施設スタッフ・看護職者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 患者教育にかかわるスタッフの教育力の向上</b>            (b) 慢性病者の行動変容を促す教育支援プログラムの開発と普及            (c) 県下の慢性病者の診療関連施設スタッフ・看護職者</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本慢性看護学会評議員</b>(2006-13年度)            (b) 慢性病者の看護に関する研究および看護実践の質の向上を図るとともに、会員の研鑽の機会や場の提供を企画し、会員相互および関係機関との連携を図る            (c) 会員            (d) 看護職者・研究者・一般市民            (e) 各地での学術集会・研修機関            (f) 宮武陽子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            慢性看護、糖尿病看護、看護教育、自己決定、エンパワメント、患者教育(学習支援)、慢性病者の継続看護システム、IPE&amp;IPW</p> <p>○相談可能な領域            (1) 慢性病患者と家族の療養支援            (2) 行動変容の困難な事例の対応            (3) 慢性病者の教育支援プログラム</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 糖尿病患者と家族のエンパワメント看護介入の開発            (2) 慢性心不全患者のセルフモニタリング力の開発看護介入プログラムの開発(*)            (3) 外来看護相談システム開発(*)            (4) インスリンエラーの発生と要因の分析(*)            (5) 多職種連携活動(IPW)の意識調査</p>

**森下 利子**

MORISHITA, Toshiko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 急性期病院の看護師とのケア検討会</b>(2012年度)            (b) 急性期病院の救命救急および重症者ケアにおける看護の質向上をめざして、臨床現場の看護師が日々の看護実践活動のなかで遭遇した複雑で困難な対応事例について振り返り、事例の分析を通してより良いケア方法を検討し見出す。            (c) 高知県内の急性期病院の救命救急センター、集中治療室および重症者病棟部門の看護師            (d) 救命救急および重症者ケアに携わる看護師            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 森下利子・大川宣容・井上正隆</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知看護教育研究会における連携・学習会</b>(2004-10年度)            (b) 高知県内で看護師養成教育に携わる教員が、看護教育の質向上をめざして、施設を超えて交流し、互いに情報共有をはかりながら、看護教育に関するトピックな課題(テーマ: 学生を引き付ける授業プラン、リフレクティブな看護師を育てるために、など)や教育方法(テーマ: 経験型実習教育の基本的考え方と具体的展開、など)の改善のために学習会を企画・開催した。            (c) 高知県内の看護系大学、短期大学および看護師養成の教育機関            (d) 看護師養成の基礎教育に携わる教員            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 森下利子・宮武陽子・嶋岡暢希・、川上理子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 生命危機状況における看護やケアに関する研究・教育活動</b>            (b) 救急・重症患者とその家族への看護ケアや医療提供体制のあり方に関する研究、教育活動など            (c) 医療施設・教育機関の関係者            (d) 急性期看護に携わる看護師・教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) ストレス対処や自己治癒力の向上に関する研究・教育活動</b>            (b) ストレスやリラクゼーション法の研究・活動            (c) 医療施設・教育機関の関係者            (d) がん看護に携わる看護師・がん患者</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p><b>○キーワード</b>            がん患者、がん看護、ホリスティック、ホリスティックアプローチ、在宅移行、看護ケア指針、エンパワーメント、ギアチェンジ、不確かさ、術後患者</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 急性期看護領域における重症者ケアや周手術期看護に関する研究や教育活動            (2) がん看護領域におけるストレスへの対処法やリラクゼーション法などに関する研究や教育活動</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) 治療期にあるがん患者へのホリスティックアプローチを基盤とするケアモデルの開発(*)            (2) 術後患者の不確かな状況における認識            (3) 手術療法を受けたがん患者の回復に向けたコーピング            (4) 急性期病院から在宅移行するがん患者のエンパワーメントを支える看護ケア指針の開発            (5) 進行がん患者のギアチェンジを支える援助の開発            (6) 意図的タッチによる生理的変化と心理的評価に関する研究</p>

**森下 安子**

MORISHITA, Yasuko

看護学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 在宅移行支援コンサルテーション業務</b> (2011-現年度)            (b)「高知県地域医療再生計画・中央西地域包括ケアシステム事業」に参加している基幹病院への在宅移行支援システム構築に関するコンサルテーション業務、カンファレンスなどのアドバイザー、満足度調査            (c) 吾川郡医師会            (d)「高知県地域医療再生計画・中央西地域包括ケアシステム事業」に参加している基幹病院            (e) 土佐市・仁淀川町・佐川町            (f) 森下安子・川上理子・小原弘子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修</b> (2011-現年度)            (b) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修 (特定の者) および指導者養成研修の講師            (c) 高知県地域福祉部障害保健福祉課            (d) 介護職員・訪問看護師 / (e) 高知県立大学            (f) 森下安子・川上理子・小原弘子・府川晃子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 在宅移行支援に関する研究</b>            (b) 病院・在宅スタッフが協働して展開する在宅移行支援システムの開発すること、在宅移行支援に関わる専門職へのスキルアップ教育            (c) 病院・在宅ケア関係者など            (d) 病院・在宅ケア関係者など</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) ケアマネジメントに関する研究・教育的取組</b>            (b) 自立・QOLを支援するケアマネジメントに関する専門職へのスキルアップ教育            (c) 在宅ケア関係者など            (d) 在宅ケア関係者など</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 介護支援専門員関係研修に関する企画・講師</b> (2002年-現年度)            (b) 介護支援専門員関係研修に関する企画・講師            (c) 高知県社会福祉協議会、高知県高齢者福祉課            (d) 介護支援専門員 / (e) 高知県下            (f) 森下安子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 在宅ケア領域看護師研修運営委員会委員長</b> (2008-現年度)            (b) 在宅療養者と家族を支援する看護師養成基礎研修、在宅移行を支援する看護師養成研修企画、講師            (c) 高知県看護協会            (d) 高知県内の看護師 / (e) 高知県看護協会            (f) 森下安子</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 日本災害看護学会指名理事</b> (2011-現年度)            (b) 災害看護学に関する研究および研究者実践家相互の連携を促進し、会員相互の連絡、内外の関連機関との連携            (c) 看護職者・研究者 / (d) 看護職者・研究者            (e) 各地での学術集会 / (f) 森下安子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            ケアマネジメント・在宅ケア・訪問看護、在宅への移行支援・多職種チームアプローチ・災害看護</p> <p>○相談可能な領域            (1) ケアマネジメントに関すること            (2) 在宅移行支援に関すること            (3) 災害看護(在宅療養者、訪問看護ST)に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域を基盤とした地域病院協働型在宅移行支援システムの開発とガイドラインの作成(*)            (2) 災害看護支援ネットワークシステムの構築(*)            (3) 自立を支援するケアマネジメント            (4) 在宅ケアにおける協働、チームアプローチに関する研究(*)</p>

# 山田 覚 YAMADA, Satoru

看護学部/総合情報センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 災害看護支援ネットワークシステム</b> (-現年度)            (b) 高知県は台風の襲来が歴史的にも多いことから、災害県と言われて来たが、現在では南海地震の対策が急がれている。この様な状況の中で、東日本大震災の経験も踏まえ、高知県にてどのように災害に関する看護支援体制を整えるか、臨床と行政とともにネットワークシステム作りを行っている。            (c) 県・市町村・保健所・医療機関・職能団体            (d) 看護職・行政職            (e) 大学・行政・看護協会            (f) 山田覚</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 看護サービスの質の向上と安定</b> (-現年度)            (b) 看護はサービス業の一つであり、サービスの最も大きな特徴である無形性により、看護職により生産される看護サービスは、測ることが大変困難であるといわれている。管理の原点は、管理対象を把握することであるので、測ることの難しい看護サービスを如何に客観的に把握するか、測定方法を研究している。            (c) 看護職・その他医療従事者            (d) 看護師・助産師・保健師・医療従事者            (e) 各医療施設・医療保健行政施設・大学            (f) 山田覚</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 看護管理システムの分析と設計</b> (-現年度)            (b) 臨床における看護管理教育は、以前よりはるかに浸透して来たが、何の準備もなくいきなり看護管理業務をしなければならない事態もある。これまでの臨床の経験により積み重ねられて来た看護管理システムを、論理的に異分野の動向も踏まえながら分析し、システムのあるべき姿を実現する過程と方法を研究している。            (c) 看護職・看護管理者            (d) 看護師・助産師・保健師            (e) 各医療施設・大学            (f) 山田覚</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 災害看護支援システム</b>            (b) 災害に対する準備や発災時の対応に関するシステム作り            (c) 医療施設・医療関係団体・行政            (d) 看護職・医療従事者・行政職</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域の減災システム</b>            (b) 高齢化が進む地域等において、災害要援護者が災害において身を守る平穩期の準備と発災時の対応システム作り            (c) 自治体            (d) 地域保健従事者・行政職</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 看護管理システム</b>            (b) 保健医療組織において、ヒト、モノ、カネ、情報、トキ、組織風土という経営資源を、効果・効率的に活用し、それぞれの組織目的を達成するシステム作り            (c) 医療施設・自治体            (d) 看護職・行政職</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            災害、災害看護、リスクマネジメント、看護管理、人間工学</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 看護職の職業継続意志に影響する要因の構造            (2) 看護師のキャリアデザイン            (3) On the Job Training による看護管理教育            (4) 災害や災害看護体験が看護者に及ぼす影響            (5) スタッフ育成における看護師長のかかわり            (6) 救命救急センターのリーダー看護師育成            (7) 看護者の災害看護の体験の構造            (8) 災害看護協力協定締結要因            (9) 災害看護協力協定締結の阻害要因            (10) 精神科看護者の Clinical Competency            (11) 看護者が行った災害看護活動の構造            (12) 医療療養病床にかける看護専門職性</p>

# 内川 洋子 UCHIKAWA, Yoko

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程研修講師</b>(2012-現年度)            (b) 看護管理者に必要な組織行動論として、集団の理解、集団の意思決定、コンフリクトと対処、アサーティブネス、リーダーシップ等の講義。更に、プロポーザルの実践として看護管理実践計画書作成におけるコンサルテーションを行う。            (c) 看護師長(看護科長)・看護部長・主任等の看護の実践現場で看護管理に関わる者            (d) 所属施設から推薦された看護管理者            (e) 高知県看護協会            (f) 内川洋子・山田覚(担当は一部異なる)</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 看護教員養成講習会「教育方法 カンファレンスと討議法」講師</b>(2006-09年度)            (b) 集団を活用し効果的に討議を行うために必要な様々なスキル(アイスブレイク、ブレインストーミング、ディベート、アサーション、ネゴシエーション)について演習する            (c) 保健師・助産師・看護師・看護教育者            (d) 看護教育者として看護教育に従事する者、臨床実習指導者            (e) 長崎県看護協会            (f) 内川洋子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 看護職者に対する卒後教育</b>(-現年度)            (b) ①「働きがいを感じさせる目標管理・人事評価を目指して」(病院看護部、2011年度)、②「看護過程におけるクリティカルシンキングと知識の活用」(病院看護部、-2010年度)、③「副看護師長を対象とした看護診断講義」(病院看護部、-2010年度)            (c) 病院看護部            (d) 保健師・助産師・看護師・看護管理者            (e) もみのき病院・佐賀大学医学部附属病院・済生会熊本病院            (f) 内川洋子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健医療福祉領域における専門職連携の研究</b>            (b) 専門職連携のあり方の研究            (c) 保健医療福祉専門職とその所属機関            (d) 保健師・助産師・看護師・他</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 専門職対象のソーシャルスキルトレーニング</b>            (b) チームビルディング、アサーションなど            (c) 保健医療福祉専門職が所属する集団            (d) 保健師・助産師・看護師・他</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            看護師、看護管理者、保健医療福祉職、リーダーシップ、チームワーク、コンピテンシー、専門職連携、多職種連携、看護教育</p> <p>○相談可能な領域            (1) 保健医療福祉専門職の集団における対人関係を向上させる教育・教育プログラム開発・トレーニング            (2) 専門職連携における問題分析と改善への取り組み            (3) 看護の質改善に関する研究への支援</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 看護職者のチームワークを明らかにし、教育プログラムの開発、有効性検証を行う(*)            (2) 保健医療福祉専門職の専門職連携に必要なコンピテンシーに関する教育プログラム開発(*)            (3) 防災に関わる保健医療福祉専門職の専門職連携の現状と課題の分析(*)            (4) 看護師、看護師長のリーダーシップ開発に関する研究(*)            (5) 臨地実習における学生の学びに関する研究</p>

# 瓜生 浩子

URYU, Hiroko

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 看護職者対象の研修会</b> (2004-現年度)            (b) ①保健師・助産師・看護師等実習指導者講習会にて「看護過程」「家族ケア」の研修会、②「家族看護—家族の理解と向き合い方」の研修会、③「小論文・レポートの書き方」の研修会、④専門分野(糖尿病)における質の高い看護師育成研修にて「症状マネジメント、⑤生活調整支援」「看護過程演習」の研修会、⑥「家族の理解と家族看護」の研修会、⑦看護研究エキスパート育成研修での指導            (c) 高知県看護協会・長崎県看護協会            (d) 看護職者            (e) 高知県看護協会・長崎県看護協会            (f) 瓜生浩子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 家族看護に関する学習会・相談</b> (2006-現年度)            (b) 家族看護に関するよろず相談、家族看護に関する学習会・事例検討会(年3～4回)            (c) 高知医療センター看護局            (d) 高知医療センターの看護職員            (e) 高知医療センター            (f) 瓜生浩子・長戸和子・升田茂章・坂元綾・小松弓香理</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 障がい者とその家族に関する研究</b>            (b) 障がい者とその家族の生活状況や直面している課題等に関する実態調査など            (c) 障がい者の家族会、障害者支援施設            (d) 障がい者とその家族、障がい者支援を行っている専門職</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 障がい者の家族への相談活動</b>            (b) 障がい者の家族を対象とした家族看護の視点からの相談活動            (c) 障がい者の家族会            (d) 障がい者の家族</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            家族看護、基礎看護、高次脳機能障害</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 病気や障害をもつ人とその家族への看護</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 脳外傷性高次脳機能障害者と共に生きる家族の体験—Family Hardinessの視点から— (*)            (2) 高次脳機能障害者の家族のFamily Hardiness支援教育マニュアルの作成 (*)            (3) 家族と患者の間に生じる認知的不協和を緩和するための看護介入            (4) 潜在看護師のフィジカルアセスメント能力を強化するための教育用マニュアルの開発</p>

# 大川 宣容 OKAWA, Norimi

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本がん看護学会評議員</b> (2013-15年度)、<b>日本がん看護学会編集委員</b> (2009年度)            (b) がん看護に関する研究、教育及び実践の発展と向上に努める            (c) 看護職者・研究者            (d) 看護職者・研究者・一般市民            (e) 各地での学術集会            (f) 大川宣容</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 日本医療教授システム学会中四国支部副代表理事</b> (2012-14年度)            (b) 標準的な医療を安全・確実に提供できる医療職の育成に資するための学術的活動を行う            (c) 医療職者・研究者            (d) 医療職者・研究者            (e) 中四国の大学・病院等            (f) 大川宣容</p>	<p><b>公開講座や事例検討会などを行っています。</b></p> <p><b>[01]</b>  <b>(a) シミュレーション教育の活用に関すること</b>            (b) シミュレーションを活用した教育や研修のあり方やその普及活動など            (c) 病院等の教育担当者、医療系教員など            (d) 医療者の研修や教育担当者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 急性期看護に関するテーマ</b>            (b) 急性期看護の質の向上のための研究            (c) 医療職者・研究者            (d) 医療職者</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県看護協会在宅療養者と家族を支援する看護師育成研修・講師</b> (2009/11/13年度)            (b) 在宅療養者やその家族への看護を提供できる看護職の育成を行う            (c) 看護協会            (d) 看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 大川宣容</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            周手術期にある患者の体験や看護、フィジカルアセスメント</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 急性期患者の無力感やストレスの緩和            (2) 回復の促進に向けた看護援助方法の開発            (3) 身体の観察技術            (4) シミュレーション教育コンテンツの開発など</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 手術患者の身体感覚を基盤とした生活の拡がりを支える看護援助モデルの開発(*)            (2) 災害看護支援ネットワークの運用について            (3) がん患者のエンパワーメントを基盤とした在宅移行支援モデルの開発</p>

# 川上 理子 KAWAKAMI, Michiko

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県中央西地域包括的連携システムの構築事業への参加</b> (2010-2013年度)            (b) 高知県中央西地域における地域包括的連携システムの構築事業において、病院から地域への移行プロセスでシームレスなケア提供ができるようなシステム構築を目指している。            (c) 高知県中央西福祉保健所・土佐市民病院・高北病院・仁淀病院・地域包括ケアセンター他            (d) 各病院の看護部・地域連携部・地域包括センター / (e) 高知県中央西地域            (f) 森下安子・川上理子・小原弘子・森下幸子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域医療フォーラム2013の企画・運営</b> (2013年度)            (b) 地域医療についての住民への啓発を目的に、2013年度は在宅での看取りをテーマに講演・シンポジウムを企画し、2013年11月30日に開催予定。            (c) 高知県医療政策・医師確保課            (d) 在宅での看取りを推進されている開業医・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・高知県薬剤師会他 / (e) 高知県            (f) 池田光徳・森下安子・森下幸子・川上理子・小原弘子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 介護職員等による痰の吸引等(特定の者対象)研修・指導者研修</b> (2011-現年度)            (b) 社会福祉士法および介護福祉士法の一部改正により実質的違法性阻却として取り扱われていた介護職員等による痰の吸引等が業として実施できることになったため、現職の介護職員等に研修実施            (c) 高知県障害保健福祉課            (d) 介護職員、介護職員への指導者(看護師)            (e) 年3~4回介護職員への基本研修、年1回指導者研修、年1~2回介護職員への実地研修            (f) 川上理子、小原弘子、森下安子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 在宅医療推進事業での講師担当</b> (2013年度)            (b) 退院から在宅療養へ移行する本人と家族の意思決定を支える看護についての講義            (c) 高知県看護協会            (d) 看護師等 / (e) 高知県 / (f) 川上理子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 在宅看護・在宅医療推進に関すること</b>            (b) 地域病院協働型在宅移行支援システムの普及活動            (c) 自治体・病院など            (d) 看護師、退院調整に関わる方、ケアマネジャーなど</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 在宅での看取りに関すること</b>            (b) 在宅での訪問看護を活用した看取りの普及            (c) 自治体・看護協会・訪問看護ステーション等            (d) 看護師・地域住民</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            地域病院協働型在宅移行支援システム、在宅看取り</p> <p>○相談可能な領域            (1) 在宅移行支援            (2) 在宅での看取り</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発(在宅移行支援フローチャートの開発・活用・評価)(*            (2) 在宅看取りにおける訪問看護師の倫理的判断(*</p>



# 佐東 美緒 SATO, Mio

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知市で生活する子どもとその家族への支援</b> (2012年度)            (b) 高知市役所子育て支援課から委嘱を受け、高知市子育て支援計画推進協議会委員として、「高知市子ども未来プラン すくすくとさっこ2010」重点施策について意見交換を行う会            (c) 医師、看護師、大学教員、保健師、保育士、自治体職員、子どもの家族、保育園経営者など            (d) 高知市に住む子どもとその家族            (e) 高知市役所            (f) 佐東美緒</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知医療センターとの連携：赤ちゃん同窓会の開催</b> (2003-現年度)            (b) 新生児集中治療室 (NICU) を退院した子どもと家族が一堂に集い、情報交換や相談・ダンスや演奏などを行う会            (c) 高知医療センターの医師、看護師、保育士、ボランティア、大学教員、学生            (d) NICU を退院した子どもとその家族            (e) 高知医療センター            (f) 佐東美緒</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本小児看護学会第23回学術集会プログラム委員長</b> (2011-現年度)            (b) どのように家庭・地域・学校で子どもとその家族を支援するか、看護者と小児看護について考える、メインテーマ『子どもと家族の力を支える 倫理的判断にもとづく小児看護の創造』の学術集会。            (c) 看護師・保健師・助産師・養護教諭・大学教員            (d) 病気の子どもの子どもを育てる家族、看護職者研究者            (e) 高知県かるぽーと            (f) 佐東美緒</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 新生児集中治療室を退院する子どもとその家族への支援</b>            (b) 退院する子どもとその家族の在宅移行への支援 (多職種連携)            (c) 医療者、地域で子どもと関わる多職種            (d) 高知県で生活する子どもとその家族</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 健康長寿センターでの活動</b>            (b) 子どもの健康を支える看護について            (c) 看護師・保健師・養護教諭            (d) 地域で生活する子どもとその家族</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            新生児集中治療室、小児看護、低出生体重児、高度実践看護師</p> <p>○相談可能な領域            (1) 入院中の子どもの在宅移行            (2) NICU を退院する子どもと家族への看護            (3) 地域、医療機関の多職種連携            (4) 子どものフィジカルアセスメント</p> <p>○これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)            (1) NICU を退院した子どもを育てる家族の在宅生活を支援する訪問看護師の看護介入方法の検討とガイドラインの開発            (2) 「NICU を退院した子ども・家族のエンパワメントを支援するガイドライン」の開発            (3) 低出生体重児を育てる家族の育児力を高める看護教育プログラムの開発            (4) 小児医療における病院/在宅/地域をつなぐ高度実践看護師クリニックのシステム構築 (*)            (5) 脳死による子どもの臓器移植に直面した家族の意思決定を支えるケアガイドラインの開発 (*)</p>

**嶋岡 暢希**

SHIMAOKA, Nobuki

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知女子大学看護学会編集委員長</b> (2012年度)            (b) 高知女子大学看護学会員が行った研究成果の誌上発表を支援する            (c) 高知女子大学看護学会員、研究者、看護職者            (d) 高知女子大学看護学会員            (e) 高知県立大学            (f) 嶋岡暢希・小原弘子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知女子大学看護学会企画委員</b> (2010-11年度)            (b) 高知女子大学看護学会員や地域の看護職者を対象とする公開講座や講演会を企画・運営する            (c) 高知女子大学看護学会員・研究者・看護職者            (d) 高知女子大学看護学会員・研究者・看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 嶋岡暢希・時長美希・長戸和子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県看護教育研究会企画委員</b> (2010-11年度)            (b) 高知県内の看護教育に携わる教員の教育力を向上を目的とした講演会やワークショップ等を企画・運営する            (c) 高知県内の看護教育に携わる教員            (d) 高知県内の看護教育に携わる教員            (e) 高知県内の看護教育機関            (f) 嶋岡暢希</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知県看護協会エキスパート研修研究指導</b> (2012年度)            (b) 高知県内における看護職者の研究能力向上を支援する            (c) 高知県看護協会            (d) 高知県内の看護職者            (e) 高知県看護協会・高知県内医療施設・高知県立大学            (f) 嶋岡暢希・長戸和子・升田茂章</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 母性・助産看護領域ケア検討会</b>            (b) 高知県内の看護職者とともに事例を検討し、看護の質向上をはかる。            (c) 高知県内の看護職者            (d) 高知県内</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 包括連携事業・助産看護実習における教育方法</b>            (b) 高知医療センターの実習指導者とともに、助産看護実習における効果的な教育方法を検討する            (c) 高知医療センターの実習指導者            (d) 高知県内の医療施設(実習施設)</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            妊婦、産婦、褥婦、母乳育児、育児、母親</p> <p>○相談可能な領域            (1) 妊娠・出産・育児に関する母子の健康と看護</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 乳児期の子どもを育てる母親の Mastery に関する研究(*)            (2) 母乳育児に関する研究            (3) 妊産褥婦の取組みの姿勢に関する研究</p>

**田井 雅子** TAI, Masako

看護学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a)「精神看護学」保健師助産師看護師等実習指導者講習会</b>(2008-現年度)            (b)精神看護学で必用となる理論・知識、精神看護実習の目的や実習指導者の役割等についての講習            (c)高知県看護協会            (d)保健師、助産師、看護師等養成所の実習施設で実習指導の任にある者・将来実習指導者となる予定の者            (e)高知県看護協会会館            (f)田井雅子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a)「看護研究における倫理的配慮」高知県看護協会看護研究エキスパート育成研修</b>(2012年)            (b)看護研究における倫理原則や、研究を行う際の倫理的課題・倫理的配慮、責任ある看護研究活動を行うために必要なこと等についての研修会            (c)高知県看護協会            (d)看護研究に携わる看護職者            (e)高知県看護協会会館            (f)田井雅子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a)精神障害をもつ人への看護援助</b>            (b)精神障害をもつ人への看護援助に関する検討            (c)精神科関連の病院・施設            (d)看護職者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a)精神障害をもつ人の家族への看護援助</b>            (b)精神障害をもつ人の家族への看護援助に関する事例検討            (c)精神科関連の病院・施設            (d)看護職者</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a)「思春期の子ども心の問題への対応」教育職員免許状更新講習</b>(2010-現年度)            (b)思春期の子どもうつ病や摂食障害の特徴やアセスメントの方法、心の問題を持つ子どもへの対応についての講習            (c)高知県教員免許状更新講習実施連絡会            (d)養護教諭            (e)高知県立大学            (f)畦地博子・田井雅子・畠山卓也・槇本香</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a)「ケース像を描こう」「セルフケアと看護」高知県精神保健福祉従事者リフレッシュ研修</b>(2008-現年度)            (b)精神看護でのケースの捉え方や描き方、セルフケアモデルを用いた精神看護の展開等について講習            (c)高知県精神保健福祉協会            (d)高知県内の精神保健福祉従事者            (e)高知県保健衛生総合庁舎            (f)田井雅子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            精神看護、統合失調症、症状マネジメント、地域生活、再入院、家族</p> <p>○相談可能な領域            (1)精神障害をもつ人への看護の質向上を目指したケアについて            (2)精神障害をもつ人を抱える家族への看護について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1)統合失調症患者のセルフマネジメントを維持・向上させるケア(*            (2)家族看護エンパワーメントの介入に関する研究(*            (3)再入院した統合失調症患者への症状マネジメント習得に向けたケアプログラムの開発            (4)自殺未遂患者のアセスメントと介入に関する意識調査            (5)回復期にある脳血管障害患者のうつ状態に関する研究            (6)精神科病棟における白癬・褥瘡のケアに関する研究</p>

# 石川 麻衣

ISHIKAWA, Mai

看護学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師の現任教育支援</b> (2010-現年度)            (b) 新任保健師研修講師・OJT担当者会講師への参加、人材育成ガイドライン推進検討会への参加、ブロック保健師研修会講師、高知県地域保健従事者研修運営委員等            (c) 市町村・都道府県研修担当者、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健師            (e) 高知県内            (f) 地域看護領域</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 保健活動の質の向上支援</b> (2010-現年度)            (b) 福祉保健所管内保健福祉関係職員研修会講師、保健師長会支部研修会講師、高知県自然災害時保健活動ガイドライン見直し検討会への参加等            (c) 市町村・都道府県研修担当者、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健活動従事者            (e) 高知県内            (f) 地域看護領域・看護学部災害看護プロジェクト</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師の現任教育支援</b>            (b) 保健師研修会の講師等            (c) 市町村・都道府県研修担当者、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健師</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 保健活動の質の向上支援</b>            (b) 保健福祉関係職員研修会講師            (c) 市町村、都道府県研修担当者、看護協会            (d) 市町村・都道府県保健活動従事者</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 健康づくり支援</b>            (b) 講演会講師、健康増進計画推進支援等            (c) 市町村、都道府県研修担当者、一般住民            (d) 市町村・都道府県保健活動従事者、一般住民</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 保健事業の計画・実施支援</b> (2011-現年度)            (b) 土佐市新規事業「とさっ子健診」計画・実施支援            (c) 市町村保健活動従事職員            (d) 一般住民            (e) 土佐市            (f) 土佐市連携事業プロジェクトメンバー</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 健康づくり支援</b> (2009年度)            (b) 健康づくりに向けた講演等            (c) 市町村保健師            (d) 保健補導員            (e) 御代田町(2009)            (f) 石川麻衣</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            公衆衛生看護の展開方法、行政保健師の活動</p> <p>○相談可能な領域            (1) 保健師の活動および教育に関すること            (2) 地域保健活動に関すること            (3) 健康づくりに関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 行政保健師の健康増進計画推進活動に関する研究(*)            (2) 保健師の危機管理活動に関する研究(*)            (3) 保健師の現任教育に関する研究(*)            (4) 地域看護の基礎教育方法に関する研究(*)            (5) 行政保健師の政策関与能力に関する研究            (6) 行政保健師の看護実践知に関する研究            (7) 地域看護実践における予防的戦略に関する研究            (8) 健康づくりのライフストーリーに関する研究            (9) 保育所看護職の活動に関する研究            (10) 文化的視点を基盤とした子育て支援に関する研究            (11) 高齢者の予防的支援及びサポートネットワークに関する研究</p>

**廣川 恵子**

HIROKAWA, Keiko

看護学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 質の高いがん看護実践を検討する会</b>(2012年度)            (b) がん看護に関する情報交換や事例検討学習会の開催            (d) がん看護に携わる看護職            (e) 高知県立大学看護学部棟            (f) 廣川恵子・藤田佐和</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 平成24年度がん看護インテンシブコースⅠ研修－質の高いがん看護実践を創造していく看護師の養成－</b>(2012年度)            (b) 講義・演習で構成された15日間の研修会開催            (c) 高知県内の保健医療福祉関係者            (d) 在宅移行支援の必要な患者の入院病棟及び外来の看護師、地域医療連携室看護師及び訪問看護師など            (e) 高知県立大学看護学部棟他            (f) 廣川恵子・藤田佐和</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム第2回がん高度実践看護師WG講演会</b>(2012年度)            (b) がん患者の「治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開」－がん薬物療法と高度な看護実践－をテーマにした講演会の開催            (c) 中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム参加の4大学            (d) がん看護に携わる看護職            (e) 岡山コンベンションセンター            (f) 廣川恵子・藤田佐和</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) がん看護(特に外来通院患者)に関する研究・普及活動</b>            (b) 外来通院するがん患者の生活の質向上に寄与する研究。質の高いがん看護の普及活動など            (c) 病院など公益的な組織            (d) がん看護に携わる看護職</p>
	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            がん看護、外来、患者、生活、看護師、能力</p> <p>○相談可能な領域            (1) 外来通院しながら生活するがん患者に関すること            (2) 外来看護師の実践、能力向上に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 外来通院しながら生活するがん患者の力の尺度開発(*)            (2) 外来看護師の役割と能力            (3) 終末期がん患者の倦怠感と看護ケア</p>

**山中 福子**

YAMANAKA, Fukuko

看護学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 心不全に関する看護</b> (2011-現年度)            (b) 慢性心不全のケアについて看護実践者ともに検討する            (c) 医療機関に所属する外来・病棟看護師、および慢性心不全患者とかかわる看護師            (d) 医療機関に所属する外来・病棟看護師、および慢性心不全患者とかかわる看護師            (e) 高知市内の医療機関内、および大学内            (f) 慢性期領域の教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 慢性疾患をもつ人への看護ケア検討会</b> (2008-現年度)            (b) 慢性疾患をもつ人への看護ケアについて看護実践者とともに学習・検討する            (c) 高知県内の医療機関に勤務する看護職            (d) 高知県内の医療機関に勤務する看護職            (e) 高知市内の医療機関内、および大学内            (f) 慢性期領域の教員</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) セルフマネジメントプログラムのワークショップの開催</b>            (b) 慢性疾患をもつ人がより積極的に自己管理していくための方法をともに学習していく            (c) 慢性疾患をもつ患者、家族、医療者            (d) 慢性疾患をもつ患者、家族、医療者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 慢性疾患をもつ人への看護ケアの研究・学習活動</b>            (b) 長期にわたって治療や自己管理が必要な患者へのケアの向上に向けた研究・活動            (c) 看護職等            (d) 看護職等</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) セルフマネジメントプログラムのワークショップ</b> (2011-現年度)            (b) 慢性疾患をもつ人がより積極的に自己管理していくための方法をワークショップ形式で学習していく            (c) 慢性疾患をもつ患者、その家族、あるいは慢性疾患をもつ患者に関わる医療職            (d) 慢性疾患をもつ患者、その家族、あるいは慢性疾患をもつ患者に関わる医療職            (e) 高知市内の医療機関内、あるいは大学内            (f) 山中福子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード 慢性期看護、セルフケア、セルフマネジメント、学習支援、継続看護</p> <p>○相談可能な領域            (1) 慢性疾患をもつ患者へのケアについて            (2) 自己管理に向けた学習支援について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域医療支援病院における外来看護活動            (2) 非がん性の慢性疼痛をもつ患者の体験に関する研究(*)            (3) 慢性心不全患者の身体感覚に関する研究(*)</p>

**石井 歩** ISHII, Ayumi

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) がん看護学領域看護相談室</b> (2011-現年度)            (b) がん患者・家族の看護ケアに関する事例検討会や学習会            (c) 高知県内でがん看護に携わっている看護職者            (d) 高知県内の看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 石井歩・藤田佐和</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) がんプロフェッショナル基盤養成プログラムが            ん高度実践看護師養成プログラムインテンシブコース            I</b> (2012年度)            (b) 在宅療養の可能性と選択を広げることのできる看護職およびチーム医療を基盤とする在宅がん医療をコーディネートしていくことのできる専門的知識と技術を有する看護師の養成を図るための研修会            (c) 在宅医療に関わる専門職者            (d) 高知県内の在宅移行支援の必要な患者の入院病棟及び外来の看護師、地域医療連携室看護師及び訪問看護師            (e) 高知県立大学看護学部            (f) 石井歩・藤田佐和</p>	
<p><b>[03]</b>  <b>(a) がんプロフェッショナル基盤養成プログラムが            ん高度実践看護師養成プログラムインテンシブコース            II</b> (2012年度)            (b) がん薬物療法と高度な看護実践をテーマとした講演会            (c) がん看護専門看護師・医師            (d) 中国・四国のがん看護実践に携わる看護職            (e) 岡山コンベンションセンター            (f) 石井歩・藤田佐和</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            若年がん、エキスパートナース、実践知、希望</p> <p>○相談可能な領域            (1) がん看護学領域            治療期にあるサバイバー、また若い世代(青年期・壮年期)のがんサバイバーの援助について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 青年期・壮年期など若い世代・働き盛りの世代のがんサバイバーとそのご家族を支援する看護ケアに関すること</p>

**井上 正隆**

INOUE, Masataka

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地上でのドクターヘリ乗務研修</b> (2011-12年度)            (b) シミュレーターを使用した地上研修            (c) 高知医療センター            (d) 看護職            (e) 高知県立大学            (f) 井上正隆</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県看護協会エキスパート研修(グループ別研究担当指導)</b> (2005-09年度)            (b) 内容：各医療施設で行われる臨床研究に従事する看護師の養成プログラム            (c) 高知県看護協会            (d) 看護職            (e) 高知県内医療施設            (f) 井上正隆</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 看護学部公開講座フィジカルアセスメント</b> (2006-12年度)            (b) シミュレーターを使用した演習・講義            (d) 看護職            (e) 高知県立大学            (f) 井上正隆・大川容宣・瓜生宏子ほか</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 看護連携型ユニフィケーション看護管理分野・急性期看護学分野</b> (2008-12年度)            (b) 高知医療センターとの連携事業            (c) 高知医療センター            (d) 看護職            (e) 高知県立大学・高知医療センター            (f) 井上正隆・山田覚ほか</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 看護管理分野・急性期看護学分野ケア検討会</b> (2006-12年度)            (b) 臨床事例の検討会・勉強会の開催            (d) 看護職            (e) 高知県立大学            (f) 井上正隆・山田覚・森下利子ほか</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 急性期看護分野の卒後研修</b>            (b) シミュレーション法などを活用した卒後研修の計画や実施            (c) 看護師など            (d) 病院など</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 医療統計に関する内容</b>            (b) 統計的な手法を用いた研究や調査            (c) 看護師など            (d) 医療施設など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            シミュレーション教育、唾液中のストレス物質、術後せん妄看護管理学、災害看護学、医療統計、アンケート調査、フィジカルアセスメント</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 急性期看護学・クリティカルケア看護学            (2) 医療統計</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 急性期看護分野でのシミュレーション法を用いた教育法の開発            (2) 災害看護に関する研究</p>



**岩崎 順子**

IWASAKI, Junko

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 母性・助産看護領域事例検討会</b> (2012年度)            (b) 高齢妊産婦への支援            (c) 高知県内周産期に関する看護職者            (d) 高知県内周産期に関する看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 岩崎順子・松本鈴子・鈴木幹子・嶋岡暢希・芝崎恵・福井早苗</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 看護基礎教育における助産学生への臨床指導者の教育方法</b> (2012年度)            (b) 臨床指導者が活用できる「看護基礎教育における助産学生の実習に有用な教育方法」について臨床指導者と共に検討            (c) 高知医療センター            (d) 臨床指導者            (e) 高知医療センター            (f) 岩崎順子・松本鈴子・鈴木幹子・嶋岡暢希・芝崎恵・福井早苗</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 母性・助産看護領域事例検討会</b>            (b) 周産期にある母子とその家族に関する事例、女性の健康に関する事例            (c) 高知県内周産期に関する看護職者            (d) 高知県内周産期に関する看護職者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 臨床指導者の看護基礎教育における助産学生への教育方法</b>            (b) 臨床指導者の看護基礎教育における助産学生への教育方法に関する研究            (c) 高知医療センター            (d) 高知県内の周産期医療施設</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            Maternal Confidence</p> <p>○相談可能な領域            (1) 妊娠・出産・育児期にある母親および家族に関する支援</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) Maternal Confidence を育成する看護介入プログラムの開発            (2) 臨床指導者の看護基礎教育における助産学生への教育方法            (3) 総合周産期母子医療センターにおけるバースプランの実態            (4) 褥婦へのアロマセラピー足浴におけるリラックス効果の相違</p>

**潮 由美子**

USHIO, Yumiko

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 認知症-急性期病院に入院する認知症高齢者へのケア</b> (2012年度)            (b) 急性期病院に入院する認知症高齢者へのケアの実際について学ぶ            (c) 高齢者ケアに携わる多職種            (d) 高齢者ケアに携わる多職種            (e) 池キャンパス看護学部棟 2階老人実習室            (f) 潮由美子・藤田冬子・竹崎久美子</p>	<p>○今後は、地域の高齢者に関する課題に、健康長寿センターとともに取組んでいきたいと考えています。</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b> 在宅移行期、協働</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (a) 安藤千尋・潮由美子・柏木伊織・河合真理恵・澤田静香・池添志乃：脳血管障害の療養者とともに生活する家族のマネジメント行動、家族看護16、pp. 130-142、2010            (b) 潮由美子：在宅移行期における訪問看護師が取り組む病棟看護師との協働、平成22年度高知女子大学修士論文、2011</p>

# 大西 ゆかり ONISHI, Yukari

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 厚生労働科学研究費補助金：第3次対がん総合戦略研究事業「がん医療の質向上を目指した基本がんクリニカルパス作成と公開に関する研究」リンパ浮腫WGメンバー</b> (2008-現年度)            (b) がん治療による後遺症の一つであるリンパ浮腫について、正しい情報を「がん情報サービス」(WEB)を通して提供するための活動            (c) 医療者            (d) がん患者・家族、医療者            (e) 国立がん研究センター中央病院など年2回            (f) 大西ゆかり</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 愛媛県がん看護実践に強い看護師育成研修会</b> (2008-現年度)            (b) がん診療連携拠点病院の看護師に対して、リンパ浮腫の看護について講習            (c) 看護師            (d) 愛媛県のがん診療連携拠点病院の看護師で、上記研修受講生            (e) 愛媛県四国がんセンター            (f) 大西ゆかり</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) リンパ浮腫に関すること</b>            (b) リンパ浮腫の看護に関する活動            (c) 看護師            (d) がん治療後のリンパ浮腫のケアに関心のある方</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            がん患者、リンパ浮腫、セルフマネジメント</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) リンパ浮腫のケア</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) リンパ浮腫をもつ患者への看護 (*)</p>

# 小澤 若菜

OZAWA, Wakana

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師の人材育成</b> (2010-現年度)            (b) 新任期保健師現任教育の研修会支援活動            (c) 自治体            (d) 県・市町村の保健師            (e) 高知県下            (f) 小澤若菜・時長美希</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 災害時保健活動の構築</b> (2011-現年度)            (b) 高知県災害時保健活動ガイドライン見直しの支援、保健衛生活動の研究・普及活動            (c) 自治体            (d) 県民、自治体、保健・医療・福祉関係機関の職員            (e) 高知県下            (f) 小澤若菜</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 健康長寿センター体験型出前講座</b> (2010-現年度)            (b) 高知県民の健康長寿につながる体験型出前講座の企画、実施            (c) 自治体            (d) 県民、保健・医療・福祉関係機関の職員            (e) 高知県下            (f) 小澤若菜</p>	<p>○健康長寿センターにて、県民の皆様の健康づくりに関する活動を行っています。また、企業での労働衛生に関する健康教育もご希望に応じてさせていただきます。</p> <p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域保健活動の推進</b>            (b) 県・市町村保健師の効果的な地域保健活動の支援活動            (c) 自治体            (d) 県、市町村の保健師</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 大規模自然災害に関する災害看護活動の推進</b>            (b) 南海トラフ巨大地震対策における保健活動の推進、関係機関の機能確保、地域住民の防災・減災対応力の向上            (c) 自治体            (d) 県民、自治体、保健・医療・福祉関係機関の職員</p>
	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[04]</b>  <b>(a) 産業保健の推進活動</b> (2008-現年度)            (b) 産業保健推進連絡事務所の基幹相談員として、産業保健活動に関する相談(主に保健指導、健康教育)、研修会の企画実施            (c) 産業保健推進連絡事務所            (d) 事業場の労働衛生担当者、産業保健活動を担う看護職者            (e) 高知県下            (f) 小澤若菜</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 看護研究エキスパート研究指導</b> (2011-現年度)            (b) 高知県看護協会看護研究エキスパート育成研修における研究指導            (c) 高知県看護協会            (d) 看護職者            (e) 高知県下            (f) 小澤若菜</p>	<p>○キーワード 生活習慣病予防、健康教育、災害看護活動</p> <p>○相談可能な領域            (1) 生活習慣病予防に関すること            (2) 中小規模事業場の健康づくりに関すること            (3) 災害時保健活動に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域職域連携をとおした小規模事業場の健康づくりシステムの構築(*)            (2) 災害時保健活動ガイドライン作成に向けた保健師の力量形成(*)            (3) 生活習慣病予防を地域全体へ波及する保健師活動プログラムの開発(*)            (4) 乳児家庭全戸訪問による母子の健康と子育ての実態把握</p>

**川本 美香**

KAWAMOTO, Mika

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県新任保健師支援プログラムへの支援</b> (2012年度)            (b) ①新任保健師研修会(1～2年目対象)でのグループ講師、②新任保健師研修会(3～4年目対象)でのアドバイザー            (c) 高知県健康長寿対策課保健師・高知県保健所保健師・市町村プリセプター保健師            (d) 新任保健師(1～4年目)            (e) 高知県立大学(1～2年目対象：年2回、3～4年目対象：年2回)            (f) 川本美香・時長美希・石川麻衣・小澤若菜</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県新任保健師研修会フォロー研修ー中央西福祉保健所管内ー</b> (2012年度)            (b) 新任保健師研修会(1～2年目対象)に参加できなかった保健師に対して、プリセプター保健師を含めたフォロー研修でのアドバイザー            (c) 中央西福祉保健所保健師            (d) 中央西福祉保健所管内市町村保健師(1～2年目)と、そのプリセプター保健師            (e) 中央西福祉保健所            (f) 川本美香</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県新任保健師支援プログラムへの支援</b>            (b) 新任保健師人材育成プログラムに関する研究や研修内容の検討など            (c) 高知県内で人材育成に関わる保健師、高知県内の新任保健師            (d) 高知県内保健師</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            保健師人材育成、生活習慣病予防、保健指導、協働的パートナーシップ、パートナーシップ、地域看護</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 生活習慣病の予防を目的とした保健指導に関する研究            (2) 新任保健師の人材育成に関する研究</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 生活習慣病の予防を目的とした保健指導における保健師と対象者の関係形成に関するガイドラインの開発            (2) 生活習慣病の予防を目的とした保健指導における協働的パートナーシップ</p>

# 小原 弘子 KOHARA, Hiroko

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 在宅移行支援コンサルテーション業務</b> (2011～現年度)            (b) 「高知県地域医療再生計画・中央西地域包括ケアシステム事業」に参加している基幹病院への在宅移行支援システム構築に関するコンサルテーション業務、カンファレンスなどのアドバイザー、満足度調査            (c) 吾川郡医師会            (d) 「高知県地域医療再生計画・中央西地域包括ケアシステム事業」に参加している基幹病院            (e) 土佐市・仁淀川町・佐川町            (f) 小原弘子・森下安子・川上理子</p>	<p>健康長寿センターにて、健康・看護に関わる事業を展開しております。公開講座やリカレント教育、出前講義等を行っています。また、地域の健康に関する課題も、健康長寿センターとともに取り組んでいきます。皆様方とともに、一緒に考えることができればうれしいと考えています。健康長寿センターのホームページをご覧ください。お待ちしております。</p> <p>そのほか、看護学教育や専門職の継続教育についても、一緒に活動できればと希望しております。ご連絡ください。</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修</b> (2011～現年度)            (b) 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修(特定の者)および指導者養成研修の講師            (c) 高知県地域福祉部障害保健福祉課            (d) 介護職員、訪問看護師            (e) 高知県立大学            (f) 森下安子・川上理子・府川晃子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 地域医療フォーラムの開催</b> (2011/12年度)            (b) 「地域医療フォーラム2012 Let'sチームケアー進めよう多職種連携」の開催            (c) 高知県医療政策課            (d) 保健・医療・福祉関係者            (e) 高知県立大学            (f) 小原弘子・池田光徳・森下安子・小坂田稔・荒牧礼子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 土佐市地域ケア体制整備事業</b> (2010-11年度)            (b) 土佐市における病院・在宅スタッフが協働して展開する在宅移行支援システムの開発            (c) 土佐市在宅移行支援検討チーム            (d) 土佐市在宅移行支援検討チーム            (e) 土佐市            (f) 小原弘子・森下安子・川上理子</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) ①在宅療養者と家族を支援する看護師養成基礎研修、②施設一在宅の移行を支援する看護師育成研修</b> (2010-12年度)            (b) ①「訪問看護過程」「急変時の対応」講師、②「在宅移行の事例展開の方法」講師            (c) 高知県看護協会            (d) 高知県内の看護師            (e) 高知県看護協会</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            在宅移行支援、多職種連携・協働</p> <p>○相談可能な領域            (1) 在宅移行支援におけるシステム開発に関すること            (2) 訪問看護師の判断、判断能力形成・向上に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発(*            (2) 訪問看護の導入に関する訪問看護師の判断            (3) 在宅移行期における訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発(*            (a) 小原弘子・森下安子：訪問看護の導入に関する訪問看護師の判断の内容、高知女子大学看護学会誌38(2)、2012            (b) 小原弘子・川上理子・森下安子：地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発3-2年間の取り組みの報告、日本医療マネジメント学会雑誌13、p345、2012            (c) 小原弘子・川上理子・森下安子：地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発2-病院・地域スタッフの協働の抽出、日本医療マネジメント学会雑誌13、p345、2012            (d) 川上理子・小原弘子・森下安子：地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発1-在宅移行支援フローチャートの開発、日本医療マネジメント学会雑誌、13、p345、2012            (e) 小原弘子・森下安子・川上理子：在宅移行支援システム開発過程で生じた地域包括主任ケアマネジャーの困難とその変化-地域・病院協働型在宅移行支援システム開発過程より、第16回日本在宅ケア学会学術集会講演集、2012</p>

# 小松 弓香理 KOMATSU, Yukari

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 家族看護ケア検討会</b> (2012年度)            (b) 地域の看護職者とともに家族看護に関する事例検討会を年2回実施            (c) 地域の病院施設等に勤務する看護職者            (d) 地域の病院施設等に勤務する看護職者            (e) 高知県立大学            (f) 小松弓香理・長戸和子・瓜生浩子・升田茂章・坂元綾</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 看護研究エキスパート育成研修</b> (2012年度)            (b) 病院施設で勤務する看護職者の研究能力の向上を目指した研修において、1グループの指導を担当            (c) 高知県看護協会            (d) 県内の病院施設に勤務する看護師            (e) 定期的に高知県立大学にて指導を行った            (f) 小松弓香理</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 家族看護ケア検討会</b>            (b) 地域の看護職者とともに家族看護に関する事例検討会を年2～3回実施            (c) 地域の病院施設等に勤務する看護職者            (d) 地域の看護職者</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            脳血管障害、家族看護、Mastery</p> <p>○相談可能な領域            (1) 家族看護について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 脳血管障害による後遺症をもつ人の家族のMastery</p>

# 坂元 綾 SAKAMOTO, Aya

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 包括的連携事業「看護各領域の看護の質向上事業」</b>(2012年度)            (b) 壮年期の患者・家族を対象に、事例を振り返り、家族看護の視点で看護介入の方法などについて検討            (c) 高知医療センター病棟看護師            (d) 看護師            (e) 高知医療センターさわやか8 Bフロア            (f) 坂元綾・長戸和子・瓜生浩子・升田茂章・小松弓香理</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 家族看護学領域ケア検討会</b>(2012年度)            (b) 臨床での事例や看護介入方法などについて家族看護の視点で検討            (c) 高知県下の看護師など            (d) 看護師など            (e) 高知県立大学内            (f) 坂元綾・長戸和子・瓜生浩子・升田茂章・小松弓香理</p>	<p>健康長寿センターにて、健康・看護に関わる事業を展開しております。公開講座やリカレント教育、出前講義等を行っています。また、地域の健康に関する課題も、健康長寿センターとともに取り組んでいきます。皆様方とともに、一緒に考えることができらうれしいと考えています。健康長寿センターのホームページをご覧ください。お待ちしております。</p> <p>そのほか、看護学教育や専門職の継続教育についても、一緒に活動できればと希望しております。ご連絡ください。</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県看護協会主催の看護研究エキスパート研修</b>(2012年度)            (b) 論文作成指導            (c) 看護研究エキスパート研修受講者            (d) 看護師            (e) 高知県看護協会・高知県立大学            (f) 坂元綾</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 看護学部公開講座「呼吸器・循環器のフジカルアスト―気がかりな症状を手がかりとして―」</b>(2011年度)            (b) 演習補助            (c) 公開講座受講者            (d) 看護師            (e) 高知県立大学            (f) 瓜生浩子・坂元綾・他</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            病棟看護師長、役割遂行、スタッフ育成</p> <p>○相談可能な領域            (1) 家族看護領域            (2) 基礎看護領域</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) スタッフ育成における病棟看護師長のかかわりについて            (2) スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発</p>



# 芝崎 恵 SHIBASAKI, Aya

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 第8回日本生殖看護学会運営</b>(2010年度)            (b) 生殖看護に関する研究および研究成果発信の促進、研究者間の連携促進、対象者との交流を図る            (c) 看護職者・研究者・一般市民            (d) 看護職者・研究者・一般市民            (e) 徳島大学            (f) 芝崎恵</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 子ども虐待防止に関する公開ワークショップ</b>(2011年度)            (b) 徳島大学地域連携事業の一環で県下の高校生を対象に「子どもの虐待防止と十代の性」のテーマで講演。            (c) 徳島大学            (d) 徳島県下の高校生            (e) 徳島大学            (f) 芝崎恵</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 母性助産領域ケア検討会</b>〔2011-現年度〕            (b) 以下のテーマで県下の周産期医療関係者とのケア検討会を企画・実施。①「こころの問題を抱えた妊婦へのかかわり」(2011)、②「周産期医療関連施設間の連携」(2011)、③「高齢妊産婦への支援」(2012)            (c) 県下の周産期医療施設の助産師            (d) 県下の周産期医療関係者            (e) 高知県立大学            (f) 芝崎恵・松本鈴子・鈴木幹子・嶋岡暢希・岩崎順子</p>	<p>健康長寿センターにて、健康・看護に関わる事業を展開しています。ケア検討会では、周産期における看護や連携の向上に取り組んでいます。</p> <p><b>[01]</b>  <b>(a) 母性助産領域ケア検討会</b>            (b) 周産期医療関係者とのケア検討会を企画・実施。            (c) 県下の周産期医療関係者            (d) 県下の周産期医療関係者</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            母性・助産看護、避妊、自己決定、性的予防行動、交際男女の相互作用</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            (1) 若年層の避妊・性感染症予防について(*)            (2) 助産教育方法の研究(*)            (3) 不妊を抱える女性に関する研究            (a) 岩崎順子・芝崎恵・福井早苗・松本鈴子・嶋岡暢希・川上美樹子・大塚多賀子・関正節：看護基礎教育における助産師学生への臨床指導者の教育法、第53回母性衛生学会、p241、2012            (b) 芝崎恵・岸田佐智：性的予防行動における20代男女の相互作用、第26回日本助産学会誌、p88、2012            (c) Aya SHIBASAKI: An Investigation into Contraception and Sexually Transmitted Infections Worldwide - from person and National Perspectives、14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)、2011.2            (d) 岸田佐智・芝崎恵・井内めぐみ・福田沙代：不妊に関わる不安を抱えた女子大学生の産婦人科受診に対する葛藤、第9回日本不妊カウンセリング学会学術集会、2010.6            (e) 芝崎恵：避妊・性感染症に関する研究における男女の関係性に焦点をあてた研究の動向、第6回中国四国思春期学会学術集会、2010.7</p>

# 下元 理恵 SHIMOMOTO, Rie

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会</b> (2012年度)            (b) セルフケア理論            (c) 病院施設・高知県看護協会・大学教員            (d) 施設の看護師            (e) 高知県看護協会            (f) 下元理恵</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 専門分野(糖尿病)における質の高い看護師育成研修</b> (2012年度)            (b) 看護過程演習「看護過程による糖尿病患者と家族の看護の展開」            (c) 病院施設・高知県看護協会・大学教員            (d) 糖尿病看護に従事している看護師            (e) 高知県看護協会            (f) 下元理恵</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 看護研究エキスパート育成研修</b> (2011-12年度)            (b) 看護研究指導            (c) 病院施設・高知県看護協会・大学教員            (d) 臨床経験5年以上を原則とする施設の看護師            (e) 高知県看護協会            (f) 下元理恵</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 慢性期看護学領域における勉強会「慢性心不全患者の在宅療養の維持・継続を可能にするアプローチ」</b> (2012年度)            (b) 慢性期看護学領域の学びの場の共有など            (c) 病院施設・大学院生・大学教員            (d) 看護師、看護学部生、大学院生、大学教員            (e) 高知県立大学看護学部            (f) 下元理恵・宮武陽子・山中福子・大西ゆかり</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 慢性期看護学領域ケア検討会</b> (2012年度)            (b) 慢性期看護学領域 学びの場の共有など            (c) 病院施設・大学教員            (d) 看護師・大学教員            (e) 医療法人 恕泉会 リハビリテーション病院 すこやかな杜            (f) 下元理恵・宮武陽子・山中福子・大西ゆかり</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 慢性期看護に関する研究・活動</b>            (b) 慢性の病いととも生きることを支える看護介入の開発やその普及活動など            (c) 病院施設など            (d) 慢性の病いをもつひと、看護職者など</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 慢性期看護の普及・啓発活動</b>            (b) 健康長寿センターの健康・看護に関わる事業としてリカレント教育や出前講座など            (c) 病院施設など            (d) 看護職者など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード 慢性期看護、看護指導者の能力</p> <p>○相談可能な領域            (1) 慢性疾患をもつひとの療養支援に関すること            (2) 看護師の on-the-job training に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 看護師の on-the-job training における指導者の能力            (2) 外来看護師と病棟看護師が行なう退院支援            (3) 慢性疾患患者の身体感覚に関する研究(*)</p>

# 首藤 ひとみ SHUTO, Hitomi

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) とさっ子健康診査事業</b> (2011-12年度)            (b) 生活習慣病予防のための健診(身長・体重・尿検査・腹囲測定・血圧測定・診察・血液検査)の企画を行った。また、ストレスとリラクゼーションに関する体験セミナーを企画し、健診時に実施した。            (c) 土佐市職員            (d) 土佐市に住所を有する小学校5・6年生            (e) 土佐市保健福祉センター            (f) 首藤ひとみ・石川麻衣・池添志乃・荒牧礼子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 子育て支援事業：赤ちゃん同窓会</b> (2010-12年度)            (b) 「赤ちゃん同窓会」は、①高知医療センター NICU を退院した子どもへのフォローアップとファミリーケアの継続、②家族同士の情報交換の場の提供を目的とし、平成13年度より年1回開催してきた事業である。            (c) 高知医療センター NICU スタッフ            (d) 高知医療センター NICU を退院された患者・家族            (e) 高知医療センター            (f) 首藤ひとみ・中野綾美・佐東美緒・高谷恭子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 病気を抱えた子どもと家族に関する研究・普及活動</b>            (b) 病気を抱えた子どもと家族への支援に関する研究やその普及活動など            (c) 看護職者等            (d) 看護職者等</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 小児看護学領域ケア検討会・リカレント教育</b> (2010-12年度)            (b) 地域の看護職者等を対象とし、病気を抱える子どもと家族への支援に関する講義や、参加者の方々と意見交換を行った。            (d) 看護師・養護教諭・保育士・栄養士・大学院生等            (e) 高知県立大学内            (f) 首藤ひとみ・中野綾美・佐東美緒・高谷恭子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            小児看護、子ども、母親、父親、親になる、医療的ケア</p> <p>○相談可能な領域            (1) 病気を抱えた子どもと家族への支援について            (2) 医療的ケアの必要な子どもの両親への支援について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 医療的ケアの必要な子どもの両親への支援に関する研究            (2) 子どもの臓器提供に直面した家族への支援に関する研究</p>

**高谷 恭子**

TAKATANI, Kyoko

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 指導者研修会：保健師助産師看護師等実習指導者講習会</b> (2011-現年度)            (b) ロイ看護論の講義担当            (c) 病院施設・高知県看護協会・大学教員            (d) 病院施設の看護師            (e) 高知県看護協会(年1回)            (f) 高谷恭子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教員対象講習：教員免許状更新講習</b> (2011-現年度)            (b) 開設講座における「病気をもつ子どものフィジカルアセスメントと復学支援」と実技演習担当            (c) 養護教諭・大学教員            (d) 小学校・中学校・高校の養護教諭            (e) 高知県立大学看護学部            (f) 小児看護学領域担当：高谷恭子・中野綾美・佐東美緒・首藤ひとみ</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 団体役員「こうちこども救急ダイヤル推進委員会」の委員会活動への参画</b> (2011-現年度)            (b) こうちこども救急ダイヤル(#8000)事業の委員としてその啓発活動に参画            (c) 高知県看護協会・高知県・病院施設            (d) 幼い子どもを育てる親、高知県看護協会職員、医師、看護師、行政関係者、大学教員、施設管理者            (e) 高知県看護協会(年数回会議あり)            (f) 高谷恭子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 修了生の支援活動：小児看護専門看護師の開発活動支援・看護相談室</b> (2010-現年度)            (b) 小児看護専門看護師による事例検討など            (c) 小児看護専門看護師・大学院生・大学教員            (d) 小児看護専門看護師・大学院生・大学教員            (e) 高知県立大学看護学部(年2回)            (f) 高谷恭子・中野綾美・佐東美緒・首藤ひとみ</p>	<p><b>[01] 社会貢献活動</b>            (a) 子どもの健康問題に対する課題や取組みに関する研究・教育活動            (b) 子どもの夜間救急体制整備(#8000)の参画、子どもの健康問題に対する子ども自身や親への教育的な関わりやその普及活動など            (c) 高知県看護協会などの職能団体、自治体など            (d) 幼い子どもをもつ家族、#8000関係者、病院施設職員など</p> <p><b>[02] 地域貢献を含めた研究・活動</b>            (a) 小児看護学の普及・開発活動            (b) 健康長寿センター事業の一環として、慢性状態の子どもや家族が主体的に生きることを支援する家庭―病院―学校生活を営むことに関する勉強会や相談会、並びにリカレント教育、公開講座等の開催・運営            (c) 病院施設・学校・自治体・職能団体など            (d) 慢性状態にある子どもや親を含む地域住民、病院施設職員、学生、教職員、看護職者など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            小児看護、慢性状態、思春期の子ども、家族、地域生活、看護ケア</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 病気をもつ子どもや家族の地域生活への支援・意思決定のプロセスを支えること            (2) 健康な子どもや家族に関すること</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 慢性状態にある思春期の子どもと親が辿る軌跡に関する研究(*)            (2) 病気をもつ子どもの地域生活に関する研究            (3) 病気をもつ子どもを育てる親への支援に関する研究            (4) 脳死状態の子どもをもつ家族の意思決定(臓器移植を含めた看取りについて)を支える研究</p>

**島山 卓也**

HATAKEYAMA, Takuya

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 日本精神科看護技術協会常任理事</b> (2009-現年度)            (b) 情報センター事業、こころの健康出前講座プロジェクト、学会再編プロジェクト、これからの精神科看護を考えるプロジェクト、認定看護師教育、看護研究指導、地域住民のこころの健康支援            (c) 看護職者・病院・厚生労働省・自治体・大学            (d) 看護職者・地域住民など            (e) 東京都・北海道・高知県など            (f) 島山卓也</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県看護協会における教育活動</b> (2011-現年度)            (b) 看護研究指導・アサーション・実習指導者講習会            (c) 病院・看護師            (d) 看護師            (e) 高知県看護協会            (f) 島山卓也</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 精神科病院における看護教育支援</b> (2007-現年度)            (b) 看護倫理、患者の隔離・身体拘束等の行動制限、精神科薬物療法に関する看護、事例検討その他            (c) 病院・看護師            (d) 看護師            (e) 公益財団法人井之頭病院・公益財団法人曾我病院社会医療法人近森会近森病院第二分院・医療法人社団精華園海辺の杜ホスピタル・医療法人社団青溪会駒木野病院・医療法人社団玄洋会道央佐藤病院など            (f) 島山卓也</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知県立大学看護相談室・リカレント講座・健康長寿センター事業の運営</b> (2011-現年度)            (b) 精神看護専門看護師による事例検討、卒業生・看護福祉専門職を対象とした講演会など            (c) 精神看護専門看護師・病院            (d) 精神看護専門看護師・重症急性看護専門看護師および卒業生・看護医療専門職者            (e) 本学            (f) 島山卓也・野嶋佐由美・畦地博子・田井雅子・槇本香</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) リカレント講座・看護相談室事業として行う看護・保健医療職を対象とした実践-相談-研究の支援</b>            (b) 対応の難しいケースに関する看護実践-相談-研究のコンサルテーション            (c) 職能団体・病院            (d) 看護職・保健医療専門職</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 健康長寿センター事業として行う地域住民のメンタルヘルス向上のための普及・啓発活動</b>            (b) こころの健康に関する学習会・相談会など            (c) 職能団体・自治体・学校・企業・町内会など            (d) 地域住民</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            精神科看護・経験の探求・質的研究デザイン</p> <p>○相談可能な領域            (1) こころの健康に関すること            (2) 精神看護の実践-研究に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 精神科病棟の病棟文化に関する研究(*)            島山卓也：精神科慢性期開放病棟における看護行為に伴う“制限”の要素とその構造、日本精神保健看護学会誌19巻1号            (2) 精神障がい者の権利を守るための研究(*)            島山卓也：精神看護における権利擁護と臨床倫理—臨床看護師の視点から、日本精神保健看護学会誌18巻1号            (3) 精神看護の実践に関する研究(*)            島山卓也他5名：精神科看護師が開放観察を実施する際に生じる困難さの要因についての分析、日本精神科看護学会誌47巻1号            島山卓也・野嶋佐由美：長期間にわたって行動制限を受けていた患者が行動制限の緩和に至るまでの看護介入の特徴、高知県立大学紀要看護学部編第62巻            (4) 看護職の経験の意味を探求する研究(*)            島山卓也：精神科保護室の看護ケアに関する教育支援ガイドラインの作成、平成23~24年度科学研究費助成事業「研究活動スタート支援」</p>

# 榎本 香 MAKIMOTO, Kaori

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 精神看護学領域リカレント事業</b> (2011-現年度)            (b) 精神医療に関する啓蒙活動、当事者・支援者の視点から語りを聞く講演会など            (c) 精神科看護師・精神科病院            (d) 高知県内の医療職者・学生・地域住民            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 榎本香・野嶋佐由美・畦地博子・田井雅子・畠山卓也</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教職員免許状更新講習会</b> (2012年度)            (b) 「子どものうつ」担当            (c) 養護教諭            (d) 小・中・高校の養護教諭            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 精神看護学領域：榎本香・畦地博子・田井雅子・畠山卓也</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 精神科看護師対象研修会</b> (2011-現年度)            (b) 「急性期における家族支援」担当            (c) 日本精神科看護技術協会高知県支部            (d) 精神看護専門看護師・重症急性看護専門看護師            (e) 聖ヶ丘病院            (f) 榎本香・野嶋佐由美・畦地博子・田井雅子・畠山卓也</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 精神看護専門看護師の啓発活動支援：看護相談室</b> (2011-現年度)            (b) 精神看護専門看護師による事例検討            (c) 精神看護専門看護師・病院            (d) 精神看護専門看護師・重症急性看護専門看護師            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 榎本香・野嶋佐由美・畦地博子・田井雅子・畠山卓也</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) セルフケア理論研修会</b> (2012年度)            (b) セルフケア理論に関する講義            (c) 病院            (d) 精神科看護師            (e) 高知県内の病院            (f) 榎本香・畠山卓也</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 精神科看護師との教育・研究活動</b>            (b) 精神看護に関する教育・研究            (c) 職能団体・病院            (d) 精神看護実践に携わる看護専門職</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 精神看護の普及・啓発活動</b>            (b) 健康長寿センター事業の一環として、こころの健康に関する学習会・相談会・出前講座・リカレント教育・公開講座などの開催            (c) 学校・自治体・職能団体など            (d) 学生・地域住民・看護者</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            精神科看護、心理的距離</p> <p>○相談可能な領域            (1) 精神疾患をもつ人の健康・生活を支えることに関して            (2) 精神看護の実践-研究に関して</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 精神科看護師の患者との心理的距離のもち方に関する研究(*)            (2) エンパワメントモデルガイドラインを用いた介入に対する評価研究            (3) 精神科看護師のアカウンタビリティに関する研究</p>

**升田 茂章**

MASUDA, Shigeaki

看護学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県看護協会エキスパート研修</b> (2008-09/11年度)            (b) 高知県の臨床5年以上の看護師に、グループ担当者として、グループワーク等を通じ看護研究計画書作成から、データ収集、評価までの研究指導を行った。</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県看護協会エキスパート研修</b> (2012年度)            (b) エキスパート研修が円滑にすすむように、大学の窓口担当者として研究の進行状況等の確認を行った。</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 家族看護ケア検討会</b>            (b) 高知県内の看護職者を対象とした家族看護についての事例検討会の企画運営</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 看護学部公開講座の運営補助</b>            (b) 高知県の医療職者を対象としたフィジカルアセスメント等の公開講座の運営補助</p>	<p>○健康長寿センターにて、健康・看護に関わる事業を行います。公開講座やリカレント教育を行っています。地域の健康課題についても、家族看護を中心に健康長寿センターとともに取り組んでいく予定です。</p>
	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[05]</b>  <b>(a) 包括的連携事業</b>            (b) 高知医療センターとの家族看護の勉強会の企画運営委の補助</p>	<p>○<b>キーワード</b>            看護技術、家族看護、セクシュアリティ</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 基礎看護・看護技術            (2) 家族看護</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 疼痛緩和に用いられる看護技術の効果の検証            (2) 注射痛を緩和するための看護技術の開発            (3) 泌尿器科系がん患者のセクシュアリティに関する研究</p>

# 神原 咲子 KANBARA, Sakiko

看護学研究科・特任准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 外国人に対する生活・健康相談、講演</b> (2010-現年度)            (b) 来日年数の短い外国人に対する健康相談、医療職者に対する異文化理解の仕方など「日本における外国人への医療サービスの現状と課題」            (c) 国際交流協会、外国人支援ボランティア            (d) 外国人支援ボランティア対象地域の保健医療職、一般住民など            (e) 姫路市・明石市・高知市・南国市            (f) 神原咲子・学内担当者</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域独自の減災の在り方を考える活動</b>            (b) 地域の健康被害想定調査とその結果に基づいた対策の提案            (c) 自治体・地域自主防災組織            (d) 地域住民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 生活習慣病予防に関する研究・活動</b>            (b) 生活習慣病に対する課題の探究と解決に向けての活動            (c) 自治体・企業            (d) 地域住民</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 就労者に対する生活習慣病予防のための・健康相談、講演</b> (2005-現年度)            (b) ①現在開発中の質問紙を用いて日頃気をつける食事のクセやメタボリックシンドロームの基礎的な知識「ナゼ食べ過ぎるの? 食行動について考える」「メタボリックシンドロームにおける栄養指導による行動変容」「健康に影響をおよぼす食行動」、②「地域・職域・家庭における健康支援と生活改善」、③「栄養教育と行動療法」            (c) 産業医・事業所衛生管理者            (d) 就労者            (e) 国内事業所            (f) 神原咲子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 地域の減災活動推進</b> (2012-現年度)            (b) 「明日の災害に備えるには」: 地域の被災推定、予想される健康被害に関する調査及びそれに基づいた減災活動の推進            (c) 国際交流協会・外国人支援ボランティア            (d) 外国人支援ボランティア対象地域の保健医療職、一般住民など            (e) 姫路市・明石市・高知市・南国市            (f) 神原咲子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 西播磨結核・感染症診査協議会委員</b> (2007-12年度)            (b) 感染症の患者の入院命令や入院期間の延長、就業制限等に関し、必要な事項を審議した。            (c) 赤穂健康保健福祉事務所            (d) 西播磨地区住民            (e) 赤穂市            (f) 神原咲子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            公衆衛生、減災、健康行動、ニューカマー、パブリックヘルスコミュニケーション、国際保健医療</p> <p>○相談可能な領域            (1) 社会的・文化的特性を考慮に入れた生活習慣病予防の推進について            (2) 災害に強く立ち向かう街づくり</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 就労者の生活習慣病に影響を及ぼす課題の探究(*)            (2) アジアにおける生活習慣病予防モデルの構築(*)            (3) 地域災害に対する社会的・文化的特徴の比較と減災の在り方の検討(*)            (4) 2型糖尿病患者家庭における出張栄養指導の試み            (5) シックハウス症候群の自覚症状に関連する要因の検討ー岡山県の築6年以内の一戸建てと集合住宅ー            (6) 留学生の受診行動に影響を及ぼす要因            (7) 新型インフルエンザの意識と備え            (8) 日本在住外国人における防災リテラシーの現状と課題            (9) 東日本大震災3ヶ月後における夏季衛生対策            (10) インドネシアジョグジャカルタの糖尿病患者における都市部と山間部の受療行動</p>



# 弘末 美佐 HIROSUE, Misa

看護学部・特任助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 県民介護講座「看取りの介護を考える～自宅で最期を迎えるために～」(2012-現年度)</b>            (b) 自宅で最期まで過ごしたいという思いをかなえる為に必要なこと、大切なことを学び、考えることを目的とした県民向け公開講座を年3回開講。            (c) 高知県社会福祉協議会・黒潮町(第3回)・一般県民</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 在宅看取りをテーマにした研究・普及活動</b>            (b) 在宅看取りに向けた地域ネットワークの構築など            (c) 自治体・関係団体など            (d) 看護職・一般県民など</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県看護協会・地域看護委員会における地域看護活動の推進に関する事業(2012年度)</b>            (b) 地域看護ブロック会において、県内各地域の退院調整や在宅看護にかかわる看護職や保健職が、自分の活動する地域の現状や問題を検討し、課題解決に向けた取組みにつなげることを目的とする。            (c) 高知県看護協会・病院看護師・保健師・訪問看護師            (d) 高知県内の看護職            (e) 高知県内            (f) 藤田冬子・弘末美佐(地域看護委員会委員長)</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            在宅緩和ケア、終末期がん患者、がん看護、自己実現、自分らしさ</p> <p>○相談可能な領域            (1) 在宅緩和ケアに関すること、壮年期がん患者の在宅看取りなど            (2) 遺族ケアに関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            在宅療養する終末期がん患者の自己実現や自分らしさをテーマにした研究</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 日経ラジオ「薬学の時間」による全国の薬剤をはじめ薬学関係者等のための生涯学習(2012年度)</b>            (b) 公益社団法人日本薬剤師会編集員会では、薬剤師の生涯学習の場として、日経ラジオ「薬学の時間」の企画を行い、知識導入目的で短波放送を行っている。            (c) 公益社団法人日本薬剤師会・日経ラジオ社            (d) 全国の薬剤師をはじめとした薬学関係者            (e) 日経ラジオ社で収録をし、全国放送            (f) 弘末美佐</p>	

# 杉原 俊二 SUGIHARA, Syunji

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン</b> (2009-現年度)            (b) 高知県教育員会の委嘱で、県内のスクールソーシャルワーカー(SSWer)に対する助言や支援            (c) 各市町村のSSWer、小学校・中学校の教諭、市町村教育委員会の指導主事など            (d) 各市町村のSSWer、小学校・中学校の教諭、市町村教育委員会の指導主事など            (e) 高知県内            (f) 杉原俊二・西内章・西梅幸治・加藤由衣</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 保健所での子育て相談</b> (2002-08年度)            (b) 1歳6か月、3歳児健康診査のフォローアップ、「育てにくさ」を抱えた保護者への支援、保健師や教師へのスーパービジョン            (c) 保健所保健師、児童相談所児童福祉司、幼稚園・小学校・中学校教諭、保育所保育士            (d) 保健所保健師、児童相談所児童福祉司、幼稚園・小学校・中学校教諭、保育所保育士            (e) 岡山県内の保健所(高梁保健所・新見保健所など)            (f) 杉原俊二</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) うつ経験者への回復期支援</b>            (b) 4テーマ分析法(自分史分析の一技法)を用いた、回復期にある「うつ経験者」への支援            (c) うつ経験者(当事者)、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師などの支援者            (d) 高知県内</p>
	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 社会福祉協議会への支援</b> (1993-99年度)            (b) 地域福祉活動へのアドバイス、ソーシャルワーカー及びケアワーカーへのスーパービジョン、ホームヘルパー養成課程の講師            (c) 社会福祉協議会職員・ホームヘルパー(介護福祉士を含む)・ソーシャルワーカー・市町村職員・民生委員(児童委員)            (d) 社会福祉協議会職員・ホームヘルパー(介護福祉士を含む)・ソーシャルワーカー・市町村職員・民生委員(児童委員)            (e) 香川県内の市町社会福祉協議会            (f) 杉原俊二</p>	<p>○キーワード            子育て支援、KJ法、家族療法、ナラティブアプローチ、自分史分析</p> <p>○相談可能な領域            (1) 「育てにくさ」を抱えた親(保護者)への支援とその支援者へのスーパービジョン            (2) 学校に関わる児童・生徒とその家族、教諭に対する相談</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 家族療法・ナラティブセラピーの技法についての臨床的研究(*)            (2) セルフケアの臨床的研究(*)            (3) 学校における相談業務(*)</p>

# 田中 きよむ TANAKA, Kiyomu

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域福祉(活動)計画アドバイザー</b>(2006-現年度)            (b) 高知県内各市町村の地域福祉計画(行政策定)や地域福祉活動計画(社会福祉協議会策定)の策定や評価等に関するアドバイザー            (c) 市町村担当部署、市町村・高知県社会福祉協議会            (d) 市町村各地域住民            (e) 須崎市・土佐町・日高村・佐川町・土佐清水市・四万十町・安芸市・津野町・仁淀川町・香美市等の各市町村内の各地域集会所等            (f) 田中きよむ</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県介護ケア研究会</b>(2008-現年度)            (b) 高知県内の介護関係者等を対象として講演、実践発表、視察等を内容とする研究会            (c) 高知県内介護施設・事業所            (d) 施設・事業所職員、家族会、一般県民            (e) 高知県立大学、各施設等            (f) 田中きよむ</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) ホームレス支援と貧困問題を考えるこうちの会</b>(略称「ネットホップこうち」)(2010-現年度)            (b) 高知県内でホームレスの夜回り支援や調査・報告会・講演会等をおこなう。            (c) 県内大学教員・学生、医療福祉関係者、一般県民            (d) 県内のホームレスや生活困窮者            (e) 高知市内を中心とする市街地、高知県立大学等            (f) 田中きよむ</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 障害者問題研究会高知県支部</b>(2006-現年度)            (b) 障害者問題に関する学習会、講演会、調査、提言等をおこなう。            (c) 県内特別支援学校教員、障害者福祉施設職員等            (d) 特別支援学校教員・施設職員・一般県民            (e) 障害者問題研究会高知支部            (f) 田中きよむ</p> <p><b>[05]</b>  <b>(a) 高知県保育運動連絡会</b>(2006-現年度)            (b) 保育問題に関する学習会・講演会・提言等をおこなう。            (c) 県内保育所            (d) 県内保育所職員            (e) 高知県保育運動連絡会            (f) 田中きよむ</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 住民参加型地域づくりの推進アドバイザー</b>            (b) 県内各地域の住民活動の計画・実践・評価            (c) 市町村・社会福祉協議会・NPO・ボランティア団体            (d) 各市町村・地域の住民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域福祉・社会保障制度の学習・講演会講師</b>            (b) 地域福祉・年金・医療・介護・障害・保育・生活保護・貧困問題            (c) 市町村、社会福祉協議会、各福祉施設・団体            (d) 福祉関係職、当事者・家族、一般県民</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            地域福祉、社会保障、限界集落</p> <p>○相談可能な領域            (1) 地域福祉(活動)計画やあったかふれあいセンター、集落活動センター等を軸とする地域づくりや限界集落の生活支援課題            (2) 年金・医療・介護・障害・保育・生活保護等に関する制度の理解・学習</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築(*            (2) 住民主体の福祉型地域づくりの形成要因と発展プロセス(*            (3) 限界集落における高齢者の孤立問題と支援モデル(*</p>

# 長澤 紀美子

NAGASAWA, Kimiko

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) イギリスの保健医療福祉制度に関する活動</b> (2005-現年度)            (b) イギリスの保健医療福祉制度に関する研修・調査に関する助言や情報提供            (c) ①民間研究組織に属する研究者や社会福祉士・行政職員 (2006-12)、②開発途上国の行政職員 (2005) など            (d) 同上            (e) 名古屋市、横浜市            (f) 長澤紀美子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 女性福祉に関する活動</b> (2008-現年度)            (b) ①全国母子自立支援員研修 (2008)、②男女共同参画センター運営委員 (2006-09)、③DV被害者支援計画策定委員 (2012)            (c) 高知県            (d) 母子自立支援員・母子福祉関係行政職員等            (e) 高知市            (f) 長澤紀美子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) イギリスの保健医療福祉制度に関する研究</b>            (b) イギリスの行政評価制度、保健医療福祉制度等に関する調査依頼や研修            (c) 民間研究機関、行政職員、社会福祉士、保健医療職等            (d) 同上</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 女性福祉に関する研究</b>            (b) 女性福祉に関する研修            (c) 社会福祉士等女性に係わる専門職            (d) 同上</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 社会福祉士養成に関する活動</b> (2007-09年度)            (b) ①県社会福祉士会での研修 (2007-08年度)、②社会福祉士実習指導者養成研修 (2009年度)            (c) 社会福祉士            (d) 社会福祉士            (e) 高知県社会福祉士会等            (f) 長澤紀美子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            イギリス、国際比較、行政評価、欧米の介護システム、ケアの評価制度</p> <p>○相談可能な領域            (1) イギリスの保健医療福祉制度            (2) 行政評価制度            (3) 介護サービス評価制度</p> <p>○これまでの主な研究テーマ (*現在のテーマ)            (1) イギリスにおける行政評価 (特に保健医療福祉領域) (*            (2) ケアの質評価の国際比較、アウトカム評価の手法と課題 (*            (3) イギリスにおける患者参加            (4) インターナショナル・ソーシャルワークの特性と教育への応用            (5) IPE・IPWの地域実践モデルに関する研究 (*</p>

# 前山 智 MAEYAMA, Satoshi

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高校生のための公開講座</b> (2002-現年度)            (b) 高校生に社会福祉学部を紹介して、社会福祉に関する大学の授業を体験させる            (c) 高等学校の進路担当            (d) 高知県内外の高校生            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 前山智を含む社会福祉学部教員</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高校の総合学習授業への協力</b> (2002-11年度)            (b) 高校の総合学習授業の一環として高校生の進路を考えるうえで参考となるように社会福祉学部の概要と取得できる資格や就職先を紹介            (c) 高等学校の進路担当            (d) 高知県内の高校生            (e) 高知県内の高等学校 (高知西・中芸・高岡・高知東・丸の内高校等)            (f) 前山智</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) パソコンの講習</b>            (b) コンピュータリテラシーの授業内容に基づくワープロや表計算ソフトの講習            (c) 地域自治会や専門職能団体等            (d) 一般市民や専門職者等</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 福祉施設の運営支援</b> (2004-09年度)            (b) 地域の福祉施設の外部苦情委員            (c) 福祉施設            (d) 福祉施設の入居者            (e) 高知市            (f) 前山智</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            半導体材料、半導体表面、表面解析、シンクロトロン放射光、X線吸収分光法、X線吸収微細構造</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) Si 半導体や化合物半導体の表面構造            (2) シンクロトロン放射光を用いた表面解析技術</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 大学における情報教育(*)            (2) シンクロトロン放射光を利用した軟X線光電子分光法・軟X線定在法・X線吸収分光法による化合物半導体表面構造の解析            (3) シンクロトロン放射光用ビームラインや軟X線検出器の開発            (4) 実験室系X線吸収分析装置の開発</p>

# 丸岡 利則 MARUOKA, Toshinori

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域福祉活動</b> (2012－現年度)            (b) 高知県社会福祉協議会が主催する日常生活自立支援事業について、その契約締結審査委員会にて年間何回か出席して「契約締結」の有効性を審議。            (c) 県社協が任命する専門家の会議            (d) 高知県内の市町村社協が関与した契約締結の関わる事例を審査            (e) 県社協にて審査会議            (f) 丸岡利則</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域福祉活動</b> (2013－現年度)            (b) 高知県共同募金会の主催する募金活動などに参加            (c) 県社協や市社協などの合同            (d) 高知県内の市町村社協などの募金活動            (e) 高知市内での募金活動や会議            (f) 丸岡利則</p>	
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 地域福祉活動</b> (2007－現年度)            (b) 大阪府内にある作業所で、毎年(社会福祉法人)精神障害者「あけぼの福祉会」の年間の事業について監査を実施。            (c) 精神障害者作業所など法人が行っている前年度の事業について職員や税理士などとの会議            (d) 前年度の事業を監査            (e) 法人にて審査会議            (f) 丸岡利則</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            社会福祉施設の理論的な背景</p> <p>○相談可能な領域            社会福祉施設の理論的研究会</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            レジデンシャル・ケア研究</p>

**宮上 多加子**

MIYAUE, Takako

社会福祉学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) KOMIケアを活用した地域ケア連携への取り組みに対する看護職の意識</b> (2010-11年度)            (b) 地域ケア連携を目的としたKOMIケア理論とKOMI記録システムに関する研修会を受講した看護師に対して聞き取り調査を実施し、記録システム導入に関する意識と課題について整理した。            (c) 病院看護師・保健師・社会福祉学部教員            (d) 病院看護師            (e) 高知県立大学、高知市周辺地域の複数の病院            (f) 宮上多加子・黒田しづえ</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) KOMIケア理論と記録システムに関する研修のための教材開発と評価</b> (2011-現年度)            (b) 大学および地域の病院でのKOMIケア理論とKOMI記録システムに関する授業や研修会で活用できる映像教材を作成して活用し、教育研修効果について評価する。            (c) 病院看護師・保健師・社会福祉学部教員            (d) 社会福祉学部学生・病院看護師            (e) 高知県立大学、高知市周辺地域の病院            (f) 宮上多加子・黒田しづえ</p>	<p><b>[01]</b>            (a) KOMIケア理論とKOMI記録システムに関する研修と評価            (b) KOMIケア理論と記録システムに関する映像資料を用いた研修を企画実施する。            (c) 病院の看護部、福祉施設研修担当課            (d) 看護師・介護職員</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
	<p><b>○キーワード</b>            介護福祉、認知症、人材養成教育、KOMIケア理論</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 介護福祉に関する領域            (2) 生涯学習支援に関する領域</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 認知症を持つ人の家族介護            (2) 高齢者福祉施設職員のキャリア意識(*)            (3) 離職者を対象とした介護福祉人材養成教育における課題と成人学生の意識(*)            (4) KOMIケア理論を活用した人材養成教育(*)</p>

# 黒田 しづえ KURODA, Shidue

社会福祉学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護福祉教育の教材開発</b> (2009年度)            (b) 教材に動画を用いて、観察力を養うための効果的な教材の開発をする。            (c) 医療・福祉職者等            (d) 現任者・学生            (e) 神戸市内・高知市内            (f) 黒田しづえ</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 介護実践研修</b> (2006年度)            (b) 認知症介護の質の向上に資する実践量重視のカリキュラムを考案実施する。            (c) 介護関係職種            (d) 現職の介護職者            (e) 兵庫県内            (f) 黒田しづえ</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護福祉教材開発</b>            (b) 観察力を養うための効果的な教材の開発            (c) 医療・福祉職者            (d) 現任者・学生</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            介護、介護福祉士、介護教材</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            介護福祉</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            介護福祉士教育</p>



# 後藤 由美子 GOTOH, Yumiko

社会福祉学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) シルバーボランティア研究会</b> (2004-現年度)            (b) 要介護状態になっても誰かの役に立ちたいと願う高齢者にボランティア活動を保障し促進するための研究会            (c) 高齢者介護・看護関係者、高齢者介護施設、在宅介護事業所、地域ボランティア、社会福祉協議会            (d) 高齢者介護・看護関係者、施設職員、地域ボランティア、在宅介護者            (e) 大阪市・宝塚市            (f) 後藤由美子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高齢者虐待防止に関する支援</b> (2011年度)            (b) 要介護施設従事者等による虐待防止に関する研修            (c) 高齢者介護施設            (d) 高齢者介護施設職員            (e) 高知市            (f) 後藤由美子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知シルバーボランティア研究会</b>            (b) 要介護高齢者の活動支援など            (c) 高齢者介護・看護関係者、介護施設等            (d) 高齢者施設職員・在宅介護者等</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p><b>○キーワード</b>            介護労働、外国人介護士、介護人材雇用、異文化コミュニケーション、定住フィリピン人、認知症ケア、高齢者虐待</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 高齢者介護            (2) 認知症ケア            (3) 高齢者虐待</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 介護福祉に関する教育と人材確保に関する研究 (*)            概要：介護福祉士養成教育に関する研究及び介護の人材不足に関連して外国人による介護労働に関する研究            (2) 認知症ケアに関する研究 (*)            概要：高齢者虐待、認知症や要介護状態になっても最後まで地域生活を継続可能とするケアの在り方についての研究</p>

# 鈴木 孝典 SUZUKI, Takanori

社会福祉学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 障害者計画・障害福祉計画の策定に係る委員会の委員</b> (2009-現年度)            (b) 都道府県および市町村が作成する障害者計画、障害福祉計画の策定を学識経験者の立場から支援            (c) 高知県障害保健福祉課、高知市障がい福祉課            (d) 高知県域に住む障害をもつ人およびその関係者            (e) 高知県、高知市            (f) 鈴木孝典</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 精神保健福祉士・相談支援専門員など障害者福祉に係る人材の養成および人材養成のための研修会のプログラム評価</b> (2010-現年度)            (b) 相談支援専門員による事例検討の技術的な支援、新任精神保健福祉士の研修プログラムの企画、高知県相談支援従事者研修会のプログラムの統計的手法による評価の実施、および継続比較評価のためのモデルの開発            (c) 高知県障害保健福祉課・高知県中央東福祉保健所・高知県自立支援協議会人材育成部会・四国ブロック相談支援関係者連絡会・高知県精神保健福祉士協会ほか            (d) 精神保健福祉士、相談支援事業に従事する相談支援専門員、障害保健福祉に係る行政担当者など            (e) 高知県・高知市・愛媛県・徳島県・香川県            (f) 鈴木孝典</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 精神障害をもつ人の福祉的支援に係る調査研究に関する支援および技術的支援</b> (2006-現年度)            (b) ①香南市「精神障害のある方の地域生活ニーズ調査」への協力(2006年度)、②精神科医療機関および障害福祉サービス事業所での精神保健福祉士を対象とした研修会の講師(2006/12年度)、③高知県立大学社会福祉学部「リカレント教育講座」の講師(2006/12年度)など            (c) 高知県域の行政機関・精神科医療機関・障害福祉サービス事業所など            (d) 精神保健福祉士、その他精神保健福祉に係る専門職者・行政担当者など            (e) 高知県・高知市・南国市・香南市・香美市など            (f) 鈴木孝典</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 障害をもつ人の居住支援に係る技術的支援</b>            (b) 障害をもつ人の居住支援に係る支援の方法・技術・体制づくりのサポート            (c) 自治体・障害福祉サービス事業所・精神科医療機関など            (d) サービス提供責任者・サービス管理責任者・7相談支援専門員・世話人・ホームヘルパーなど</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 福祉サービスのリスクマネジメントに係る技術的支援</b>            (b) 福祉サービスに係るリスクマネジメントのための体制づくりのサポート、研修会の講師など            (c) 福祉サービス事業所・自治体など            (d) 施設管理者・サービス提供責任者など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            精神保健福祉、障害者福祉、アセスメント、モニタリング、リスク管理</p> <p>○相談可能な領域            (1) 障害をもつ人びととご家族を支援するサービスやしきみのこと            (2) 障害をもつ人びととご家族を支える方法や技術のこと            *ただし、(1)と(2)2について、個人的なご相談には応じかねます。            (3) 保健・福祉にかかわる施設・サービスにおけるリスクマネジメント            (4) 保健・福祉にかかわる調査・研究の方法            (5) 保健・福祉にかかわる事例研究の方法</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 精神障害者グループホームにおける包括的な支援評価のためのツール及びシステムモデルの開発(*)            (2) 障害者の地域生活支援に従事するソーシャルワーカーのための研修プログラム及び研修システムの開発(*)            (3) 医療機関における精神保健福祉士の介入方法モデルと活動評価に関する研究(*)            (4) 障害保健福祉サービスにおけるリスクマネジメント体制の構築に関する研究</p>

# 西内 章 NISHIUCHI, Akira

社会福祉学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) スクールソーシャルワーカー活用事業研修会</b> (2008-現年度)            (b) スクールソーシャルワーカーのスキルアップ研修(アセスメント・プランニングの方法、事例検討など)            (c) スクールソーシャルワーカー・小中学校教諭ほか            (d) 不登校・虐待・発達障害がある児童生徒・家庭・学校および地域住民への支援            (e) 高知県内のスクールソーシャルワーカー活用事業を実施している市町村(主に西部地域を担当)            (f) 西内章・杉原俊二・西梅幸治・加藤由衣</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高齢者虐待防止ネットワークの研修会</b> (2011-現年度)            (b) 高齢者虐待防止ネットワーク構築のための研修会(高齢者虐待の内容・対応方法・事例検討)            (c) 中土佐町地域包括支援センター            (d) 民生児童委員・居宅介護支援事業所・通所介護・訪問介護・警察・消防組合など、地域の高齢者に関わる施設・機関            (e) 中土佐町            (f) 西内章</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県内の医療ソーシャルワーカーに対する研修会</b> (2010/12年度)            (b) 事例検討・事例研究の関する研修会ほか            (c) 高知県医療ソーシャルワーカー協会            (d) 高知県内の医療ソーシャルワーカー            (e) 高知県内で実施            (f) 西内章</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知県内の精神保健福祉士に対する研修会</b> (2012年度)            (b) 事例検討および事例研究の方法に関する研修会            (c) 高知県精神保健福祉士協会            (d) 高知県内で活動する新人の精神保健福祉士            (e) 高知県内で実施            (f) 西内章</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) ソーシャルワークへの取り組みや研究</b>            (b) 事例検討、スキルアップ、連携の方法など            (c) ソーシャルワーカーなど            (d) スキルアップをめざすソーシャルワーカーなど</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 地域の福祉課題への取り組みや研究</b>            (b) 社会資源の検討、ネットワークの構築など            (c) 自治体、社会福祉に関連する団体など            (d) 福祉課題へ取り組む事業担当者など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p><b>○キーワード</b>            エコシステム、ソーシャルワーク、保健医療福祉の専門職連携、支援困難事例のチームアセスメント、地域支援ネットワークの構築</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) ソーシャルワークの視点や支援方法が必要となる保健医療福祉の実践課題について            (2) 社会福祉士やソーシャルワーカーなど専門職のスキルアップについて            (3) 過疎地域における地域支援ネットワークを構築する方法について</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) ソーシャルワークにおける生活のエコシステム状況の認識方法(*)            (2) 保健医療福祉をつなぐ地域支援ネットワークのアセスメント方法(*)            (3) チームアセスメントによるコンピューター支援ツールの開発(*)            (4) 独立型社会福祉士の開業システムの構築(*)            (5) 保健・医療・福祉専門職の連携            —Inter-professional Workを中心に—(*)</p>

# 西梅 幸治 NISHIUME, Koji

社会福祉学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) スクールソーシャルワークに関する活動</b> (2008-現年度)            (b) 不登校・いじめ・虐待などの問題を抱える子どもや家族への生活支援に関する活動(研修・スーパービジョン・研究会)            (c) スクールソーシャルワーカー・教育委員会職員・学校教員・スクールカウンセラー            (d) スクールソーシャルワーカー・教育委員会職員・学校教員・スクールカウンセラー            (e) 高知県            (f) 西梅幸治・杉原俊二・西内章・加藤由衣</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 社会福祉主事養成に関する活動</b> (2005-現年度)            (b) 社会福祉主事資格認定課程における研修(社会福祉援助技術論に関する講義・演習)            (c) 全国社会福祉協議会中央福祉学院            (d) 高齢者福祉施設職員・児童福祉施設職員・障害者支援施設職員・社会福祉協議会職員・福祉事務所ケースワーカー            (e) 神奈川県            (f) 西梅幸治</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) ソーシャルワーク教育・研修に関する活動</b> (2006-現年度)            (b) 社会福祉やソーシャルワークに関する研修や体験授業：①「コミュニケーションスキルの活かし方」(2007)、②「ソーシャルワークにおける理論と方法を考える」(2011)、③要約筆記者養成講座「社会福祉と人権」(2011)、④要約筆記者養成講座「社会福祉事業の知識」(2012)、⑤体験授業「社会福祉による支援ーソーシャルワークという方法ー」(2009)、⑥体験授業「社会福祉入門ーソーシャルワークという方法ー」(2010)、⑦体験授業「社会福祉分野で働くソーシャルワーカーの仕事」(2012)            (c) ソーシャルワーカー・社会福祉士・社会福祉関連従事者・高等学校            (d) ソーシャルワーカー・社会福祉士・社会福祉関連従事者・高校生            (e) 高知県            (f) 西梅幸治</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) ソーシャルワークに関する研究・研修</b>            (b) ソーシャルワーク理論や方法に関する研究や研修            (c) 社会福祉関連従事者            (d) 社会福祉関連従事者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) スクールソーシャルワークに関する研究・研修</b>            (b) スクールソーシャルワークに関連する研究や研修            (c) スクールソーシャルワーカーなど子ども・家庭福祉に関する専門職            (d) スクールソーシャルワーカーなど子ども・家庭福祉に関する専門職</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            ソーシャルワーク、生活支援過程と方法、エンパワメント、アセスメント</p> <p>○相談可能な領域            (1) ソーシャルワークに関する理論と方法            (2) コンピュータを利用したアセスメント            (3) スクールソーシャルワーク</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究            (2) コンピュータツールを用いた利用者協働によるアセスメント方法に関する研究            (3) スクールソーシャルワークにおける実践特性に関する研究            (4) 知的障害のある人への生活支援に関する研究            (5) インタープロフェッショナルワーク(専門職間連携)の特性に関する研究</p>

# 鳩間 亜紀子 HATOMA, Akiko

社会福祉学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 福祉・介護現場の実践研究の普及活動</b>            (b) 福祉や介護職が行う実践の評価や実践研究への支援            (c) 福祉施設            (d) 福祉・介護職等の実務者</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            高齢者福祉、介護事故、在宅、介護職の専門性、福祉・介護資格制度</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 介護事故            (2) 社会福祉士・介護福祉士資格制度</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            (1) 在宅高齢者に対する介護サービス中に起こる事故等の実態と要因の分析(*            (2) ホームヘルパーが行う生活援助の役割(*</p>

# 福間 隆康 HUKUMA, Takayasu

社会福祉学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 国家試験対策</b> (2012-現年度)            (b) 受験対策勉強会            (c) 職能団体            (d) 社会福祉士国家試験受験者            (e) 高知市            (f) 福間隆康、鈴木裕介、橋本力</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) リーダーシップ研修会</b> (2012年度)            (b) 社会福祉従事者へのリーダーシップ研修会            (c) 種別協議会            (d) 高齢者福祉施設職員            (e) 松山市            (f) 福間隆康</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) サービス品質向上の研究・普及活動</b>            (b) サービス品質向上のための研究・活動            (c) 自治体・業界団体等            (d) 社会福祉関係者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 障害者雇用の促進に関する研究・普及活動</b>            (b) 中小企業における障害者雇用促進のための研究・活動            (c) 自治体・業界団体等            (d) 業界団体関係者</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p><b>○キーワード</b>            サービスの質、顧客満足、人的資源管理、組織コミットメント、職務満足、モチベーション、キャリア志向、離転職意思、職務設計、組織構造</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 社会福祉法人の経営に関すること            (2) 社会福祉施設職員の人事管理に関すること            (3) 社会福祉施設職員のモチベーション向上に関すること            (4) 社会福祉施設における介護職員の定着に関すること            (5) 量的研究方法に関すること</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) サービス業における人材マネジメント・モデル構築に関する研究(*)            (2) 特例子会社の障害者雇用と人材マネジメント(*)            (3) サービスの質を規定するモデル構築に関する研究            (4) ヒューマン・サービスのクオリティ向上のためのマネジメントに関する研究            (5) 介護業務従事者の人材マネジメントに関する研究            (6) 福祉サービスの質の測定尺度の開発</p>

# 三好 弥生 MIYOSHI, Yayoi

社会福祉学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護職員現任研修</b>(2004-現年度)            (b) ①ホームヘルパー現認研修講師(2004/09/11)、            ②グループホーム介護職員のための研修講師(2010)            (c) 園部町シルバー人材センター・京都府認知症グループホーム協議会・伏見保健所醍醐支所・淡海グループホーム協議会            (d) 介護職員            (e) 京都府・滋賀県の各地            (f) 三好弥生</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 介護職員のキャリア開発支援システム普及推進モデル事業</b>(2008-09年度)            (b) ①ファーストステップ研修講師「介護職員の健康・ストレス管理」(2008)、②「職種間連携の実践的展開」(2009)            (c) 介護福祉士会            (d) 介護福祉士            (e) 京都府京都市・滋賀県大津市            (f) 三好弥生</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護福祉の研究活動</b>            (b) 高齢者のエンドオブライフ・ケア、医療的ケアの研究            (c) 自治体・介護福祉関係者・介護福祉教育関係者等            (d) 介護福祉にかかわる実務者、介護福祉利用者</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 外国人介護福祉士候補者への研修</b>(2009年度)            (b) インドネシア人介護福祉士候補者介護福祉導入研修助手            (c) 国際厚生事業団            (d) インドネシア人介護福祉士候補者            (e) ①国際交流基金関西国際センター(2009)、②富士箱根ランド(2009)            (f) 三好弥生</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            介護福祉、終末期高齢者、看取り、胃瘻栄養、介護職員</p> <p>○相談可能な領域            (1) 終末期高齢者の看取りに関すること            (2) 介護福祉における医療的ケアに関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 介護福祉における高齢者のエンドオブライフ・ケアの基礎研究(*)            (2) 介護福祉における「看取り」に関する教育(*)</p>

# 石川 由美

ISHIKAWA, Yumi

社会福祉学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県介護支援専門員実務研修</b> (2004-10年度)            (b) ファシリテーターとして事例検討における指導・助言を行った。            (c) 高知県社会福祉協議会、居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員、大学教員            (d) 介護支援専門員実務研修受講試験合格者            (e) 高知市            (f) 石川由美</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 四万十町介護支援専門員事例検討会</b> (2006年度)            (b) 講師としてグループスーパービジョンの手法を用いた事例検討の方法について講義と、事例検討における指導・助言を行った。            (c) 四万十町地域包括支援センター            (d) 四万十町内の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員            (e) 四万十市            (f) 石川由美</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知県主任介護支援専門員研修</b> (2007年度)            (b) 講師として「スーパービジョンの基礎と方法」において、模擬スーパービジョンの実施、「スーパービジョン演習」においてスーパーバイザー担当者への指導助言を行った。            (c) 高知県社会福祉協議会・大学教員            (d) 居宅介護支援事業所に勤務する経験年数5年以上の介護支援専門員            (e) 高知市            (f) 石川由美</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) リカレント教育講座</b> (2012年度)            (b) 「介護とは何かー介護福祉入門ー」講師            (c) 高知県立大学社会福祉学部            (d) 一般市民・介護業務従事者等            (e) 高知市            (f) 石川由美</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高齢者介護に関する研究や普及活動</b>            (b) 介護に関する知識や、根拠に基づいた安全で的確な介護の方法の普及等            (c) 介護サービス提供事業所・自治体等            (d) 介護業務従事者・一般市民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) ケアマネジメントに関する知識の普及</b>            (b) 居宅介護支援におけるケアマネジメントの知識、理解を深めるための活動            (c) 居宅介護支援事業所・自治体等            (d) 居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            介護支援専門員、介護福祉士、高齢者介護、介護福祉施設</p> <p>○相談可能な領域            (1) 高齢者介護における居宅介護支援の方法            (2) 認知症ケアに関する知識について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 介護福祉士を基礎職種とする介護支援専門員の職務認識            (2) 看護基礎教育課程における学生の看護実践能力の課題に関する報告            (3) KOMI ビギナーズ研修から記録システム導入までの課題            (4) 介護支援専門員の要援護者に対する防災支援における現状と課題(*)            (5) 中山間地域の在宅要援護者に対する防災支援についての介護支援専門員の認識に関する研究ー高知県香美市物部地区における調査からー(*)</p>





# 鈴木 裕介 SUZUKI, Yusuke

社会福祉学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業</b> (2011-現年度)            (b) ①学生の臨地実習・教員の臨床研究における場の提供、②基礎教育・継続教育・大学院教育における相互協力、③教員によるコンサルテーションの実施、④臨床実践能力(知識・技術・態度)及び実践モデル等開発・検証に関する研究、⑤県民・市民の健康づくりに資する活動の共同開催、⑥その他看護・社会福祉連携活動の実施            (c) 医療ソーシャルワーカー・医師・看護師            (d) 地域住民・医療ソーシャルワーカー            (e) 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター            (f) 鈴木裕介</p>	<p><b>[01]</b>            「主な地域貢献・社会貢献活動実績」の内容に準ずる</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            医療ソーシャルワーク、医療福祉</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 医療分野におけるソーシャルワーク実践            (2) 医療と社会福祉の連携のあり方について</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 医療ソーシャルワークにおける心理的援助機能について (*)            (2) 医療社会事業史</p>

# 田中 眞希 TANAKA, Maki

社会福祉学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 社会福祉法人ミレニアム障害者支援施設アドレス・高知 第三者委員</b> (2012. 5-現年度)            (b) 社会福祉法人ミレニアム障害者支援施設アドレス・高知における苦情解決の第三者委員としての役割            (c) 社会福祉法人ミレニアム、障害者支援施設アドレス・高知など            (d) 社会福祉法人ミレニアム、障害者支援施設アドレス・高知、及びその職員・利用者など            (e) 社会福祉法人ミレニアム、障害者支援施設アドレス・高知内、及びその苦情解決において必要に応じた活動地域            (f) 田中眞希</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高齢者・障害者参加型によるQOL向上食品の開発研究(骨まで食べられる干物の研究)(平成22年度愛媛県産学官連携共同研究事業)</b> (2010. 11-2011. 3)            (b) 高齢者・障害者を調査対象とし、産官学が連携し、骨まで食べられる干物の開発を行った            (c) 愛媛県産業技術研究所・株式会社キシモト            (d) 高齢者・障害者など            (e) 聖カタリナ大学・愛媛県内など            (f) 田中眞希</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護福祉に関すること</b>            (b) 介護福祉に関する基礎知識・技術など            (c) 介護施設・事業所関係者など            (d) 介護施設・事業所関係者など</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 介護人材養成教育に関すること</b>            (b) 介護人材養成教育に関すること            (c) 介護施設・事業所関係者など            (d) 介護施設・事業所関係者など</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            介護福祉、介護人材、介護福祉士養成教育、介護福祉実習、身体障害児・者</p> <p>○相談可能な領域            (1) 介護福祉に関すること            (2) 介護人材養成教育に関すること            (3) 身体障害児・者の支援に関すること</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 離職者を対象とした介護人材養成教育(*)            (2) 介護福祉実習における実習指導のあり方に関する研究            (3) 身体障害者の外食における阻害要因に関する研究</p>

# 二本柳 覚

NIHONYANAGI, Akira

社会福祉学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 介護支援専門員事例検討会</b> (2008-12年度)            (b) ケアマネジャーだけでなく他専門職を交えた、地域内ケアマネジャーが抱える困難事例に関する事例検討会において精神保健福祉士の立場からコメントを行った。            (c) 地域内事業所に勤務しているケアマネジャー、看護師、医療ソーシャルワーカー、認知症介護指導者            (d) 地域内事業所に勤務しているケアマネジャー            (e) 愛知県尾張北部地域(1グループあたり6事例)            (f) 二本柳覚</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県児童福祉司講習会</b> (2012年度)            (b) 市町村の児童相談体制の強化を目的とした、児童福祉司取得のための講習会のうち「障害者福祉論」を担当した。            (c) 高知県児童家庭課            (d) 県内保育士・保健師等            (e) 高知県立大学            (f) 二本柳覚・杉原俊二・西内章・西梅幸治</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 日本福祉大学ケアマネジメント研究セミナー</b> (2012年度)            (b) 分科会C「ケアマネジメント技術教育のあり方を考える」を担当し、介護支援専門員の質の向上が叫ばれる中、ケアマネジメント技術教育をどのように進めていくべきなのか、グループワークを行う中で整理していった。            (c) 介護支援専門員・看護師・社会福祉協議会職員・大学教員等            (d) 地域のケアマネジャー・ケアマネジメント技術従事者            (e) 日本福祉大学            (f) 二本柳覚</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) ケアマネジメント技術教育に関する研究活動</b>            (b) より質の高いケアマネジメント技術者養成のための調査・研究            (c) 介護支援専門員・相談支援事業所等            (d) 介護支援専門員・相談支援事業所等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教育機関における精神保健に関する研究活動</b>            (b) 小学校～高校等における精神保健福祉についての教育活動に関する調査・研究            (c) 県内各教育機関等            (d) 県内各教育機関等</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
	<p><b>○キーワード</b>            社会福祉専門職養成、ケアマネジメント、精神保健福祉</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) ケアマネジメント技術教育に関する相談・教育効果についての分析等について            (2) 一般市民等に対する精神保健福祉に関する相談・精神保健福祉教育等について</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) 大学におけるケアマネジメント技術教育のあり方についての研究(*)            (2) 社会福祉専門職養成における実習教育のあり方についての研究(*)            (3) 地域住民の精神保健福祉に対する意識に関する調査研究(*)            (4) 地方自治体におけるスクールソーシャルワーク活動推進に関する研究(*)</p>

**橋本 力** HASHIMOTO, Chikara

社会福祉学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 医療・福祉・健康などに関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実</b>            (b) 高齢者福祉領域            (c) 自治体等            (d) 地域住民等</p> <hr/> <p>主な研究業績</p> <p>○<b>キーワード</b>            高齢者福祉、ケアマネジメント、介護支援専門員、インフォーマル・サポート</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 社会福祉分野における高齢者に対する支援について            (2) 介護支援専門員によるケアマネジメント実践について</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            介護支援専門員によるインフォーマル・サポートの活用について</p>

# 川村 美笑子 KAWAMURA, Mieko

健康栄養学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 保健医療分野に関わる研修会等</b>(1998-現年度)            (b) 食生活と健康に係る施策や基準・生活習慣・生活環境・食環境・生活リズム・脳機能・臨床介護の場における経口摂取の意義、実践の場における課題への対応やその解決への取り組み等、「食物を介した人間の生命の営み」「生活環境が生体に及ぼすしくみを理解した栄養学的対策」についての研修会や相談委員            (c) 高知県・高知市・市町村・高知県栄養士会・山口県栄養士会・岡山県栄養士会・島根県栄養士会・高知県薬剤師会・高知県リハビリテーション研究会・高知県医師会・産業保健推進センター他            (d) 栄養士・管理栄養士・保健師・看護師・薬剤師・医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・衛生管理者・自治体職員・一般企業職員            (e) 高知県内各地・松江市・山口市・岡山市            (f) 川村美笑子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地域の食・健康の課題に係る研究成果を社会システムの中に位置付ける研究・普及活動</b>            (b) 子供から高齢者までライフステージを基本に、食や健康の課題を栄養保健学・栄養生理学の視点から地域の特性を踏まえて捉えなおし、その成果を社会システムの中に位置付ける作業及び地域に暮らす住民に還元する研究・普及活動を行う。            (c) 保健・医療分野、教育分野に関わる専門家、自治体・業界団体関係者等            (d) 地域に暮らす人々</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 学校教育等に関わる研修会</b>(1998-現年度)            (b) 学校教育における食領域、技術・家庭科あるいは栄養に関する学習・教育についての研修会(免許認定・免許更新・一般講習会)            (c) 県市町村教育委員会、県市町村幼稚園・保育園連合会            (d) 小中高教諭(家庭科・栄養教諭)、幼稚園教諭、保育士、学校・自治体職員            (e) 高知県内各地            (f) 川村美笑子</p>	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 県政運営への提案・実施及び県公設試機関の研究評価等</b>(1998-現年度)            (b) 食を中心とする調査研究：①「文部科学省指定：食生活に関する教育実践事業」、②「健康日本21：高知県判よさこい健康プラン21策定」、③「地域栄養改善システム整備事業」、④「高知県特定プロジェクト：海洋深層水に係わる機能性食品の開発」、⑤「高知県野菜を用いた高齢者対応の摂食嚥下困難食の開発」、⑥「高知県研究等成果の評価」、⑦「食育や農業振興計画等の取り組みに係る施策・事業展開等の政策提案・実施・評価            (c) 高知県・高知県公設試機関・高知県教育委員会            (d) 高知県関係部局職員・食関連企業・高知県PTA連合会他            (e) 高知県内各地(主たるは高知市)            (f) 川村美笑子</p>	<p>○キーワード            健康づくり、生活習慣、食育、食環境、消化吸収、脳と栄養、食物因子、生理活性成分、ビタミン、ミネラル、栄養アセスメント</p> <p>○相談可能な領域            (1) 食物・食物成分の生理作用(生活習慣病予防効果)            (2) 食物中生理活性成分の体内動態と食物因子の影響            (3) 生活習慣や生活環境が食や食物成分の代謝に及ぼす影響            (4) 学校や職域・地域における食育や食環境整備・健康づくり活動            (5) 食事調査・評価・指導支援システムの開発と健康管理への応用</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 食環境は脳機能(こころ)にどのような変化を与えるのか。(*            (2) 加齢・生活リズムや栄養状態は食物の消化吸収や食物成分の動態にどのような影響を及ぼすのか。(*            (3) 人はなぜ経口的に食物をとらなければならないのか。            (4) 地域栄養学の志向(*</p>

# 村上 尚 MURAKAMI, Takashi

健康栄養学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b> 正しい知識を持った管理栄養士を育てることが、地域貢献・社会貢献だと考えております。</p>	<p><b>[01]</b> <b>(a) 疾病・病態生理学・細胞生物学などの講義・教育</b> (c) 高校生・教員・一般社会人</p>
	<p>主な研究業績</p> <p><b>○キーワード</b> 肥満、糖尿病、動脈硬化、癌、分子生物学、細胞生物学</p> <p><b>○相談可能な領域</b> (1) 肥満 (2) 糖尿病 (3) 疾患の病態生物学, (4) 細胞生物学</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b> (1) 脂肪細胞から分泌されるレプチンの生理的・病理的作用の解析 (2) マクロファージによるLDLの酸化機構の解析 (3) 1型グルコーストランスポーター遺伝子の細胞の癌化などによる発現上昇機構の解析 (4) 尿素サイクル構成酵素オルニチントランスカルバミラーゼ遺伝子の肝臓と小腸特異的発現機構の解析</p>

# 渡邊 浩幸 WATANABE, Hiroyuki

健康栄養学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知市教育研究会学校給食部会：夏の一研修</b>            (2012年度)            (b) 学校給食関係者への食に関する講演            (c) 高知市教育研究会            (d) 高知市内小学校給食関係教職員            (e) 高知市中央卸売市場・高知市            (f) 渡邊浩幸</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知大学土佐FBC</b> (2012年度)            (b) 食品機能に関する講義            (c) 高知大学            (d) 高知大学土佐FBC受講者            (e) 高知大学農学部            (f) 渡邊浩幸</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 食品の機能性探索</b>            (b) 食品の機能性探索と機能性食品開発            (c) 食品製造関連部署            (d) 食品関連企業</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 食品の加工</b>            (b) 食品の加工技術と方法確立            (c) 食品生産関連部署            (d) 食品関連企業</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 「食と健康」医農工連携人材育成事業(連続講座)</b>  <b>in SHIKOKU</b> (2011年度)            (b) 講義(食品の生体調節機能とトクホー発足から20年を振り返って一)            (c) 独立行政法人産業技術総合研究所四国センター・健康ものづくり研究会            (d) 講座受講者            (e) 高知県工業技術センター・四国内            (f) 渡邊浩幸</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 徳島県栄養士会研究教育協議会・学校研究教育協議会・集団健康管理協議会講演</b> (2011年度)            (b) 徳島県栄養士への食に関する講演            (c) 徳島県栄養士会研究教育協議会・学校研究教育協議会・集団健康管理協議会            (d) 徳島県内栄養士及び関係者            (e) 高知市中央卸売市場・徳島県            (f) 渡邊浩幸</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            研究、食品、開発、加工、成分、分析、機能性、衛生、農産物、水産物、脂質代謝、抗がん</p> <p>○相談可能な領域            (1) 食品成分分析・加工・衛生など、食品に関する一般的なことについて            (2) 食品の機能性の意義、法律に従った機能性の表示方法や機能性の評価方法について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 食品の加工と成分や機能性の変化(*)            ①茶の製造と機能性変化、②食品の乾燥と機能性変化、③種実類の加工と成分変化            (2) 脂溶性食品成分の機能性(*)            水に溶けにくく油に溶けやすい成分の分析と機能性評価            (3) 肥満が関係するうつ的行動と食品機能性分(*)            ①肥満を予防する成分の分析、②うつ的行動を抑える成分の分析            (4) 食用油の生理・生化学的特徴について            ①脂質を含む食品と食用油への応用、②栄養価や機能性の評価</p>



# 和田 安彦 WADA, Yasuhiko

健康栄養学部・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 医療健康情報など個人情報の統計活用</b> (1992/96-97/2007-09/10年度)            (b) 社会資源としての医療情報、健康情報を統計情報として活用する重要性を強調、「個人情報保護法」の誤った解釈による情報不活用の弊害を解消する活動            (c) 行政関係者、公衆衛生・疫学者            (d) 行政関係者、一般市民、管理栄養士            (e) 秋田県骨粗しょう症予防調査・教育事業 検討委員会(1992年度)、秋田県南秋田郡天王町情報システム委員会(1996-97年度)、兵庫県がん診療連携協議会がん登録部会(2007-09年度)、健康栄養学部リカレント教育講座「統計・疫学のツボ」(2010年度)            (f) 和田安彦</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 医療健康情報など個人情報の統計活用、根拠にもとづく健康情報の普及</b>            (b) リスクや疫学的考え方の普及、医療への過度の期待解消、平穏死など死生観の普及            (c) 公衆衛生・疫学関係者            (d) 学生</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 再生可能エネルギーの利用促進と環境問題、交通問題、健康問題の解決</b>            (b) 自転車等活用社会の実現            (c) 産業界、一般市民            (d) 学生、市民</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 科学的根拠にもとづく健康情報の普及</b> (2010-現年度)            (b) 正しい健康情報の普及、医療への過度な期待の解消、延命治療の現実を知ってもらう活動            (c) 行政関係者、公衆衛生・疫学者            (d) 行政関係者、一般市民、高校生            (e) 職場の健康講座(2010年)、県内高等学校(2011-12年度)            (f) 和田安彦</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 原発災害被災地の支援</b> (2000/11年度)            (b) 放射性物質汚染地域における住民の健康に関する相談や、陰膳法による食品中の放射線量の測定            (c) 地方行政職員、地域住民            (d) 地域住民、国民            (e) ベラルーシ国内(2000年)、福島県内(2011年)            (f) 和田安彦</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 産業保健の支援</b> (1999-2000年度)            (b) 産業保健に関する相談、講習会等            (c) 労働行政関係者            (d) 企業等の産業保健担当者            (e) 秋田産業保健推進センター(1999-2000年度)            (f) 和田安彦</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード            生活習慣病予防、疫学、環境、教育と健康、職業ストレス、格差社会、上水道、合併処理浄化槽</p> <p>○相談可能な領域            (1) 予防可能な病気の疫学(保健統計)            (2) 医療情報や国家統計情報の活用(臨床疫学、がんなどの疾病登録、医療安全、医療倫理、個人情報保護と公共の利益)            (3) 健康長寿(カロリー制限による寿命延長)            (4) 遺伝疫学(お酒に強い・弱いと健康)            (5) 環境衛生学(下水処理、上水道、食品の流通・保存方法と健康など)            (6) 経済発展と健康水準向上の歴史(教育格差)</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 住民コホートの追跡による、予防可能性のある死亡の要因の検討(*)            (2) 過労死の予防と職業性ストレスの軽減、健康格差の縮減の試み            (3) 糖尿病と視神経萎縮、難聴などを来す小児慢性疾患(Wolfram症候群)の実態把握と社会的支援            (4) 医療における職業歴等の患者背景情報の活用            (5) エネルギー制限による老化遅延・寿命延長のメカニズム            (6) 歯ごたえのある食品活用による歯科保健(*)            (7) 紫外線による職業病の予防(*)</p>

# 荒牧 礼子 ARAMAKI, Reiko

健康栄養学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 土佐市連携事業・とさっ子健診</b>(2012年度)            (b) 将来の生活習慣病予防のため、子ども自身が自分の健康に気を付け、よい食習慣を身につけることができるように、健康診査・クイズで学ぼう栄養表示を実施した。            (c) 土佐市役所健康福祉課健康づくり班            (d) 土佐市に住民票をもつ小学5・6年生            (e) 土佐市保健福祉センター(2012年度は1回)            (f) 荒牧礼子・石川麻衣・池添志乃・首藤ひとみ</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 健康長寿公開講座</b>(2012年度)            (b) 「バランスのとれた食事」について、バランスのとれた食事にするには、何に留意したら良いのかをバランスカードを用い学習する。            (c) 仁淀川町地域包括支援センター            (d) 吾川郡仁淀川町在住の一般市民            (e) 仁淀川町中央公民館            (f) 荒牧礼子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 土佐市連携事業・とさっ子健診</b>(2013年度-)            (b) 将来の生活習慣病予防のため、子ども自身が自分の健康に気を付け、よい食習慣を身につけることができるように、健康診査・クイズで学ぼう栄養表示を実施する。            (c) 土佐市役所健康福祉課健康づくり班            (d) 土佐市に住民票をもつ小学5・6年生、中学生</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教育現場における実践栄養プログラム</b>            (b) 生活習慣病予防を目的とした実践栄養学教育            (c) 小・中学校教育委員会、            (d) 小学生・中学生・高校生を対象とした実践栄養学の習得を目的とした活動</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 健康長寿体験型セミナー</b>(2012年度)            (b) 食の体験セミナー：食品の包装に記載されている栄養表示について知ろう            (c) 高知県幡多福祉保健所・土佐清水市社会福祉協議会            (d) 一般市民            (e) 四万市立中央公民館・土佐清水社会福祉センター(2012年度は2回)            (f) 荒牧礼子・沼田聡</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 地域雇用創出推進講座</b>(2012年度2箇所)            (b) 栄養に関する講話2時間を2回コース。栄養摂取と生活習慣病予防について講義。            (c) 土佐市地域雇用創出協議会・四万十町地域雇用創出協議会            (d) 土佐市・四万十町一般市民            (e) 土佐市・窪川(2012年度は4回)            (f) 荒牧礼子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○キーワード、            栄養表示、生活習慣病予防、野菜摂取、災害栄養学</p> <p>○相談可能な領域            (1) 小学校・中学校・高等学校における栄養表示・教育プログラム            (2) 災害栄養学</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 料理書籍から見た食生活スタイルの検討            (2) 野菜摂取量増加を目指した栄養教育プログラムの構築            (3) 栄養表示</p>

# 川口 順子 KAWAGUCHI, Junko

健康栄養学部・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県の伝統工芸品に関する研究・普及活動</b>            (b) 土佐和紙の普及活動            (c) 自治体・業界団体関係者等            (d) 和紙生産にかかわる実務者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高齢者の生活環境の研究・改善活動</b>            (b) 衣生活を中心とした支援            (c) 自治体・社会福祉団体等            (d) 社会福祉関係者・一般等</p>
	<p>主な研究業績</p>

# 島田 郁子 SHIMADA, Ikuko

健康栄養学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a)「子育て応援団ーすこやか」(2008-12年度)、全国私立保育園研究大会・高知大会・食育の部分科会・助言者(2009年度)、第33回全国自治労保育集会・食育分科会・講師(2012年度)</b>            (b)食育キッチン・キッズランドにおける食育活動、食育実践発表についての助言、地域と連携した食育について講演            (c)RKC高知放送・大学教員・院および学部学生、全国私立保育園、全国自治労            (d)未就学児および就学児とその保護者、私立保育園保育士・栄養士、公立保育園保育士            (e)高知ぢばさんセンター、高知県立文化センター、高知会館            (f)島田郁子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a)日本栄養士会災害支援活動(2011年度)、給食管理者研修会(2011年度)、高知県栄養士会生涯学習および行政・研究教育栄養士協議会(2011-12年度)</b>            (b)岩手県下閉伊郡山田町・釜石市における災害支援活動、香川県中讃保健福祉事務所開催の研修会での講演、高知県栄養士会における講演            (c)日本栄養士会スタッフ・山田町役場・釜石市職員、香川県中讃保健福祉事務所健康づくり担当者、高知県栄養士会            (d)山田町・釜石市地域住民、中讃管内給食施設、高知県栄養士会会員            (e)岩手県下閉伊郡山田町・釜石市、香川県丸亀市、高知県高知市            (f)島田郁子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a)ゆず製品を用いたレシピ開発([2011-現年度])</b>            (b)香美市物部町産業振興計画におけるゆず製品を用いた料理開発とレシピ編集            (c)香美市物部町            (d)香美市物部町地域住民他            (e)レシピ開発は高知県立大学            (f)島田郁子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a)給食経営管理における品質管理・衛生管理・作業管理</b>            (b)顧客および従業員満足度の高い給食の提供が可能な施設のあり方・ネットワークの構築            (c)自治体・業界団体関係者等            (d)共通テーマを持つ実務者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a)JDA-DATリーダー(日本栄養士会災害支援チームリーダー)(2012年度-)</b>            (b)災害地域での栄養管理支援活動            (c)日本栄養士会            (d)災害地域、災害に関する危機管理を準備中の給食施設</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○キーワード            給食経営管理、新調理システム、給食の品質管理・衛生管理、咀嚼・嚥下食、食育、イスラム教による断食の影響</p> <p>○相談可能な領域            (1)管理栄養士が目指す給食経営管理システムの構築            (2)給食施設における品質管理・衛生管理・作業管理            (3)管理栄養士して施設で行うべき危機管理-食事供給・備蓄・災害食開発</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1)高齢者施設における食肉品質改良剤を用いた給食の検討(*            (2)保育園における食物アレルギー児の実態とその課題・災害時の対応について(*            (3)ゆず製品を用いたレシピ開発(*</p>

# 西岡 道子 NISHIOKA, Michiko

健康栄養学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>            (a) <b>地域食材を利用した食品の調理・加工</b> (2012年度)            (b) 食品の調理特性や地域食材を用いた調理・加工について概説            (c) 土佐FBC            (d) 食品関連企業従事者・農業従事者・一般市民・大学院生等            (e) 南国市            (f) 西岡道子</p> <p><b>[02]</b>            (a) <b>市販果汁飲料を用いたレシピの検討</b> (2009年度)            (b) 高知県の市販果汁飲料の販売促進に向けたレシピの検討            (c) 食品会社            (d) 一般市民等            (e) 高知市            (f) 西岡道子・彼末富貴・学生</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 魚介類に含まれるビタミンB<sub>12</sub>の調理変化に関する研究</b>            (b) 加熱調理における魚介類や魚肉加工品に含まれるビタミンB<sub>12</sub>の損失について分析            (c) 自治体・食品関連企業等            (d) 食品関係者・一般市民等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 食品の調理変化について</b>            (b) 食品の調理特性や調理変化に関する研究            (c) 自治体・食品関連企業等            (d) 食品関連企業従事者・一般市民等</p>
<p><b>[03]</b>            (a) <b>バランスの良い食事をとるために</b> (2005年度)            (b) バランスの良い食事をとるためにはどのようなことに気をつければ良いのか概説            (c) 管理栄養士・栄養士            (d) 管理栄養士、栄養士、食に関する関心が高い一般市民等            (e) 高知市            (f) 西岡道子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○<b>キーワード</b>            魚介類、ビタミンB<sub>12</sub>、調理損失、調理特性</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 魚介類に含まれるビタミンB<sub>12</sub>について            (2) 加熱調理における魚肉ビタミンB<sub>12</sub>含量の変化について            (3) 食品の調理特性について</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            (1) 魚肉各部位に含まれるビタミンB<sub>12</sub> (*)            (2) 魚肉および魚肉加工品のビタミンB<sub>12</sub>栄養特性(*)            (3) 加熱調理における魚肉ビタミンB<sub>12</sub>含量の分析(*)</p>

# 廣内 智子

HIROUCHI, Tomoko

健康栄養学部・講師

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 学校教育への直接的支援 (2010-現年度)</b>            (b) ①大学出前講座・小津高校「食生活と健康について」(2010)、②土佐女子高等学校・大学出前講座「臨床栄養と食生活の関係」(2011)、③健康教育講座「貧血予防の食事について」(2010)、④学校給食部会夏の1日研修「災害と食に関すること」(2011)、⑤高知短期大学「災害食と栄養管理に関する内容」(2011)、⑥健康教育講座「知って得する健康的な食生活ー10年後のあなたのからだは大丈夫?ー」(2011)、⑦高知県栄養士会生涯学習研修会「自治体および教育機関における備蓄食料に関する調査について」(2011)、⑧行政・研究教育栄養士協議会 合同研修会「自治体の食糧備蓄に関する全国調査について」(2012)            (c) 高等学校教諭・大学教員・高知県教育委員会・高知県栄養士会            (d) 高校生・大学生・栄養士実務者            (e) 高知市            (f) 廣内智子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 慢性疾患料理教室</b>            (b) 糖尿病や腎疾患など慢性疾患を有する患者に対し、食事パンフレットを利用した料理教室を開催する。高知医療センターと高知県立大学健康栄養学部の連携事業である。            (c) 高知医療センター栄養局            (d) 高知医療センターの患者および地域住民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 土佐市3地区の災害時の</b>            (b) 糖尿病や腎疾患など慢性疾患を有する患者に            (c) 高知医療センター栄養局のスタッフ            (d) 高知医療センターの患者および地域住民</p>
	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 一般市民・栄養士実務者への公開講座 (2009-現年度)</b>            (b) ①高知県の若年者の生活習慣改善事業「夏休み! 親子でスリムキャンプ」における栄養指導(2009)、②高知県の若年者の生活習慣改善事業「夏休み! 親子でスリムキャンプ」における栄養指導(第1回・第2回フォローアップ企画)(2009)、③大川村つぼみ保育園での子育てガイダンス「幼児期の栄養」(2011)、④県民公開講座「認知症予防の食事について」(2010)、⑤「栄養バランスの良い食生活について」(2010)、⑥「自治体で備蓄されている災害食の現状ー食物アレルギー患者への対応ー」(2011)、⑦「認知症予防に良い食事」(2011)、⑧「認知症予防の食事について」(2011)、⑨「食の安全性ー正しい食生活をおこなうためにー」(2012)、⑩「きたるべき南海地震に備え今すべき食支援とは?」(2012)、⑪高知県女性防火クラブ連絡協議会研修会の講演「災害発生後の栄養管理と災害食の選定方法」(2012)            (c) 高知県教育委員会・高知県消防政策課・自治体            (d) 一般市民・栄養士実務者            (e) 高知市・伊野町・大川村・土佐市・須崎市・仁淀川町・梶原町            (f) 廣内智子</p>	<p>○キーワード            食物アレルギー、災害食、東日本大震災、災害時要援護者、栄養・食生活支援、自治体</p> <p>○相談可能な領域            (1) 災害時の栄養・食生活支援について(食糧選定時における留意点など)            (2) 食物アレルギー表示に関する現状と動向            (3) 認知症予防によい食事について</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 菓子類と麺類におけるアレルギー表示の現状            (2) 日本の公立大学における災害対策の現状            (3) 東日本大震災発生直前の自治体の災害時食糧備蓄の現状調査            (4) 東日本大震災が自治体の食糧備蓄体制に与えた影響(*)</p>

# 田中 守 TANAKA, Mamoru

健康栄養学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 学校教育・地域住民への直接支援</b> (2011-12年度)            (b) ①高知小津高等学校出前講義「コレステロールのお話一体に良い、悪いコレステロール知っていますか?」(2011)、②健康長寿出前講座「認知症を予防する食事」(2011)、③高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会事業公開講座「食の安全性ーただし食生活をおこなうためにー」(2012)、④高知県立大学健康栄養学部・高知県立大学公立大学法人災害対策プロジェクト公開講座補助「きたるべき南海地震に備え、今すべき食生活支援とは?」(2012)、⑤土佐市立土佐南中学校・高岡中学校出前講義「味覚の不思議」(2012)            (c) 高等学校教諭・中学校教諭・自治体職員・多ノ郷公民館職員・高知県立大学職員・自衛隊・企業団体・新聞社            (d) 中学校・高校生・須崎市住民・高知市住民・医療従事者・大学教員・大学生            (e) 高知市・土佐市・須崎市・高知県立大学            (f) 佐藤厚・島田郁子・廣内智子・田中守</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 産学官連携事業</b>            (b) 災害食開発の取組み            (c) 一般企業・自治体            (d) すべての方々</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 災害時の栄養・食支援に関する研究・普及活動</b>            (b) 災害時の栄養・食支援に関する普及・向上のための研究・活動            (c) 自治体・病院・企業・すべての方々            (d) 自治体・病院・企業・すべての方々</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 東日本大震災・食支援活動</b> (2012. 7. 6-7. 8)            (b) 食環境調査、支援物資の詰め込み、物資搬入            (c) 日本栄養士会・山田町役場職員・ボランティア            (d) 岩手県山田町地域住民            (e) 岩手県山田町            (f) 田中守</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) カレンダー作成</b> (2011年度)            (b) 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会健康栄養連携部会「夢見る食のカレンダー作成」            (c) 大学教員・大学職員・医療センター栄養局員・新聞社            (d) すべての方々            (e) 高知県立大学・高知医療センター            (f) 佐藤厚・田中守・廣内智子</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 産学官連携事業</b> (2012年度)            (b) 災害食開発の取組み            (c) 株式会社高南食品・株式会社mimoto・産業振興センター            (d) すべての方々            (e) 高知県立大学・高知市            (f) 佐藤厚・田中守・廣内智子・島田郁子</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            食物アレルギー、食物依存性運動誘発アナフィラキシー、小麦、マウス、抗アレルギー、ペプチド、発症メカニズム、災害栄養、災害食</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 学校教育における食・栄養などに関する教育・学習についての教育プログラム・授業方法・教材や授業向上について            (2) 災害時の栄養・食支援に関する情報提供など            (3) 食物アレルギーに関する情報提供など</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            (1) マウスモデルを用いた小麦依存性運動誘発アナフィラキシーに関する研究            (2) 抗アレルギーペプチドの探索及びアレルギー症状の抑制メカニズムの解明            (3) 災害時の栄養・食支援に関する研究</p>

# 水島 直子 MIZUSHIMA, Naoko

健康栄養学部・助教

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 親子でスリム教室</b>(2012年度)            (b) 肥満予防および改善のための食事・運動に関する教室            (c) 医師・管理栄養士            (d) 肥満が気になる児童とその保護者            (e) 高知市            (f) 水島直子</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県世界糖尿病デー市民公開講座</b>(2012年度)            (b) 糖尿病の病態・治療法および食事療法の工夫について講演            (c) 医師・看護師            (d) 一般市民            (e) 高知市            (f) 水島直子</p> <p><b>[03]</b>            (a) 高知SDM研究会(2010年度)            (b) 糖尿病の食事療法と栄養指導方法について講演            (c) 医師            (d) 医師            (e) 高知市・安芸市・須崎市・香南市            (f) 水島直子</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 第26回日本消化器学会四国支部市民公開講座</b>(2004年度)            (b) 消化器疾患の病態・治療法および術後の食事療法について講演            (c) 医師・看護師            (d) 一般市民            (e) 高知市            (f) 水島直子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 栄養相談方法に関する研究・普及活動</b>            (b) 各種疾患の改善と予防のための食事療法や、行動変容モデルの栄養相談への活用方法について            (c) 医療・介護従事者            (d) 医療・介護従事者</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○<b>キーワード</b>            行動変容、栄養相談、糖尿病、栄養管理、特定健診・特定保健指導</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 行動変容をもたらす栄養相談について            (2) 食と健康に関する講演</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b>(*現在のテーマ)            行動変容モデルを活用した栄養指導(*)</p>



# 彼末 富貴 KANOSUE, Fuki

健康栄養学部・助手

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知県水産物PRキャンペーン</b> (2010-現年度)            (b) 親子おさかな料理教室            (c) 高知県            (d) 小学生親子            (e) 高知市中央卸売市場            (f) 彼末富貴</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 嶺北地域アクションプラン</b> (2012-現年度)            (b) 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取り組み            (c) 高知県嶺北高校・懶れいほく未来            (d) 高校生・大学生など            (e) 高知県立大学            (f) 彼末富貴</p>	
	<p>主な研究業績</p> <p>○<b>キーワード</b>            伝統食、調理、地産地消、魚食</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            (1) 食材の利用方法の検討            (2) 調理実習を伴う食育</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            土佐の伝統食</p>

# 川村 真美 KAWAMURA, Mami

健康栄養学部・助手

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) ものづくり総合技術展において研究成果公表</b> (2012年度)            (b) カヤ種子の機能性の検討および栗の品質保持方法の検討            (c) 高知県・高知県産業振興センター            (d) 食品会社・県産品販売会社・一般住民など            (e) 高知市            (f) 川村真美・渡邊浩幸</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 高知県工業技術センター平成23年度研究支援活動報告会での展示発表研究の協力</b> (2011年度)            (b) 柑橘類の機能性に関する研究            (c) 高知県工業技術センター            (d) 食品会社・県産品販売会社・一般住民など            (f) 川村真美・渡邊浩幸</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 健康維持における栄養・食べ物の重要性についての話</b>            (b) 生活の質QOLを維持し、健康寿命を延伸するための食の重要性の啓蒙と普及活動            (c) 一般住民            (d) 地域住民組織など</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 高知女子大学生生活科学部主催 健康フォーラム2006・2007の開催協力</b> (2006-07年度)            (b) 生活の質QOLを維持し、健康寿命を延伸するための食の重要性の啓蒙と普及活動の講演会            (c) 一般住民、栄養士・管理栄養士などの専門職            (d) 一般住民、栄養士・管理栄養士などの専門職            (e) 高知市            (f) 川村真美・笠原賀子</p>	<p>主な研究業績</p> <p>○<b>キーワード</b>            食品、食品成分、機能性成分、機能性食品、栄養機能性食品、動物実験</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            食品機能性の定量</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            食品に含まれる機能性成分の有用性についての検討</p>

**沼田 聡** NUMATA, Satoshi

健康栄養学部・助手

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 子育て応援団「すこやか」食育キッチン</b> (2009-現年度)            (b) 子供たちと一緒に簡単な料理を作ることを通して、料理の楽しさや料理に使用する高知野菜などの食材について興味を持ってもらう。また、保護者に対して子どもの食事に関する相談などを調査している。            (c) RKC高知放送局・高知広告センター            (d) 高知県内の子どもおよびその保護者            (e) 高知県高知市ちばさんセンター(年1回)            (f) 沼田聡・島田郁子</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高感度自己抗体検出法を用いた自己免疫疾患の早期診断に関する研究</b>            (b) 高感度自己抗体検出法を用いて、健常者の中から自己抗体の早期発見を行い、早期診断・早期治療へとつなげるための研究・活動            (c) 医療関係者・行政            (d) 一般市民</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p>○<b>キーワード</b>            酵素免疫測定法(免疫機能である抗原抗体反応を利用した蛋白質(ホルモンやアレルギー・抗体など)の濃度測定法)、自己抗体</p> <p>○<b>相談可能な領域</b>            抗体検出法の開発</p> <p>○<b>これまでの主な研究テーマ</b> (*現在のテーマ)            インスリン自己抗体を高感度に検出する酵素免疫測定法の開発(*)</p>

# 一色 健司 ISSHIKI, Kenji

地域教育研究センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 室戸海洋深層水の特性把握および機能解明に関する研究</b> (1998-2000年度)            (b) 微量元素による室戸海洋深層水の特徴の解明            (c) 高知県および高知県内外の研究機関            (d) 室戸海洋深層水の産業的利用者            (e) 高知市・室戸市            (f) 一色健司</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) おもしろワクワク化学の世界 '10高知化学展の企画・運営・出展</b> (2010年度)            (b) 化学の重要性・面白さ・不思議さを伝えるための演示実験及び実験体験を提供する企画の実施            (c) 高知県内大学・高専教員、企業関係者、JSTイノベーションサテライト高知            (d) 小・中学生及びその保護者、高校生、一般市民            (e) 高知市            (f) 一色健司・團野哲也</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 移動博物館「豊かな森の住人たち」の企画・開催</b> (2011年度)            (b) 生物多様性が高い森林の保全の方策を考える機会を提供するために、四国の山地に生息する野生鳥獣に関する知見をパネル及び実物標本で紹介。高知県立大学が保有する動物標本を整理し公開。            (c) 特定非営利活動法人環境の杜こうち            (d) 高知県立大学学生・教職員・一般市民            (e) 高知県立大学池キャンパス            (f) 一色健司・堀内和美</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 高知市民の大学・講師</b> (1992/95/2002年度)            (b) 最新の研究成果や研究動向を踏まえた環境問題の解説            (c) 高知市中央公民館            (d) 一般市民            (e) 高知市            (f) 一色健司</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 地球・地域環境に関する研究・普及活動</b>            (b) 水圏環境の基礎的研究、成果普及による環境理解の促進、地域環境資源の活用            (c) 大学・学術団体            (d) 一般市民</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 理科教育・環境教育およびこれらに関わるリテラシー教育の推進</b>            (b) 公開講座・出前講座・体験学習などの実施・協力および教育プログラム・教材開発            (c) 教育委員会・教育関係諸団体            (d) 児童・生徒・学生、教育関係者、一般市民</p>
	<p><b>主な研究業績</b></p>
	<p><b>○キーワード</b>            水圏環境、微量元素、スペシエーション(状態解析)、環境動態解析、超高感度分析、濃縮分離、クリーン分析、理科教育法、中等理科教育、環境教育</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1) 水圏環境を中心とした環境と物質循環過程            (2) 水圏中の微量元素の環境指標としての意義            (3) 地域における水圏環境の解析と評価            (4) 環境水中の微量元素の分析法            (5) 超微量元素のクリーン分析技術            (6) 理科・自然科学教育、環境教育            (7) 理科・自然科学分野におけるリテラシー</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1) 水圏の微量元素の分析化学的研究(*)            (2) 水圏の物質循環に関する地球化学的研究(*)            (3) 高知県の水圏の化学環境に関する研究(*)            (4) 理科教育カリキュラムや教育方法の改善(*)            (5) 新規な微量元素分析法の開発と応用            (6) 理科教育・環境教育等における情報ネットワークの活用</p>

# 宇野 浩三 UNO, Hirozo

地域教育研究センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 住まい・まち・環境教育研修会</b> (2001-現年度)、  <b>技術・家庭科教育研修会</b> (1995-99/2004/05年度)            (b) 学校教育における住まい・まち・環境領域または技術・家庭科に関する学習・教育についての、授業向上のための授業内容・授業方法・使用教材等の研修会            (c) 中学校教諭・高等学校教諭・自治体研究者・建築実務者・一般市民・大学教員            (d) 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・教員養成課程学生・大学院生            (e) 北海道各地(札幌とそれ以外で計年2回。2001-)・四国4県(いずれかの県で計年1回。2007-)、江別市(年1~2回。1995-99/2004)・高知市(1回。2005)            (f) 宇野浩三</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 高知の伝統的建築デザイン・材料に関する研究・普及活動</b>            (b) 水切瓦・土佐漆喰などを生かした建築デザインのあり方の研究やその普及活動など            (c) 自治体・業界団体関係者等            (d) 住宅生産にかかわる実務者・一般居住者等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 福祉住環境の研究・普及活動</b>            (b) 福祉住環境の普及・向上のための研究・活動            (c) 自治体・福祉住環境コーディネータ団体等            (d) 福祉住環境コーディネータ・一般居住者等</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) 学校教育への直接的支援</b> (1996/2000/02/03年度)            (b) ①札幌南高等学校・家庭科住居特別講演会「生き方を豊かにする住居と住環境」(1996)、②北海道江別高等学校・家庭科授業「ひとり暮らしの住まい」ゲストティーチャー・アドバイザー(2002)、③鴨田小学校・総合的学習「森林公園のバリアフリーを考える」ゲストティーチャー「ユニバーサルデザインについて学ぼう」(2003)、④高知高等学校・大学講義体験講座「住宅の地方性を考える～高知の気候風土にふさわしい住まい～」(2003)、⑤このほか中学校の「環境学習」および高等学校の「住領域学習」の研究授業の授業展開案作成への参画(2000)、⑥工業高等学校の特別講演(1993)、など。            (c) 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・自治体研究者・建築実務者            (d) 小学生・中学生・高校生            (e) 札幌市・江別市・北広島市・白老町・高知市            (f) 宇野浩三</p>	<p>主な研究業績</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 建築実務者・一般市民への技術講習・住まいづくり講習</b> (1991-94/98年度)            (b) ①建築実務者への「北方型住宅の計画」技術講習、②一般市民への「北国の住まいづくり」講習、など。            (c) 自治体研究所・企業団体・新聞社            (d) 建築実務者・一般市民            (e) 札幌市・小樽市            (f) 宇野浩三</p>	<p>○キーワード            住まい・まち・環境教育(住教育)、住教育力、住宅の地方性、水切瓦、水切庇、大工職、左官職、福祉住環境、ユニバーサルデザイン、ワークショップ</p> <p>○相談可能な領域            (1) 学校教育における住まい・まち・環境などにかんする教育・学習についての教育プログラム・授業方法・教材や授業向上について            (2) 小学校・中学校・高等学校などでの、協働型の教育・学習のためのコーディネートなど            (3) 北海道型の住宅の空間性能や環境性能を他地域の住宅にとりいれる場合の利点・留意点など            (4) 高知の伝統的な建築デザインや建築材料などを考慮した住まいづくり</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 住教育に関する教育プログラム・教材開発およびその教育効果・有効性検証(*)            (2) 教師の住教育力の現状と向上方策(*)            (3) 水切瓦・水切庇の発祥・伝播・発展プロセスの解明および現況・課題など(*)            (4) 福祉住環境の現況および福祉住環境コーディネータの職能の現況・課題など(*)            (5) 日本各地の住宅・住様式・住意識等の現況・動向などの地域比較</p>

**清原 泰治**

KIYOHARA, Yasuharu

地域教育研究センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 須崎市民スポーツセンターの利用活性化</b>(2005年度)</p> <p>(b) 指定管理者の依頼を受けて、市街地から離れた場所にある大型体育館の利用活性化策を提言した。</p> <p>(c) すさきスポーツクラブ  (d) 須崎市民  (e) 須崎市  (f) 清原泰治・文化学部地域文化論演習学生</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 香美市における市民のスポーツ意識調査と総合型地域スポーツクラブの設立・運営</b>(2008-現年度)</p> <p>(b) 高知県体育協会の依頼を受けて、香美市民を対象に市民スポーツに関する意識調査を実施。その結果を受けて、高知県教育委員会と協力して香美市に総合型地域スポーツクラブ「クラブ香美ING」を設立した。現在も同クラブの運営委員として運営を担っている。</p> <p>(c) 教育委員会・総合型地域スポーツクラブ  (d) 香美市民  (e) 香美市  (f) 清原泰治</p> <p><b>[03]</b>  <b>(a) 中山間地域の活性化</b>(2011-現年度)</p> <p>(b) 地域住民の要請を受けて、香美市平山地区の地域交流施設「ほっと平山」の利用活性化に関わるとともに、平山地区の活性化を目指す事業を企画・提言し、地域住民と協力しながら実施している。「ほっと平山」の利用者増を目指して石窯を設置(2012)し、地域住民の交流の活性化を促す目的で地区運動会「平山大運動会」を復活させた。</p> <p>(c) 平山地区振興協議会、平山公民館、ほっと平山  (d) 香美市平山地区住民  (e) 香美市平山地区  (f) 清原泰治・文化学部地域文化論演習学生</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 地域スポーツ振興に関する講演</b>(2000-現年度)</p> <p>(b) 市民のスポーツ意識を高めるための講演活動  (c) 県市町村教育委員会等  (d) 高知県民等  (e) 高知県内各所  (f) 清原泰治</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) スポーツを通じた健康づくり・人づくり・まちづくりを目指す地域スポーツ振興への協力</b></p> <p>(b) 地域活性化を課題とする地域住民の要請を受けて、総合型地域スポーツクラブを含めた地域のスポーツ組織の設立や活性化策の提言、スポーツ振興計画の策定、地域住民への啓発活動などに協力できる。</p> <p>(c) 県市町村教育委員会・自治体関係者  (d) 地域スポーツに関心のある県民</p>
	<p>主な研究業績</p>
	<p><b>○キーワード</b>  地域スポーツ振興、スポーツ振興計画、スポーツ・イベント、スポーツ・ツーリズム、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ史</p> <p><b>○相談可能な領域</b></p> <p>(1) 地域スポーツの振興計画の策定や総合型地域スポーツクラブの設立に向けた事業(地域住民のニーズ調査を含む)  (2) スポーツ・ツーリズムの活性化  (3) 伝統的な地域スポーツ・イベントの記録</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b></p> <p>(1) 1950～1970年代の高知県における市町村民運動会の社会的機能に関する研究(*)  (2) 高知県の体育・スポーツ史  (3) 四万十川中流域のカヌー産業振興の方向性  (4) 中山間地域の理解を深めることを目指す大学教育プログラム(*)  (5) 高知県における近代スポーツの普及と伝統スポーツの衰退  (6) 本山町上関阿弥陀堂奉納相撲の記録</p>

**羽田 行男**

HANEDA, Yukio

地域教育研究センター・教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) スクールカウンセリング</b> (2002-11年度)            (b) 学校におけるカウンセリング            (c) 教育委員会            (d) 生徒・保護者・教員            (e) 公立中学校・都立高等学校            (f) 羽田行男</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 教育相談専門アドバイス</b> (2003-11年度)            (b) 児童・生徒のアセスメント・事例検討            (c) 都教育相談センター            (d) 児童・生徒・保護者・教員            (e) 都内公立小・中・高等学校および特別支援学校            (f) 羽田行男</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) 教育相談に関する活動</b>            (b) 学校・家庭における子どもの教育に関する全般的な相談            (c) 保育所・幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校、児童養護施設等            (d) 幼児・児童・生徒・保護者・教員・保育者等</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 発達相談に関する活動</b>            (b) 子どもの発達に関する全般的な相談            (c) 保育所・幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校、児童養護施設等            (d) 乳幼児・児童・生徒・保護者・保育者・教員</p>
<p><b>[03]</b>  <b>(a) 電話教育相談</b> (2001-2002年度)            (b) 電話による教育相談            (c) 都教育相談センター            (d) 子ども・保護者(親・親族)・教員等            (e) 都教育相談センター            (f) 羽田行男</p> <p><b>[04]</b>  <b>(a) 発達に偏りがある子どもへの支援</b> (2001-07年度)            (b) 発達障害児を対象にしたグループワーク・キャンプ            (c) NPO組織            (d) 児童・生徒・保護者            (e) 都内            (f) 羽田行男</p>	<p><b>主な研究業績</b></p> <p>○キーワード            臨床心理学、発達心理学、教育心理学、教育方法学、子育て、子育ち、教育相談、生徒指導、事例検討、ワークショップ</p> <p>○相談可能な領域            (1) 教育相談            ① 生徒指導に関して：児童・生徒理解、いじめ対応            ② 教育相談に関して：事例検討、保護者対応、教員のカウンセリング能力向上            (2) 発達相談            ① 発達障害に関して：子どもとその親への相談支援、家庭と学校間の連携構築            ② 教育方法に関して：発達に課題をもつ子どもに対する教育方法</p> <p>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)            (1) 教育相談における臨床事例にもとづいた研究(*)            (2) 障害児のための心理学的な教育方法の実証研究(*)            (3) ドゥクロリーの教育理論と教育実践に関する研究(*)            (4) 欧州における文化教育の動向研究</p>

**團野 哲也** DANNO, Tetsuya

地域教育研究センター・准教授

主な地域貢献・社会貢献活動実績	今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容
<p><b>[01]</b>  <b>(a) 家庭科教員リカレント講座</b>(2011年度)            (b)家庭科教育をはじめ、県内における高校や中学生が自立して健康で文化的な生活を営むために必要な生活力を涵養するための、教育支援の公開講座を実施した。主に衣・食・住・生活経営分野を対象に、現代の生活課題をとりあげ講義や実習を通じて考え、行動する生徒を育てるための教育力向上を図った。            (c)高知県教育委員会・高知県教育センター            (d)中高家庭科教員            (e)高知県立大学池キャンパスA101調理学実習室・高知県幡多総合庁舎会議室・高知市立自由民権記念館会議室・安芸商工会館3階教養室            (f)團野哲也・井本正人・川口順子・三浦要一・彼末富貴</p>	<p><b>[01]</b>  <b>(a) プラスチック成型加工における、不具合の解析</b>            (b)内容：機器分析を伴うコンサルティング            (c)想定連携相手：高知県工業技術センター            (d)想定活動対象：プラスチック加工企業</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) 植物染色(草木染)など天然染色に関する技術的問題解決</b>            (b)機器分析を伴うコンサルティング            (c)高知県工業技術センター            (d)染色加工企業・工芸染色家</p>
<p><b>[02]</b>  <b>(a) おもしろワクワク化学の世界'10高知化学展出展</b>            (2010年度)</p>	<p>主な研究業績</p>
<p>(b)液晶作成            (c)日本化学会中国四国支部            (d)小中高生            (e)高知会館            (f)團野哲也・一色健司(テーマは別)</p>	<p><b>○キーワード</b>            分光学、スペクトル、ナノファイバー、高分子、ポリマー、着装シミュレーション、着ごち</p> <p><b>○相談可能な領域</b>            (1)プラスチック成型加工における、不具合の解析            (2)植物染色(草木染)など天然染色に関する技術的問題解決</p> <p><b>○これまでの主な研究テーマ(*現在のテーマ)</b>            (1)固体高分子の分光学的キャラクタリゼーション(*)            (2)電界紡糸法によるナノファイバーの創製と構造解析、用途開発(*)            (3)貝紫染料の合成と染色性            (4)服の着ごちに関する着装シミュレーション</p>



## IV. 資料編



## 地域貢献・社会貢献活動等に関する学内シーズ調査についてのお願い

地域課題研究部会では2012年10月に、高知県内の約1200の公的機関・団体等にたいして、高知県立大学との連携・共同活動等についての実績・意向や、それぞれの機関・団体等が把握している地域課題等にかんする実態調査(学外ニーズ調査)をおこないました(回収数は432)。この調査結果については、2013年3月までに一応のとりまとめをおこない、2013年度のはやい機会に印刷・WEB等での公表をおこなう予定です。

上記学外ニーズ調査に関連して、地域貢献・社会貢献にかんする学内の実績や資源についての調査(学内シーズ調査)をおこなうことにいたしました。この学内シーズ調査は、地域教育研究センター地域課題研究部会が2012年度の中期計画事業の1つとして実施するものです。この調査結果は、2013年3月までに整理し、上記学外ニーズ調査とあわせて印刷・WEB等で公表したいと考えております。

なおこの学内シーズ調査は、産官学研究会で計画されている「**研究シーズ集**」のための調査とは目的・内容が(研究業績欄以外は)異なることを確認済みです。対外的な地域貢献・社会貢献等のために種々の体制整備をする必要のある時期にあり、種々の調査が重なり、各先生方におかれましてはたいへんご多忙のところなにかとご負担をおかけすることになりますが、調査の趣旨等をご理解いただき、下記の要領で本調査へのご協力をいただきますようにぶんよろしくお願い申し上げます。

この調査への回答の締切は**2013年1月11日(金)**です。調査票のⅠ・Ⅱ.とも、返送の際には、ファイル名の「〇〇〇〇」の部分をご自分の**フルネーム**で**上書き**して提出してください。

### 1. 調査対象

この調査には、**すべての教員**の方がご回答ください。ただし、**2012年度で退職予定**の方はご回答いただく必要はありません。

### 2. 調査の目的

**地域貢献・社会貢献活動**等にかんするこれまでの**実績**や**今後の可能性**などについて、学内教職員が**情報を共有**し、学外に対してもその**情報を公開**し、**新たな**地域貢献・社会貢献活動等のための連携等の関係をつくりだす契機とするためのものです。

### 3. 調査の内容

本調査は、他大学の大学研究者のみとの共同研究を**除く**、本学教員と**学外組織・個人等**との連携等による**地域貢献・社会貢献活動**等についての、これまでの実績および今後の可能性についての調査です。回答の作成要領は以下の通りです。

### 4. 調査データの取扱い

本調査によって提供されたデータは、**すべてそのまま**集約・整理して、学内および学外に**公開**します。公開については、印刷物として配布するほか、電子メールによる配信や大学ホームページへの掲載などを予定しています。

## 5. 調査への回答締切および提出方法

調査への回答の締切は**2013年1月11日(金)**です。締切日までに、本調査担当の地域教育研究センター・地域課題研究部会・宇野に、電子メール(unoh@cc.u-kochi.ac.jp)の**添付ファイル**で、提出してください。またこの調査についてのお問合せは、宇野宛に、電子メールでおこなってください。

## 6. 回答の作成要領

調査票は、

### I. 「高知県立大学地域貢献・社会貢献シーズ集2013」用シート

### II. 「地域貢献・社会貢献活動等アンケート票」

の2つです。

### I. 「高知県立大学地域貢献・社会貢献シーズ集2013」用シートへの記載方法

以下の(1)～(10)にしたがって記載してください。

(1) 回答していただきたい内容は、

(ア) **主な地域貢献・社会貢献活動実績**（ご自分がかかわって**これまでにおこなった**学外組織・個人等との連携等による地域貢献・社会貢献活動）

(イ) **今後可能な地域貢献・社会貢献活動**（要請等があれば**今後**学外組織・個人等との連携等によって**実施可能な**地域貢献・社会貢献活動）

(ウ) **主な研究業績**

なお、上記(ア)(イ)にいう**学外組織**とは、①都道府県・市町村・教育委員会等の公共的な組織・個人、②病院・社会福祉施設などの公益的な組織・個人、③小学校・中学校・高等学校などの学校教育組織・個人、④企業等の民間組織・個人、⑤民間研究者組織・個人、⑥その他各自の判断で地域貢献・社会貢献にあたりと判断した連携等にかかわる組織・個人、とお考えください。

(2) この調査に回答された内容は、すべてそのまま公開しますので、調査項目として指定されているものでも、**公開できないもの**については**記入しない**でください。

(3) この調査の主目的は情報の学内での共有および学外への公開ですので、専門外の、とくに一般の方にもその内容や意義などが理解できるよう、**わかりやすく平易な表現**で記述してください。

(4) **日本語以外の言語**を用いる場合には、かならずその語または文の直後に( )をつけて、その( )のなかに適切でわかりやすい**日本語訳**または**説明**を書いてください。

(5) **専門用語**やあまり一般的でないと思われる用語等については、その語の直後に( )をつけて、その( )のなかに**わかりやすい説明**を書いてください。

(6) 回答された記述内容について、調査担当者の判断で、説明等の**加筆**をお願いする場合がありますので、その場合にはご協力ください。

(7) 回答していただく内容のうち**(ア)**については、その**実施時期**等に制限は設けませんので、これまでのご自分の**実績すべて**が該当するとお考えください。ただし記載できるのは**所定の様式の範囲内**ですので、ご自分の判断で、(実施年度に関係なく)**主なもの**(または**重要**)と思われるものから順に、様式の範囲内で記載してください。**(イ)**については、**(ア)以外**のもので、これまで実績はないが今後要請等があれば**実施可能なもの**を記載してください。

(8) 回答していただきたい2つの項目(ア)(イ)について、記載事項は以下の通りです。記載の仕方は、「**記入例**」を参照してください。

(7) 「**主な地域貢献・社会貢献活動実績**」の記載事項

各活動ごとに、**01** から**通し番号**をつけて、以下の(a)～(f)の項目について記載してください。

(a) **テーマ**[年度]：活動内容をあらわすテーマ等の名称(正式名称でなくてもかまいません)と活動年度を記載してください。活動年度は西暦で「xxxx年度(単年度の場合)」「xxxx-xx年度(連続している複数年度の場合。終了年度が2012年度で、2013年度以降は継続の予定がないものは「現年度」ではなく「12(または2012)年度」と記載してください)」「xxxx/xx/xx年度(連続していない複数年度の場合)」「xxxx-現年度(連続している複数年度で、2013年度以降も継続して実施する見込みの場合。終了年度は「12(または2012)年度」ではなく「**現年度**」と記載してください)」などのように記載してください。

(b) 内容：活動等の内容を**わかりやすく**説明してください。

(c) 連携相手：連携等をおこなった相手方の、**職種など**を記載してください。

(d) 活動対象：**どのような人たち**を対象とした活動等かを記載してください。

(e) 実施場所・活動地域等

(f) 学内担当者：本人を**含む**すべての担当者名を記載してください。

**通し番号**と**テーマ**のみを**ゴシック体**としてください。

(4) 「**今後可能な地域貢献・社会貢献活動**」の記載事項

各活動ごとに、**01** から**通し番号**をつけて、以下の(a)～(d)の項目について記載してください。

(a) **テーマ**：

(b) 内容：活動等の内容を**わかりやすく**説明してください。

(c) 想定連携相手：**想定**している連携等の相手の、**職種など**を記載してください。

(d) 想定活動対象：**どのような人たち**を対象として**想定**しているかを記載してください。

**通し番号**と**テーマ**のみを**ゴシック体**としてください。

(c) 「**主な研究業績**」

○**キーワード**：ご自分の研究・活動等に関するキーワードを記載してください。

○**相談可能な領域**：学外等から研究・活動等に関して相談があったときに対応可能な領域・内容等をわかりやすく記載してください。

○**これまでの主な研究テーマ(\*現在のテーマ)**：これまでご自分が実施した研究・活動等の主なテーマを、**主なもの**(または**重要**)と思われるものから、所定の様式の範囲内で記載してください。そのうち現在おこなっているテーマの末尾に**(\*)**を付してください。

(9) 学内の**複数の教員**がかかわっている場合には、**それぞれの教員**のシートに**記載**してください。教員間で重複して記載されていてもかまいません。

(10) できるだけ書式を統一するために、以下の点についても、ご協力ください。①**数字**はすべて**半角**とする。②**カタカナ**はすべて**全角**とする。③**英単語等**ヨーロッパ語の単語はすべて**半角**とする。④**アルファベット**を用いた**略称**はすべて**全角**とする。

## II. 「**地域貢献・社会貢献活動アンケート票**」への回答方法

以下の(11)～(13)にしたがって回答してください。

(11) 設問は**[1][2]**の2つです。いずれも該当の項目の番号の前に**○印**をつけてください。○印をつけたことによる**書式の乱れ**などは、**そのまま**にしておいてください。また、いずれも「**その他の課題**」の場合には、その**具体的な内容**等を(具体的に： )に記載してください。

(12) 設問**[1]**では、これまでご自分がかかわっておこなった地域貢献・社会貢献活動等について、該当する項目に○印をつけてください。この設問では、「**高知県立大学地域貢献・社会貢献シーズ集2013**」用のシートに**記載しなかった項目**でも、**該当**するものがあれば**○印**をつけてください。

(13) 設問**[2]**では、要請があれば今後実施可能な地域貢献・社会貢献活動等について、該当する項目に○印をつけてください。

以上

<b>氏名</b> <span style="float: right;">英名</span> 所属・職名・生年	
<b>主な地域貢献・社会貢献活動実績</b>	<b>今後可能な地域貢献・社会貢献活動内容</b>
<p>○<b>これまで実施した地域・社会貢献活動</b>  <b>[01]</b>  <b>(a) テーマ</b>[D F 特太ゴシック体](年度)            (b) 内容            (c) 連携相手            (d) 活動対象            (e) 実施場所・活動地域等            (f) 学内担当者</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) テーマ</b>[D F 特太ゴシック体](年度)            (b) 内容            (c) 連携相手            (d) 活動対象            (e) 実施場所・活動地域等            (f) 学内担当者</p>	<p>○<b>今後実施予定・可能な地域・社会貢献活動</b>  <b>[01]</b>  <b>(a) テーマ</b>[D F 特太ゴシック体]            (b) 内容            (c) 想定連携相手            (d) 想定活動対象</p> <p><b>[02]</b>  <b>(a) テーマ</b>[D F 特太ゴシック体]            (b) 内容            (c) 想定連携相手            (d) 想定活動対象</p>
	<b>主な研究業績</b>

# 地域貢献・社会貢献活動等アンケート票

2012年12月

域教育研究センター地域課題研究部会  
部会長 田中きよむ  
この調査の問合せ先  
宇野浩三  
unoh@cc.u-kochi.ac.jp

あなたの所属は、[ 学部・センター ]

○設問は[1][2]の2つです。いずれも該当の項目の番号の前に○印をつけてください。また、いずれも「その他の課題」の場合には、その具体的な内容等を(具体的に： )に、( )の大きさに関係なく必要な分量だけ、記載してください。○印をつけたり具体的な内容等を記載したりしたことによる書式の乱れなどは、そのままにしておいてください。

[1]これまでご自分がかかわっておこなった地域貢献・社会貢献活動等について、どのような地域課題にかんするものか、該当する項目すべてに○印をつけてください。「高知県立大学地域貢献・社会貢献シース集2013」用のシートに記載しなかった項目でも、該当するものがあれば○印をつけてください。

## (1) 地域の生活・健康課題

1. 日常生活上の移動のしやすさなど
2. 飲料水などの水の確保
3. 日用品・食料品などの買い物のしやすさなど
4. 日常の郵便の利用のしやすさや、非常時の通信確保など
5. 地域福祉や在宅福祉の充実
6. 住環境の整備や、住宅などのバリアフリー化の推進
7. 地域医療の充実
8. 地域の疾病予防・保健活動などの強化
9. 地域包括ケアの推進
10. 地域の健康づくりの推進
11. 健康的な食生活・栄養改善や食育などの推進
12. 地域でのさまざまな交流や楽しみづくりなど
13. その他の課題(具体的に： )

## (2) 地域の経済課題

1. 雇用の確保
2. 地場産業の活性化
3. 地場産品を活用した製品開発
4. 地場産品の販売・流通ルートの確保
5. 地場産品の商品価値等に関する調査・研究
6. 観光等の活性化のための地域行事・イベント等の企画・開発
7. 企業等の地元への誘致
8. その他の課題(具体的に： )

### (3) 地域の文化課題

1. 地域の既存の文化施設の充実
2. 地域にふさわしい文化施設の企画・開発
3. 地域の文化財・文化資源の発掘・発見や、それらについての調査・研究
4. 古い建物・町なみの保存や、その歴史的価値等に関する調査・研究
5. 地域の生活文化や文化活動の向上・推進・普及など
6. 地域の文化財・文化資源・生活文化などに関する地域住民などへの啓蒙・広報
7. 地域の文化財・文化資源・生活文化などの地域外への情報発信
8. その他の課題(具体的に： )

### (4) 地域の教育課題

1. 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の授業向上のための、地域住民・専門家などの支援・協力の推進
2. 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭にたいする、教育力量向上のための研修内容・研修機会などの充実
3. 問題行動・学習困難・発達障害などの問題に対応した、相談・カウンセリング体制などの充実
4. 体験的な学習を推進するための、学校内外の施設・設備や支援・協力体制などの充実
5. 地域の社会人教育・生涯教育の充実
6. 医療・福祉・健康などに関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
7. 地域文化・住まいづくり・まちづくり・環境問題などに関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
8. 地域防災に関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
9. その他の課題(具体的に： )

### (5) 地域の環境課題

1. 自然環境保護のための対策
2. ゴミ処理問題への対策
3. 地域資源(木材など)の有効活用
4. 中山間地域の道路整備や補修
5. 鳥獣被害対策
6. 地震・水害などの災害対策
7. 環境保護運動の推進
8. その他の課題(具体的に： )

**[2]**要請があればあなたが今後**おこなうことが可能な**地域貢献・社会貢献活動等について、どのような地域課題にかんするものか、つぎのあてはまるもの**すべてに○印**をつけてください。

### (1) 地域の生活・健康課題

1. 日常生活上の移動のしやすさなど
2. 飲料水などの水の確保
3. 日用品・食料品などの買い物のしやすさなど
4. 日常の郵便の利用のしやすさや、非常時の通信確保など
5. 地域福祉や在宅福祉の充実
6. 住環境の整備や、住宅などのバリアフリー化の推進
7. 地域医療の充実
8. 地域の疾病予防・保健活動などの強化
9. 地域包括ケアの推進(具体的に： )
10. 地域の健康づくりの推進
11. 健康的な食生活・栄養改善や食育などの推進
12. 地域でのさまざまな交流や楽しみづくりなど
13. その他の課題(具体的に： )



## (2) 地域の経済課題

1. 雇用の確保
2. 地場産業の活性化
3. 地場産品を活用した製品開発
4. 地場産品の販売・流通ルートの確保
5. 地場産品の商品価値等に関する調査・研究
6. 観光等の活性化のための地域行事・イベント等の企画・開発
7. 企業等の地元への誘致
8. その他の課題(具体的に： )

## (3) 地域の文化課題

1. 地域の既存の文化施設の充実
2. 地域にふさわしい文化施設の企画・開発
3. 地域の文化財・文化資源の発掘・発見や、それらについての調査・研究
4. 古い建物・町なみの保存や、その歴史的価値等に関する調査・研究
5. 地域の生活文化や文化活動の向上・推進・普及など
6. 地域の文化財・文化資源・生活文化などに関する地域住民などへの啓蒙・広報
7. 地域の文化財・文化資源・生活文化などの地域外への情報発信
8. その他の課題(具体的に： )

## (4) 地域の教育課題

1. 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の授業向上のための、地域住民・専門家などの支援・協力の推進
2. 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭にたいする、教育力量向上のための研修内容・研修機会などの充実
3. 問題行動・学習困難・発達障害などの問題に対応した、相談・カウンセリング体制などの充実
4. 体験的な学習を推進するための、学校内外の施設・設備や支援・協力体制などの充実
5. 地域の社会人教育・生涯教育の充実
6. 医療・福祉・健康などに関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
7. 地域文化・住まいづくり・まちづくり・環境問題などに関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
8. 地域防災に関する、地域住民の知識・認識向上などのための学習機会の充実
9. その他の課題(具体的に： )

## (5) 地域の環境課題

1. 自然環境保護のための対策
2. ゴミ処理問題への対策
3. 地域資源(木材など)の有効活用
4. 中山間地域の道路整備や補修
5. 鳥獣被害対策
6. 地震・水害などの災害対策
7. 環境保護運動の推進
8. その他の課題(具体的に： )

**ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました**

---

**地域貢献調査報告Ⅱ**  
**(地域貢献シーズ集)**  
**地域貢献に関する実績・資源調査報告書**

発行日 2013年3月31日

発行者 高知県立大学

発行人 地域教育研究センター

センター長 荻沼 一男

編集 地域課題研究部会

部会長 田中きよむ

副部会長 宇野 浩三

部会員 時長 美希

橋尾 直和

羽田 行男

渡邊 浩幸

協力委員 竹崎久美子

事務局 今倉 俊男

岡崎 康展

---

